

7.9 動物

7.9.1 調査概要

当該処分場は平成 14 年 7 月より稼動しており、埋立てする区域は既に裸地化していることから、調査範囲を事業計画地から周囲に概ね 500m 拡げ、事業計画地及びその周辺における動物調査を実施した。

また、調査方法及び調査期間は表 7-9-1 に、調査位置は図 7-9-1～図 7-9-5 に示すとおりである。

表 7-9-1 動物調査概要

調査項目	調査方法	調査位置	調査期間	備考
哺乳類	・目撃法 ・フィールドサイン法	事業計画地及びその周辺	平成 17 年 10 月 12 日～13 日（秋季）， 平成 17 年 12 月 19 日（冬季）， 平成 18 年 4 月 3 日，6 日（春季）， 平成 18 年 7 月 4 日（夏季）	調査位置 図 7-9-1
	・トラップ法	5 地点 事業計画地内：3 地点 事業計画地外：2 地点	平成 17 年 10 月 12 日～14 日（秋季）， 平成 17 年 12 月 19 日～21 日（冬季）， 平成 18 年 4 月 3 日～5 日（春季）， 平成 18 年 7 月 12 日～14 日（夏季）	
鳥類	・ラインセンサス法	3 ルート 事業計画地内：1 ルート 事業計画地外：2 ルート	平成 17 年 10 月 19 日（秋季）， 平成 18 年 2 月 20 日（冬季）， 平成 18 年 4 月 4 日（春季）， 平成 18 年 7 月 10 日（夏季）	調査位置 図 7-9-2
	・定点観察法	2 定点 事業計画地内：1 定点 事業計画地外：1 定点		
	・任意観察法	事業計画地及びその周辺		
	・重要種調査	事業計画地及びその周辺	平成 18 年 1 月～9 月	
爬虫類	・任意観察法	事業計画地及びその周辺	平成 17 年 10 月 12 日～13 日（秋季）， 平成 18 年 4 月 3 日，6 日（春季）， 平成 18 年 7 月 4 日（夏季）	調査位置 図 7-9-3
両生類	・任意観察法			
昆虫類	・任意採集法	事業計画地及びその周辺	平成 17 年 10 月 18 日，20 日（秋季）， 平成 18 年 5 月 8 日～9 日（春季）， 平成 18 年 8 月 17 日，25 日（夏季）	調査位置 図 7-9-4
	・ベイトトラップ法	5 地点 事業計画地内：3 地点 事業計画地外：2 地点	平成 17 年 10 月 12 日～13 日（秋季）， 平成 18 年 5 月 8 日～9 日（春季）， 平成 18 年 8 月 17 日～18 日（夏季）	
	・ライトトラップ法	2 地点 事業計画地内：1 地点 事業計画地外：1 地点	平成 17 年 10 月 12 日，18 日（秋季）， 平成 18 年 5 月 8 日，16 日（春季）， 平成 18 年 8 月 16 日，25 日（夏季）	
	・ギフチョウ調査	事業計画地及びその周辺	平成 18 年 6 月 2 日	
魚類	・直接観察 ・捕獲法	河川 3 地点 事業計画地内：1 地点 事業計画地外：2 地点	平成 18 年 4 月 17 日（春季）， 平成 18 年 8 月 28 日（夏季）	調査位置 図 7-9-5
底生動物	・定量採集 ・定性採集		平成 18 年 2 月 10 日（冬季）	

なお、各調査方法は、注）として次ページに示した。

注) 各調査方法の概略は、以下に示すとおりである。

【哺乳類】

- ・目撃法・フィールドサイン法：事業計画地及びその周辺を任意に踏査し、姿、フィールドサイン（糞、足跡、巣、爪痕、モグラ塚等の生息痕跡）により識別し、種類等を記録する。
- ・トラップ法：ネズミ類等の小型哺乳類を対象として、餌（ピーナッツ等）を入れたトラップを設置し、捕獲された種類を記録する。

【鳥類】

- ・ラインセンサス法：事業計画地及びその周辺に設定した調査定線上を、ゆっくり歩行しながら、出現する鳥類を姿や鳴き声により識別し、種類等を記録する。
- ・定点観察法：事業計画地及びその周辺の眺望の良い定点からの観察により、出現する鳥類の種類、個体数等を記録する。
- ・任意観察法：事業計画地及びその周辺を任意に踏査し、出現する鳥類を姿や鳴き声により識別し、種類等を記録する。
- ・重要種調査：事業計画地及びその周辺の眺望の良い地点からの観察により、主に重要種を対象として、出現する鳥類の種類、行動等を記録する。

【爬虫類】

- ・任意観察法：事業計画地及びその周辺を任意に、爬虫類の習性をふまえた場所（草むら付近の細道、ガレ場、耕作地等）をできるだけ踏査し、目撃（成体、幼体、死体等）等により識別し、種類等を記録する。

【両生類】

- ・任意観察法：事業計画地及びその周辺を任意に、両生類の習性をふまえた場所（水たまり、細流、水田等）をできるだけ踏査し、目撃または鳴き声、卵塊、幼生等により識別し、種類等を記録する。

【昆虫類】

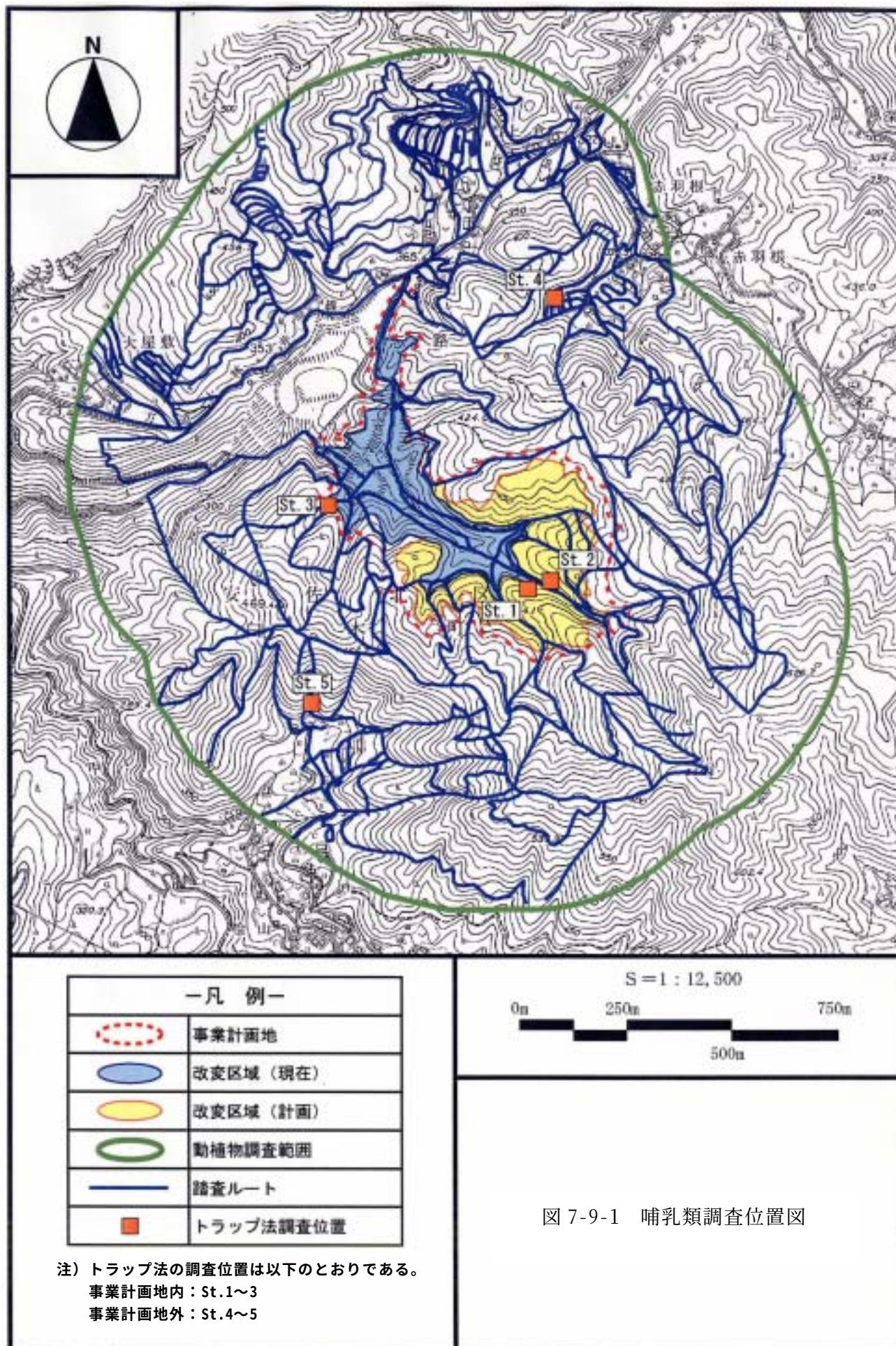
- ・任意採集法には以下の方法が含まれる。
 - 見つけ採り：昆虫を肉眼で見つけて、捕虫網を用いて、採集する。
 - 目撃法：トンボ類、チョウ類等の大型で目立つ昆虫や鳴き声をだす昆虫を、目撃あるいは鳴き声により識別する。
 - スウィーピング法：捕虫網を用いて、草木の上や茂み等に静止している昆虫類をすくい採る。
 - ビーティング法：木の枝や茂みを叩いて昆虫類を落下させて、ネット（方形状の平網）で受けとめ採集する。
 - その他：石や倒木を起こして下に潜む昆虫類、あるいは倒木や落ち葉の中の昆虫類を探し出し採集する。
- ・ベイトトラップ法：徘徊性の昆虫類（アリ類、ゴキブリ類等）を対象にして、口が地表面に揃うように餌（糖蜜等）を入れたプラスチックコップを埋設し、そこに落ち込んだ昆虫類を採集する。
- ・ライトトラップ法：夜行性の昆虫類（ガ類、ユスリカ類等）を対象にして、白い布に黒色灯と白色灯の光を反射させ、布に集まった昆虫類を採集する。
- ・ギフチョウ調査：事業計画地及びその周辺を任意に踏査し、本種の幼虫の食草であるカンアオイ類（本調査地ではミヤコアオイ）の葉を探し、産卵及び幼虫の有無あるいは状況を記録する。

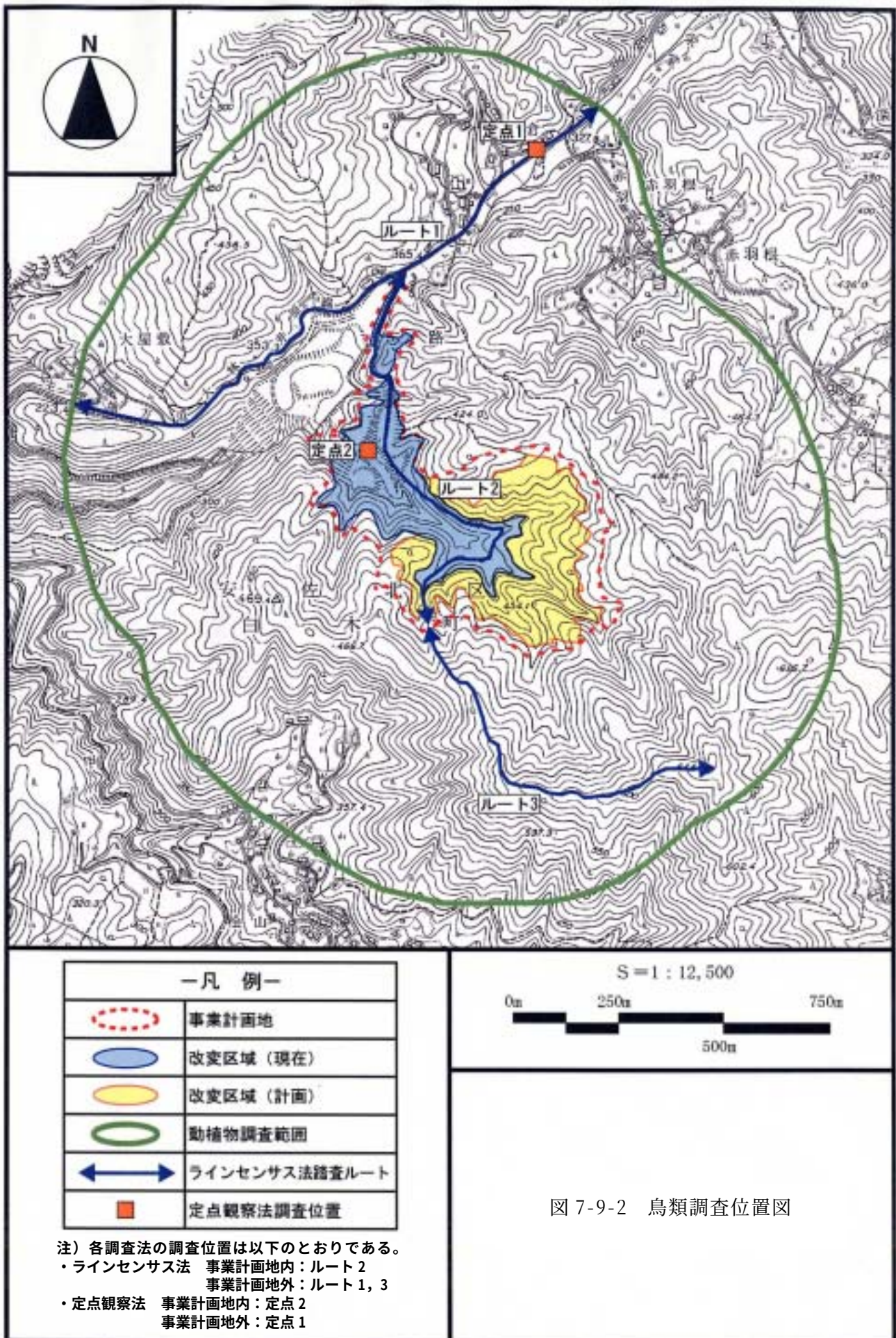
【魚類】

- ・直接観察：陸上より目視観察し、生息種の確認に努める。
- ・捕獲法：タモ網、セルびんを用いて捕獲し、種類等を記録する。

【底生動物】

- ・定量採集：流速 1.0～1.5m/sec 程度、水深 0.3～0.5m程度の浅瀬の地点で、25 cm×25 cmのコドラート（方形状の金枠）を川底に設置し、コドラート内の石、砂礫中に生息するものを金網で受け取り、肉眼で確認できる生物を全て採集する。
- ・定性採集：タモ網を使用し、瀬の礫下の他、落ち葉の貯まった淀みや植物の冠水部分等、いろいろな場所で採集する。





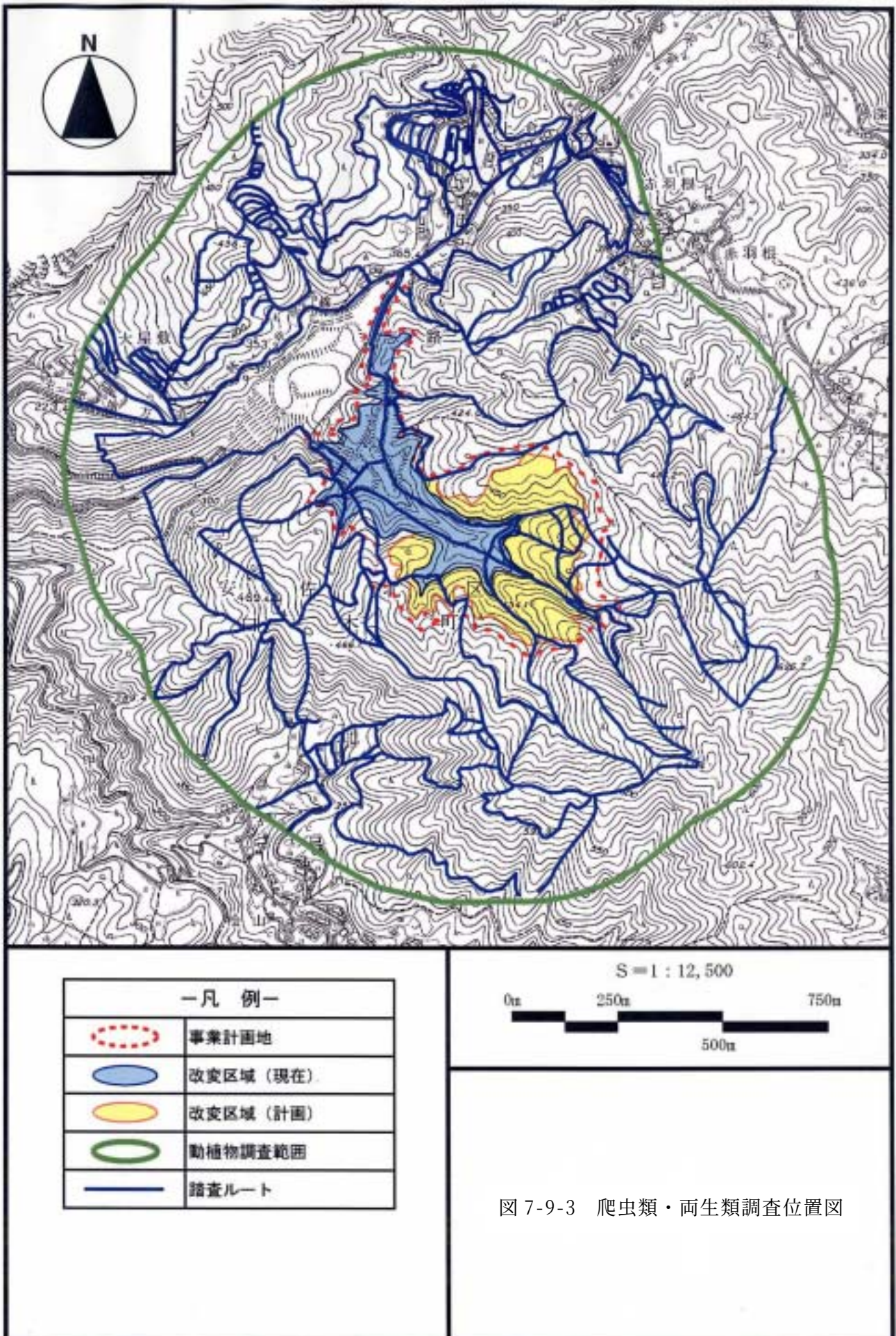


図 7-9-3 爬虫類・両生類調査位置図

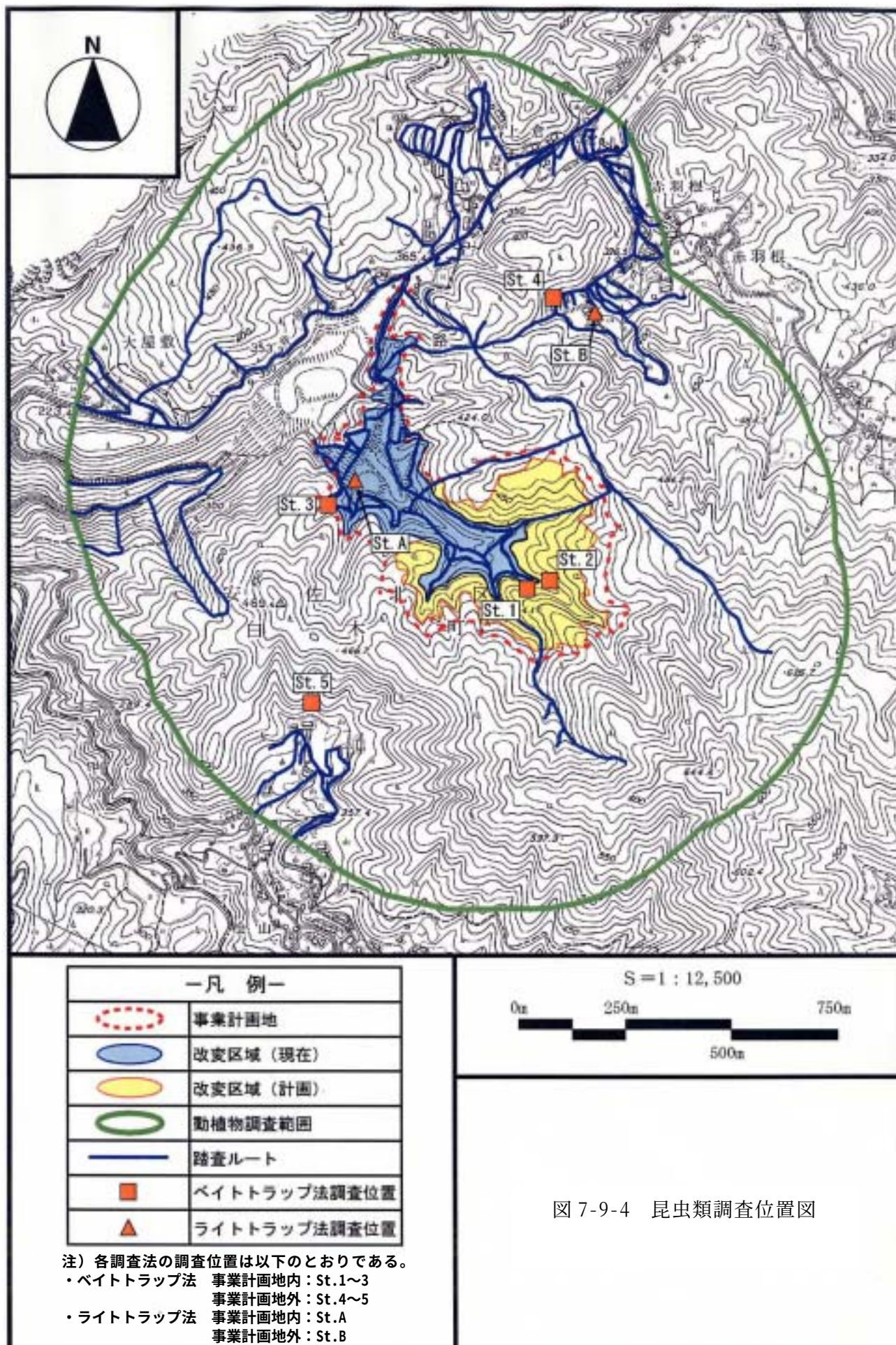


図 7-9-4 昆虫類調査位置図

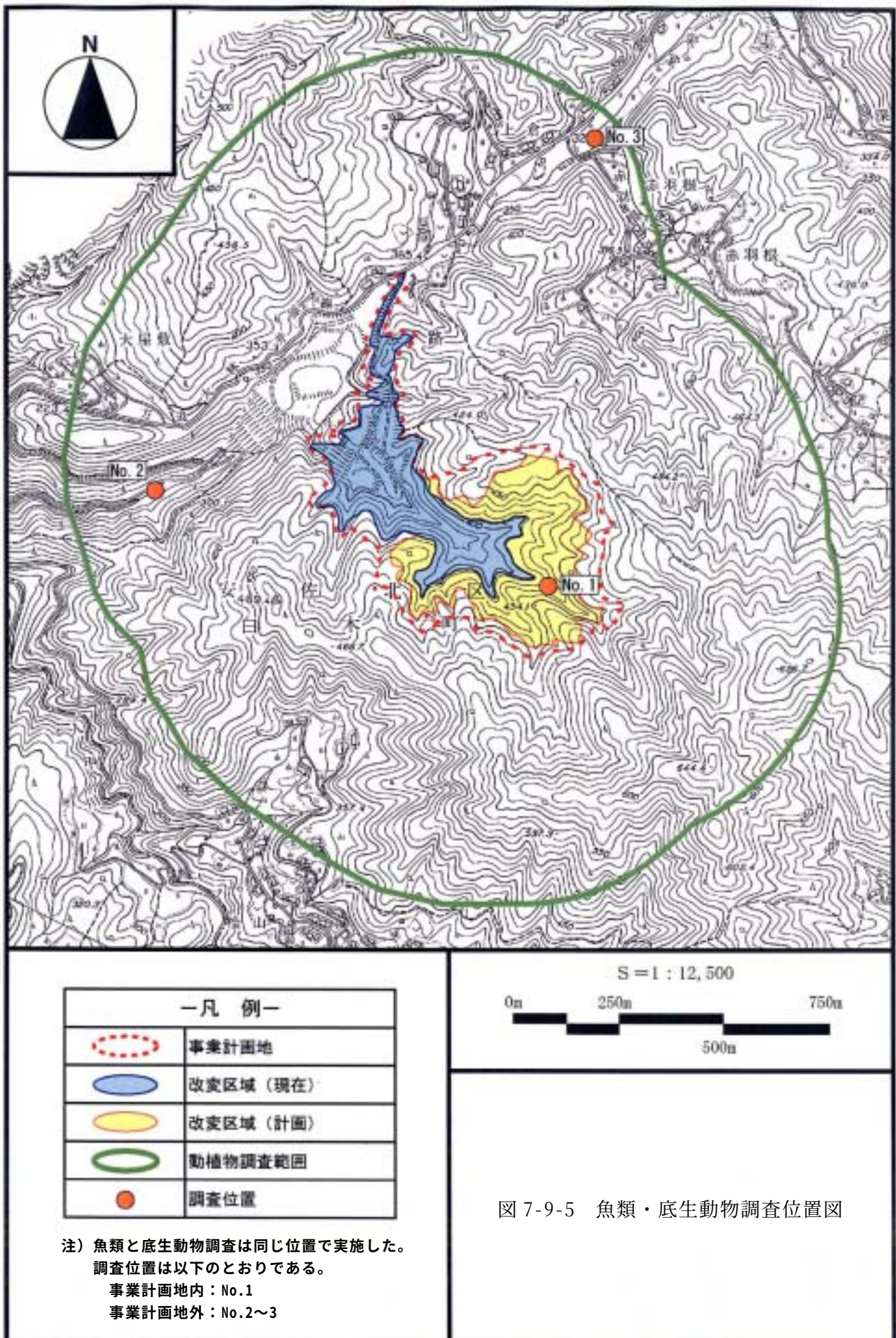


図 7-9-5 魚類・底生動物調査位置図

7.9.2 調査結果

(1) 哺乳類

① 生息確認種

事業計画地及びその周辺で確認された哺乳類は表 7-9-2 に示すとおり、事業計画地内では 4 目 6 科 9 種、事業計画地外では 6 目 8 科 11 種であり、合計は 7 目 9 科 13 種であった。

確認種は、ヒミズ、アカネズミ、テン等のように主に農耕地周辺から林縁に生息する種、ニホンザルのように広葉樹林帯を主生息域とする種、ノウサギ等のように主に森林に生息する種、タヌキ、ニホンイノシシ、ニホンジカのように人里周辺の森林に生息する種等であり、主として森林と農耕地で構成された現地環境を反映した結果となっていた。

特にニホンジカが多く確認され、事業計画地内、山地、農耕地周辺等様々な環境で姿や足跡、糞等の痕跡が確認された。

表 7-9-2 哺乳類の確認種

目名	科名	種名	調査時季				事業計画地内	事業計画地外
			秋季	冬季	春季	夏季		
モグラ	モグラ	ヒミズ			●			●
		モグラ科の一種	●		●	●		●
コウモリ	—	コウモリ目の一種				●	●	
サル	オナガザル	ニホンザル	●	●	●			●
ウサギ	ウサギ	ノウサギ		●	●			●
ネズミ	ネズミ	アカネズミ				●	●	●
		ヒメネズミ	●	●	●	●	●	●
		カヤネズミ				●		●
		ネズミ科の一種		●				●
ネコ	イヌ	タヌキ	●	●	●		●	●
	イタチ	テン	●	●	●	●	●	●
		アナグマ				●	●	
		イタチ属の一種		●	●	●	●	●
ウシ	イノシシ	ニホンイノシシ	●		●	●	●	●
	シカ	ニホンジカ	●	●	●	●	●	●
合計 7 目 9 科 13 種			7 種	7 種	9 種	10 種	9 種	11 種

注) 1. 「モグラ科の一種」及び「ネズミ科の一種」は、同一科内の他種が確認されている場合、種数として計上していない。

2. 「コウモリ目の一種」は、バットディテクタにより周波数 40～50Hz 付近で反応したため、アブラコウモリ（ヒナコウモリ科）の可能性がある。

3. 「イタチ属の一種」はイタチまたはチョウセンイタチの可能性がある。

② トラップ調査結果

トラップ法により捕獲された哺乳類は表 7-9-3 に示すとおり、事業計画地内外ともに 1 目 1 科 2 種であった。

表 7-9-3 トラップにより確認された哺乳類

目名	科名	種名	調査地点				
			事業計画地内			事業計画地外	
			St.1	St.2	St.3	St.4	St.5
ネズミ	ネズミ	アカネズミ			●	●	
		ヒメネズミ	●	●	●		●
合計 1 目 1 科 2 種			1 種	1 種	2 種	1 種	1 種

(2) 鳥類

① 生息確認種

事業計画地およびその周辺で確認された鳥類は表 7-9-4(1)及び表 7-9-4(2)に示すとおり 12 目 26 科 68 種であり、ラインセンサス法で 5 目 17 科 35 種、定点観察法で 6 目 16 科 30 種、任意観察法で 8 目 20 科 35 種、重要種調査で 11 目 25 科 65 種が確認された。

確認された鳥類は県内では比較的高標高地に生息するアカショウビン、ゴジュウカラ、コガラや主に低標高地に生息するコジュケイ等が確認され、低標高から高標高に移行する地域である本調査地の地域性を反映させる結果となった。

表 7-9-4(1) 鳥類の確認種

目名	科名	種名	ラインセンサス法			定点観察法		任意観察法	重要種調査	その他
			ルート1	ルート2	ルート3	定点1	定点2			
コウノトリ	サギ	ゴイサギ							●	
		アオサギ				●		●	●	
カモ	カモ	カルガモ							●	
タカ	タカ	ミサゴ							●	
		ハチクマ							●	
		トビ				●		●	●	
		オオタカ							●	
		ハイタカ					●	●	●	
		ノスリ		●					●	
		サシバ	●	●					●	
	ハヤブサ	ハヤブサ						●	●	
キジ	キジ	コジュケイ							●	
		ヤマドリ							●	●
		キジ						●	●	
チドリ	シギ	クサシギ					●		●	
		ヤマシギ							●	
		タシギ							●	
ハト	ハト	キジバト	●		●	●	●	●	●	
		アオバト							●	
カッコウ	カッコウ	ツツドリ							●	
		ホトトギス		●				●		●
フクロウ	フクロウ	フクロウ						●	●	
アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ							●	
ブッポウソウ	カワセミ	アカショウビン								●
キツツキ	キツツキ	アオゲラ	●		●		●	●	●	
		オオアカゲラ							●	
		コゲラ	●	●	●	●		●	●	
スズメ	ツバメ	ツバメ	●	●		●			●	
		イワツバメ							●	
	セキレイ	キセキレイ	●	●		●	●	●	●	
		セグロセキレイ	●	●		●	●	●	●	
	ヒヨドリ	ヒヨドリ	●	●	●	●	●	●	●	
	モズ	モズ	●			●		●	●	
	ヒタキ	ルリビタキ							●	
		ジョウビタキ						●	●	
		ノビタキ						●	●	
		イソヒヨドリ							●	
		トラツグミ							●	

表 7-9-4(2) 鳥類の確認種

目名	科名	種名	ラインセンサス法			定点観察法		任意 観察法	重要種 調査	その他
			ルート1	ルート2	ルート3	定点1	定点2			
スズメ	ヒタキ	シロハラ	●	●	●	●		●	●	
		ツグミ		●	●	●			●	
		ヤブサメ		●					●	
		ウグイス	●	●		●		●	●	
		センダイムシクイ		●					●	
		クイタダキ	●	●		●			●	
		キビタキ							●	
		オオルリ	●	●	●	●		●	●	
		サンコウチョウ						●	●	
	エナガ	エナガ	●	●	●	●		●	●	
	シジュウカラ	コガラ		●	●			●	●	
		ヒガラ			●				●	
		ヤマガラ	●	●	●	●		●	●	
		シジュウカラ	●	●	●	●		●	●	
	ゴジュウカラ	ゴジュウカラ		●				●	●	
	メジロ	メジロ	●	●				●	●	
	ホオジロ	ホオジロ	●	●		●	●	●	●	
		カシラダカ							●	
		ミヤマホオジロ	●			●			●	
		アオジ	●		●	●		●	●	
	アトリ	アトリ							●	
		カワラヒワ	●	●	●	●	●	●	●	
		マヒワ		●				●	●	
		ウソ				●				
		イカル		●	●	●		●	●	
	ハタオリドリ	スズメ	●			●		●	●	
	ムクドリ	ムクドリ							●	
	カラス	カケス	●	●	●	●		●	●	
		ハシボソガラス	●	●		●	●	●	●	
		ハシブトガラス	●	●	●	●	●	●	●	
合計	12 目 26 科 68 種	種数	25 種	28 種	17 種	27 種	11 種	35 種	65 種	3 種
		合計	5 目 17 科 35 種			6 目 16 科 30 種				

注) 1. 確認欄の“その他”は鳥類調査以外の項目調査時(哺乳類、植物等)に確認した鳥類を種数として計上した。

② 重要種調査結果

事業計画地及びその周辺において、主に重要な鳥類を対象として、月に1回(3日間)の調査を実施した。

その結果、確認された重要な鳥類は11種(ミサゴ、ハチクマ、オオタカ、ハイタカ、ノスリ、サシバ、ハヤブサ、ヤマドリ、フクロウ、オオアカゲラ、サンコウチョウ)であった(鳥類調査全体では13種であった。詳細は第7章 7.9.3 重要種(動物)を参照)。

なお、既存資料「広島市の生物(広島市, 2000)」によれば、クマタカの分布が安佐北区で確認されているが、現地調査において本種は確認されなかった。

(3) 爬虫類

事業計画地及びその周辺で確認された爬虫類は表 7-9-5 に示すとおり、事業計画地内では 1 目 3 科 4 種、事業計画地外では 1 目 4 科 7 種であり、合計は 1 目 4 科 7 種であった。

確認種は、カナヘビ、トカゲのように主に林内、畑、林縁部の草むらや藪等に生息する種、シマヘビ、ヒバカリ、ヤマカガシ、マムシのように平地から低山の草地、耕地、林内に生息する種、ジムグリのように山地や耕地のやや日陰に生息する種で構成されており、いずれも県内では比較的広く分布する種であった。

表 7-9-5 爬虫類の確認種

目名	科名	種名	調査時季			事業計画地内	事業計画地外
			秋季	春季	夏季		
トカゲ	トカゲ	トカゲ		●	●	●	●
	カナヘビ	カナヘビ	●	●	●		●
	ヘビ	シマヘビ	●	●	●	●	●
		ジムグリ	●		●		●
		ヒバカリ	●				●
		ヤマカガシ	●			●	●
	クサリヘビ	マムシ	●		●	●	●
合計 1 目 4 科 7 種			6 種	3 種	5 種	4 種	7 種

(4) 両生類

事業計画地及びその周辺で確認された両生類は表 7-9-6 に示すとおり、事業計画地内では 2 目 4 科 5 種、事業計画地外では 2 目 5 科 8 種であり、合計は 2 目 5 科 8 種であった。

確認種は、ブチサンショウウオのようにきれいな水が流れる小渓流に生息する種、イモリのようにため池や水田等の止水域に生息する種、アマガエル、トノサマガエル、ツチガエル、シュレーゲルアオガエル等は水田や畦、用水路等に生息する種、タゴガエルのように渓流沿いの森林で生息する種、ヤマアカガエルは水田やその周辺の草むらや林床に生息する種で構成されており、いずれも県内では比較的広く分布する種であった。

表 7-9-6 両生類の確認種

目名	科名	種名	調査時季			事業計画地内	事業計画地外
			秋季	春季	夏季		
サンショウウオ	サンショウウオ	ブチサンショウウオ		●			●
	イモリ	イモリ	●	●	●	●	●
カエル	アマガエル	アマガエル	●	●	●	●	●
	アカガエル	タゴガエル	●		●	●	●
		ヤマアカガエル	●	●	●	●	●
		トノサマガエル	●	●	●		●
		ツチガエル		●	●		●
		アカガエル科の一種		●	●		●
	アオガエル	シュレーゲルアオガエル		●	●	●	●
合計 2 目 5 科 8 種			5 種	7 種	7 種	5 種	8 種

注) 1. 「アカガエル科の一種」は、同一科内の他種が確認されている場合、種数として計上していない。

(5) 昆虫類

① 生息確認種

事業計画地及びその周辺で確認された昆虫類は表 7-9-7 に、確認種一覧は表 7-9-8(1)～表 7-9-8(14) に示すとおりであり、事業計画地内では 13 目 130 科 382 種、事業計画地外では 19 目 187 科 632 種であり、合計は 19 目 213 科 793 種であった。

確認された昆虫類の大部分は、広島市北部の丘陵地、低山地から山地にかけて普通に生息する種であった。目別にみるとチョウ目、コウチュウ目、カメムシ目の種数が多くなっていた。

表 7-9-7 昆虫類調査結果（目別集計表）

目 名	事業計画地内		事業計画地外		合計 ^{注)1}	
	科数	種数	科数	種数	科数	種数
トビムシ目	5	6	5	6	5	7
イシノミ目	0	0	1	2	1	2
カゲロウ目	1	1	6	6	6	6
トンボ目	4	11	6	17	7	18
カワゲラ目	0	0	3	5	3	5
ゴキブリ目	0	0	1	1	1	1
カマキリ目	1	1	1	1	1	1
シロアリ目	0	0	1	1	1	1
バッタ目	8	30	10	41	10	48
ナナフシ目	0	0	1	1	1	1
ハサミムシ目	0	0	1	1	1	1
チャタテムシ目	1	2	1	1	1	2
カメムシ目	24	48	32	95	38	111
アミメカゲロウ目	2	2	4	4	5	5
コウチュウ目	27	100	38	166	44	224
ハチ目	15	37	16	49	20	59
ハエ目	17	22	27	42	31	48
トビケラ目	5	8	9	11	10	14
チョウ目	20	114	24	182	27	239
合 計	13 目 130 科 382 種		19 目 187 科 632 種		19 目 213 科 793 種	

注) 1. 目別の合計は総種数であり、事業計画地内と事業計画地外の和と一致しない。

表 7-9-8(1) 昆虫類の確認種

No.	目名	科名	和名	学名	事業計画地内	事業計画地外
1	トビムシ目	イボトビムシ科	イボトビムシ科の一種	Neanuridae gen. sp.	●	●
2		ツチトビムシ科	ヒメツチトビムシ亜科の一種	Proisotominae gen. sp.	●	
3			ツチトビムシ亜科の一種	Isotominae gen. sp.	●	●
4		トゲトビムシ科	Tomocerus属の一種	Tomocerus sp.	●	●
5		アヤトビムシ科	Entomobrya属の一種	Entomobrya sp.	●	●
6			Homidia属の一種	Homidia sp.		●
			アヤトビムシ科の一種	Entomobryidae gen. sp.	●	●
7		マルトビムシ科	Ptenothrix属の一種	Ptenothrix sp.	●	
			マルトビムシ科の一種	Sminthuridae gen. sp.	●	●
8	イシノミ目	イシノミ科	Pedetontinus属の一種	Pedetontinus sp.		●
9			Pedetontus属の一種	Pedetontus sp.		●
10	カゲロウ目	フタオカゲロウ科	ガガンボカゲロウ	Dipteromimus tipuliformis		●
11		ヒトリカゲロウ科	チラカゲロウ	Isonychia japonica		●
12		ヒラタカゲロウ科	ヒラタカゲロウ科の一種	Heptageniidae gen. sp.		●
13		カワカゲロウ科	キイロカワカゲロウ	Potamanthodes kamonis	●	●
14		モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	Ephemera japonica		●
15		マダラカゲロウ科	オオマダラカゲロウ	Drunella basalis		●
16	トンボ目	イトトンボ科	オオイトトンボ	Cercion sieboldii	●	
17		アオイトトンボ科	ホソミオツネトンボ	Indolestes peregrinus		●
18			オオアオイトトンボ	Lestes temporalis		●
19		カワトンボ科	ミヤマカワトンボ	Calopteryx cornelia		●
20			ニシカワトンボ	Mnais pruinosa pruinosa	●	●
21		オニヤンマ科	オニヤンマ	Anotogaster sieboldii	●	●
22		ヤンマ科	コシボツヤンマ	Boyeria maclachlani		●
23			ミルンヤンマ	Planaeschna milnei		●
24		エゾトンボ科	コヤマトンボ	Macromia amphigena amphigena		●
25		トンボ科	シオカラトンボ	Orthetrum albistylum speciosum	●	●
26			シオヤトンボ	Orthetrum japonicum japonicum	●	●
27			オオシオカラトンボ	Orthetrum triangulare melania	●	●
28			ウスハキトンボ	Pantala flavescens	●	●
29			ナツアカネ	Sympetrum darwinianum	●	●
30			マユタテアカネ	Sympetrum eroticum eroticum	●	●
31			アキアカネ	Sympetrum frequens	●	●
32			ノシメトンボ	Sympetrum infuscatum	●	●
33			ヒメアカネ	Sympetrum parvulum		●
34		カワゲラ目	オナシカワゲラ科	Amphinemura属の一種		●
35				Nemoura属の一種		●
36				Protonemura属の一種		●
37			ハラシロオナシカワゲラ科	Paraleuctra属の一種		●
38		カワゲラ科	Kiotina属の一種	Kiotina sp.		●
39	ゴキブリ目	チャバネゴキブリ科	モリチャバネゴキブリ	Blattella nipponica		●
40	カマキリ目	カマキリ科	コカマキリ	Statilia maculata	●	●
41	シロアリ目	ミゾガシラシロアリ科	ヤマトシロアリ	Reticulitermes speratus speratus		●
42	ハッタ目	カマドウマ科	カマドウマ	Diestrammena apicalis		●
43			マダラカマドウマ	Diestrammena japonica	●	●
44		コオロギ科	ハラオカメコオロギ	Loxoblemmus arietulus	●	●
45			ミツカドコオロギ	Loxoblemmus doenitzi	●	●
46			クマコオロギ	Modicogryllus minor	●	
47			ヒゲシロスズ	Pteronemobius flavoantennalis		●
48			シハスズ	Pteronemobius mikado	●	●
49			マダラスズ	Pteronemobius nigrofasciatus	●	●
50			ヤチスズ	Pteronemobius ohmachi	●	●
51			エンマコオロギ	Teleogryllus emma	●	●
52			ツツレサセコオロギ	Velarifictorus mikado	●	●
53			タンボコオロギ	Velarifictorus parvus		●
54		クサヒバリ科	クサヒバリ	Paratrigonidium bifasciatum		●
55			キアシヒバリモドキ	Trigonidium haani		●
56		スズムシ科	スズムシ	Homoeogryllus japonicus		●
57		マツムシ科	アオマツムシ	Calyptrorhynchus hibernis		●

注) 1. ●は確認種を示す。

2. 属(亜科、科)までしか同定されていない種については、同一属(亜科、科)内の他種が確認されている場合、種数として計上していない。

3. コバチ上科[コバチ類の一種]については、1科1種として計上した。

表 7-9-8(2) 昆虫類の確認種

No.	目名	科名	和名	学名	事業計画地内	事業計画地外
58	ハッタ目	マツムシ科	マツムシ	<i>Xenogryllus marmoratus</i>	●	
59		カンタン科	ヒロハ'ネカンタン	<i>Oecanthus indicus</i>	●	●
60			カンタン	<i>Oecanthus longicauda</i>		●
61		キリキリス科	ツユムシ	<i>Phaneroptera falcata</i>	●	●
62			ヒメツユムシ	<i>Leptoteraura albicorne</i>	●	●
63			セスシ'ササキリモドキ	<i>Xiphidiopsis subpunctata</i>	●	
64			キリキリス	<i>Gampsocleis buergeri</i>	●	●
65			ヒメキ'ス	<i>Metrioptera hime</i>		●
66			ウスイロササキ	<i>Conocephalus chinensis</i>	●	●
67			ホシササキ	<i>Conocephalus maculatus</i>	●	●
68			ササキ	<i>Conocephalus melas</i>		●
69			クビ'キリ'ス	<i>Euconocephalus thunbergii</i>		●
70			クサキ	<i>Homorocoryphus lineosus</i>		●
71			カヤキ	<i>Pseudorhynchus japonicus</i>		●
72			ハヤシノウマオイ	<i>Hexacentrus japonicus</i>	●	●
73		オンブ'ハッタ科	オンブ'ハッタ	<i>Atractomorpha lata</i>	●	●
74		ハッタ科	ショウリョウ'ハッタ	<i>Acrida cinerea</i>		●
75			ヒナ'ハッタ	<i>Chorthippus brunneus</i>	●	●
76			クルマ'ハッタ	<i>Gastrimargus marmoratus</i>	●	
77			トノサマ'ハッタ	<i>Locusta migratoria</i>	●	●
78			ツマグ'ロイナゴ'	<i>Mecostethus magister</i>		●
79			クルマ'ハッタモドキ	<i>Oedaleus infernalis</i>	●	●
80			ハネナガ'イナゴ'	<i>Oxya japonica japonica</i>	●	
81			エゾ'イナゴ'	<i>Oxya yezoensis</i>		●
82			セトウチフ'キ'ハッタ	<i>Parapodisma setouchiensis</i>		●
83			ツチ'イナゴ'	<i>Patanga japonica</i>	●	●
84			イホ'ハッタ	<i>Trilophidia annulata japonica</i>	●	
85		ヒシ'ハッタ科	トゲ'ヒシ'ハッタ	<i>Criotettix japonicus</i>		●
86			ハネナガ'ヒシ'ハッタ	<i>Euparattix insularis</i>	●	●
87			コバ'ネヒシ'ハッタ	<i>Formosatettix larvatus</i>	●	●
88			ヒシ'ハッタ	<i>Tetrix japonica</i>	●	●
89			ヤセヒシ'ハッタ	<i>Tetrix macilenta</i>	●	
90	ナナフシ目	ナナフシ科	エダ'ナナフシ	<i>Phraortes illepidus</i>		●
91	ハサミシ目	クロハサミシ科	チビ'ハサミシ	<i>Labia curvicauda</i>		●
92	チャタテムシ目	ホソチャタテ科	ハグ'ルマチャタテ	<i>Matsumuraiella rapiopicta</i>	●	●
93			ホソチャタテ	<i>Stenopsocus aphidiformis</i>	●	
94	カメムシ目	ヒシウンカ科	ヤナギ'カワウンカ	<i>Andes marmoratus</i>		●
95		ウンカ科	エゾ'ナガ'ウンカ	<i>Stenocranus matsumurai</i>		●
96			ヒメトビ'ウンカ	<i>Laodelphax striatella</i>		●
97			ニセトビ'イロウンカ	<i>Nilaparvata muiri</i>		●
98			シマウンカ	<i>Nisia nervosa</i>		●
99		ハネナガ'ウンカ科	アカメガ'シワハネビ'ロウンカ	<i>Vekunta malloti</i>		●
100		コガ'シラウンカ科	ナワコガ'シラウンカ	<i>Rhotala nawae</i>	●	
101		グン'バ'イウンカ科	タテスシ'グン'バ'イウンカ	<i>Catullia vittata</i>		●
102		マルウンカ科	キボ'シマルウンカ	<i>Ishiharanus iguchii</i>		●
103			クサビ'ウンカ	<i>Sarima amagisana</i>		●
104		アオハ'ハゴ'ロモ科	アオハ'ハゴ'ロモ	<i>Geisha distinctissima</i>	●	●
105			トビ'イロハゴ'ロモ	<i>Mimophantia maritima</i>		●
106		ハゴ'ロモ科	ベ'ッコウハゴ'ロモ	<i>Orosanga japonicus</i>	●	●
107			アミガ'サハゴ'ロモ	<i>Pochazia albomaculata</i>	●	
108			ヒメベ'ッコウハゴ'ロモ	<i>Ricania taeniata</i>		●
109		セミ科	アブ'ラセ'ミ	<i>Graptosaltria nigrofuscata</i>	●	●
110			ツクツク'ボ'ウシ	<i>Meimuna opalifera</i>	●	●
111			ミンミン'ゼ'ミ	<i>Oncotympana maculaticollis</i>	●	●
112			ニイニイ'ゼ'ミ	<i>Platypleura kaempferi</i>	●	●
113			ヒグラシ	<i>Tanna japonensis japonensis</i>	●	●
114		アワフキムシ科	ハルゼ'ミ	<i>Terpnosia vacua</i>		●
115			シロオビ'アワフキ	<i>Aphrophora intermedia</i>		●
116			ホシアワフキ	<i>Aphrophora stictica</i>		●

- 注) 1. ●は確認種を示す。
2. 属(亜科、科)までしか同定されていない種については、同一属(亜科、科)内の他種が確認されている場合、種数として計上していない。
3. コバチ上科[コバチ類の一種]については、1科1種として計上した。

表 7-9-8(3) 昆虫類の確認種

No.	目名	科名	和名	学名	事業計画地内	事業計画地外
117	カメムシ目	アワフキムシ科	<i>Peuceptylus</i> 属の一種	<i>Peuceptylus</i> sp.		●
118			ヒメモンキアワフキ	<i>Tabiphora rugosa</i>		●
119		ツノセミ科	トビイロツノセミ	<i>Machaerotypus sibiricus</i>		●
120		ミズク科	コミズク	<i>Ledropsis discolor</i>	●	
121		アオスキンヨコハ'イ科	アオスキンヨコハ'イ	<i>Batracomorphus mundus</i>		●
122			セグロアオスキンヨコハ'イ	<i>Iassus dorsalis</i>		●
123		ブ'チミヤクヨコハ'イ科	ブ'チミヤクヨコハ'イ	<i>Drabescus nigrifemoratus</i>	●	
124		オサヨコハ'イ科	オサヨコハ'イ	<i>Tartessus ferrugineus ferrugineus</i>		●
125		オオヨコハ'イ科	ツマグロオオヨコハ'イ	<i>Bothrogonia ferruginea</i>	●	●
126			オオヨコハ'イ	<i>Cicadella viridis</i>		●
127			マエシ'ロオオヨコハ'イ	<i>Kolla atramentaria</i>	●	●
128		ヒメヨコハ'イ科	スズ'キヒメヨコハ'イ	<i>Arboridia suzukii</i>		●
129			<i>Empoasca</i> 属の一種	<i>Empoasca</i> sp.		●
130			ヨツモンヒメヨコハ'イ	<i>Empoasca canara limbata</i>		●
131			ヨモギ'ヒメヨコハ'イ	<i>Eupteryx minuscula</i>	●	
132			シロヒメヨコハ'イ	<i>Eurhadina pulchella</i>		●
133			ホシヒメヨコハ'イ	<i>Limassolla multipunctata</i>	●	●
134			アカシヒメヨコハ'イ	<i>Paracyba akashiensis</i>		●
135			<i>Typhlocyba</i> 属の一種	<i>Typhlocyba</i> sp.		●
136		ヨコハ'イ科	アカカスリヨコハ'イ	<i>Balclutha rubrinervis</i>	●	●
137			ヨツテンヨコハ'イ	<i>Macrosteles quadrimaculatus</i>		●
138			ムツテンヨコハ'イ	<i>Macrosteles sexnotatus</i>	●	●
139			トバ'ヨコハ'イ	<i>Alobaldia tobae</i>		●
140			シロセシ'ヨコハ'イ	<i>Scaphoideus albowittatus</i>		●
141			シラホシカシヨコハ'イ	<i>Scaphoideus festivus</i>		●
142		アブラムシ科	<i>Acyrtosiphon</i> 属の一種	<i>Acyrtosiphon</i> sp.	●	
143			マメア'ブラムシ	<i>Aphis craccivora craccivora</i>	●	
144		アメンボ'科	シマアメンボ'	<i>Metrocoris histrio</i>		●
145			コセア'アメンボ'	<i>Gerris gracilicornis</i>	●	
146			ヒメアメンボ'	<i>Gerris latiabdominis</i>	●	●
147			オオアメンボ'	<i>Gerris (Aquarius) elongatus</i>	●	
148			アメンボ'	<i>Gerris (Aquarius) paludum paludum</i>	●	●
149		ミス'ムシ科	コミス'ムシ	<i>Sigara substriata</i>	●	●
150		マツモムシ科	マツモムシ	<i>Notonecta triguttata</i>		●
151		カスミカメムシ科	ズ'アカシタ'カスミカメムシ	<i>Monalocoris filicis</i>	●	
152			カシワカスミカメムシ	<i>Arbolygus potanini</i>	●	●
153			アカホシカスミカメムシ	<i>Creontiades pallidifer</i>		●
154			フタモンアカカスミカメムシ	<i>Lygocoris (Apolygus) hilaris</i>		●
155			ツマグロア'オカスミカメムシ	<i>Lygocoris (Apolygus) spinolae</i>	●	●
156			ムギ'カスミカメムシ	<i>Stenodema (Brachystira) calcaratum</i>		●
157			アカシ'カスミカメムシ	<i>Stenotus rubrovittatus</i>		●
158			ヨモギ'ヒョウタンカスミカメムシ	<i>Pilophorus okamotoi</i>		●
159			クロヒョウタンカスミカメムシ	<i>Pilophorus typicus</i>		●
160		グンバ'イムシ科	トサカグン'ハ'イ	<i>Stephanitis takeyai</i>		●
161		サシガ'メ科	ビ'ロウト'サシガ'メ	<i>Ectrychotes andreae</i>	●	
162		ナガ'カメムシ科	<i>Nysius</i> 属の一種	<i>Nysius</i> sp.	●	
163			ホソメタ'カナガ'カメムシ	<i>Ninomimus flavipes</i>	●	
164			コバ'ネナガ'カメムシ	<i>Dimorphopterus pallipes</i>		●
165			ホソコバ'ネナガ'カメムシ	<i>Macropes obnubilis</i>		●
166			オオメカメムシ	<i>Picocoris varius</i>		●
167			チャイロナガ'カメムシ	<i>Neolethaeus dallasi</i>	●	●
168			<i>Neolethaeus</i> 属の一種	<i>Neolethaeus</i> sp.		●
169			コバ'ネヒョウタンナガ'カメムシ	<i>Togo hemipterus</i>		●
170		メダ'カナガ'カメムシ科	メダ'カナガ'カメムシ	<i>Chauliops fallax</i>		●
171		ホシカメムシ科	フタモンホシカメムシ	<i>Pyrrhocoris sibiricus</i>	●	
172		オオホシカメムシ科	ヒメホシカメムシ	<i>Physopelta cincticollis</i>	●	●
173			オオホシカメムシ	<i>Physopelta gutta</i>		●
174		ホソハリカメムシ科	クモハリカメムシ	<i>Leptocoris chinensis</i>		●
174			ホソハリカメムシ	<i>Riptortus clavatus</i>	●	

注) 1. ●は確認種を示す。

2. 属(亜科、科)までしか同定されていない種については、同一属(亜科、科)内の他種が確認されている場合、種数として計上していない。

3. コバチ上科[コバチ類の一種]については、1科1種として計上した。

表 7-9-8(4) 昆虫類の確認種

No.	目名	科名	和名	学名	事業計画地内	事業計画地外
175	カメムシ目	ヘリカメムシ科	ヒメトゲヘリカメムシ	<i>Coriomeris scabricornis</i>	●	
176			オオクモヘリカメムシ	<i>Anacanthocoris stricornis</i>	●	●
177			ホソハリカメムシ	<i>Cletus punctiger</i>		●
178			ホシハラビロヘリカメムシ	<i>Homoeocerus unipunctatus</i>		●
179			ツマキヘリカメムシ	<i>Hygia (Hygia) opaca</i>		●
180		ヒメヘリカメムシ科	アカヒメヘリカメムシ	<i>Rhopalus (Aeschynteles) maculatus</i>		●
181			ケブカヒメヘリカメムシ	<i>Rhopalus (Aeschynteles) sapporensis</i>		●
182			ブチヒケヘリカメムシ	<i>Stictopleurus punctatonevrosus</i>		●
183		マルカメムシ科	マルカメムシ	<i>Megacopta punctatissima</i>	●	●
184			ヨコツナツチカメムシ	<i>Adrisa magna</i>		●
185		ツチカメムシ科	ヒメツチカメムシ	<i>Geotomus pygmaeus</i>	●	●
186			ツチカメムシ	<i>Macroscytus japonensis</i>	●	●
187		カメムシ科	オオクロカメムシ	<i>Scotinophara horvathi</i>		●
188			ウスラカメムシ	<i>Aelia fieberi</i>		●
189			ウシカメムシ	<i>Alcimocoris japonensis</i>		●
190			トゲシラホシカメムシ	<i>Eysarcoris aeneus</i>		●
191			マルシラホシカメムシ	<i>Eysarcoris guttiger</i>		●
192			オオトゲシラホシカメムシ	<i>Eysarcoris lewisi</i>		●
193			シラホシカメムシ	<i>Eysarcoris ventralis</i>		●
194			クサキカメムシ	<i>Halymorpha picus</i>	●	●
195			ヨツボシカメムシ	<i>Homalogonia obtusa</i>	●	●
196			アオクサカメムシ	<i>Nezara antennata</i>	●	●
197			チャハネアオカメムシ	<i>Plautia crossota stali</i>	●	●
198			ヒメチャハネアオカメムシ	<i>Plautia splendens</i>		●
199		エビイロカメムシ科	エビイロカメムシ	<i>Gonopsis affinis</i>		●
200		ツノカメムシ科	セアツノカメムシ	<i>Acanthosoma denticauda</i>		●
201			エソツノカメムシ	<i>Acanthosoma expansum</i>	●	
202			ヒメツノカメムシ	<i>Elasmucha putoni</i>	●	●
203			エサキモンキツノカメムシ	<i>Sastragala esakii</i>	●	●
204			モンキツノカメムシ	<i>Sastragala scutellata</i>		●
205	アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科	ヘビトンボ	<i>Protohermes grandis</i>	●	
206		セツフリ科	<i>Sialis</i> 属の一種	<i>Sialis</i> sp.		●
207		ヒロハカゲロウ科	ヒロハカゲロウ科の一種	Osmiidae gen. sp.	●	●
208		クサカゲロウ科	クサカゲロウ科の一種	Chrysopidae gen. sp.		●
209		ツノトンボ科	オオツノトンボ	<i>Protidricerus japonicus</i>		●
210	コウチュウ目	ハンミョウ科	ハンミョウ	<i>Cicindela chinensis japonica</i>	●	●
211			ニワハンミョウ	<i>Cicindela japana</i>	●	●
212		オサムシ科	オオオサムシ	<i>Carabus dehaanii dehaanii</i>	●	●
213			マイマイカブリ	<i>Damaster blaptoides blaptoides</i>		●
214			キュウシュウクロナカオサムシ	<i>Leptocarabus kyushuensis kyushuensis</i>	●	
215			クロナカオサムシ	<i>Leptocarabus procerulus procerulus</i>	●	●
216			キイロセマルコムシキワゴミムシ	<i>Elaphropus latissimus</i>	●	
217			ヨツモンコムシキワゴミムシ	<i>Tachyura laetifica</i>	●	
218			ムネミヅマルゴミムシ	<i>Caelostomus picipes japonicus</i>		●
219			<i>Pterostichus</i> 属の一種	<i>Pterostichus</i> sp.	●	
220			ヤセモリヒラタゴミムシ	<i>Colpodes elainus elainus</i>		●
221			ハラアカモリヒラタゴミムシ	<i>Colpodes japonicus</i>		●
222			オオヒラタゴミムシ	<i>Platynus magnus</i>		●
223			マルガタツヤヒラタゴミムシ	<i>Synuchus arcuaticollis</i>	●	
224			クロツヤヒラタゴミムシ	<i>Synuchus cycloderus</i>	●	●
225			ヒメツヤヒラタゴミムシ	<i>Synuchus dulcigradus</i>	●	
226			コクロツヤヒラタゴミムシ	<i>Synuchus melantho</i>	●	●
227			オオクロツヤヒラタゴミムシ	<i>Synuchus nitidus</i>	●	●
228			ニセマルガタゴミムシ	<i>Amara congrua</i>	●	●
229			ホシボシゴミムシ	<i>Anisodactylus punctatipennis</i>		●
230			ゴミムシ	<i>Anisodactylus signatus</i>	●	
231			オオゴモクムシ	<i>Harpalus capito</i>		●
232			ツヤアオゴモクムシ	<i>Harpalus chalcatus</i>	●	
233			オオスゲゴモクムシ	<i>Harpalus eous</i>		●

注) 1. ●は確認種を示す。

2. 属(亜科、科)までしか同定されていない種については、同一属(亜科、科)内の他種が確認されている場合、種数として計上していない。

3. コバチ上科[コバチ類の一種]については、1科1種として計上した。

表 7-9-8(5) 昆虫類の確認種

No.	目名	科名	和名	学名	事業計画地内	事業計画地外
234	コウチュウ目	オサムシ科	ヒメケゴ'モクムシ	<i>Harpalus jureceki</i>	●	
235			ウスアカクロゴ'モクムシ	<i>Harpalus sinicus</i>		●
236			コゴ'モクムシ	<i>Harpalus tridens</i>	●	●
237			ケゴ'モクムシ	<i>Harpalus vicarius</i>		●
238			カラカネゴ'モクムシ	<i>Platymetopus flavilabris</i>		●
239			オオイクビ'ツヤゴ'モクムシ	<i>Trichotichnus nipponicus</i>	●	
240			キイロチビゴ'モクムシ	<i>Acupalpus inornatus</i>	●	●
241			キヘ'リゴ'モクムシ	<i>Anoplogenus cyanescens</i>		●
242			ミドリマメゴ'モクムシ	<i>Stenolophus difficilis</i>	●	
243			アトモンアオゴ'ミムシ	<i>Chlaenius bioculatus</i>	●	
244			ヒメキヘ'リアオゴ'ミムシ	<i>Chlaenius inops</i>		●
245			アトホ'シアオゴ'ミムシ	<i>Chlaenius naeviger</i>	●	●
246			アオゴ'ミムシ	<i>Chlaenius pallipes</i>	●	
247			スジ'アオゴ'ミムシ	<i>Haplochlaenius costiger</i>	●	
248			クロツフ'ゴ'ミムシ	<i>Pentagonica subcordicollis</i>		●
249			キガ'シラアオ'アトキリゴ'ミムシ	<i>Calleida lepida</i>	●	
250			イクビ'ホソアトキリゴ'ミムシ	<i>Dromius quadraticollis</i>		●
251			キクビ'アオアトキリゴ'ミムシ	<i>Lachnolebia cribricollis</i>		●
252			ハネビ'ロアトキリゴ'ミムシ	<i>Lebia duplex</i>		●
253			ヒトツメアトキリゴ'ミムシ	<i>Parena monostigma</i>		●
254			オオヨツアナアトキリゴ'ミムシ	<i>Parena perforata</i>		●
255			フタホシスジ'ハ'ネゴ'ミムシ	<i>Planetes puncticeps</i>	●	
256			アオヘリホソゴ'ミムシ	<i>Drypta japonica</i>	●	
257		ホソクビ'ゴ'ミムシ科	ミイデ'ラゴ'ミムシ	<i>Pheropsophus jessoensis</i>		●
258		ゲ'ンゴ'ロウ科	コシマゲ'ンゴ'ロウ	<i>Hydaticus grammicus</i>		●
259		ガムシ科	コモンシジ'ミガムシ	<i>Laccobius oscillans</i>		●
260			ガムシ	<i>Hydrophilus acuminatus</i>	●	●
261			ヒメガムシ	<i>Sternolophus rufipes</i>	●	●
262			ヤマトゴ'マフガムシ	<i>Berosus japonicus</i>		●
263			ゴ'マフガムシ	<i>Berosus signaticollis punctipennis</i>	●	
264		シデ'ムシ科	クロシデ'ムシ	<i>Nicrophorus concolor</i>		●
265			ヨツボシ'モンシデ'ムシ	<i>Nicrophorus quadripunctatus</i>		●
266			オオモモフ'トシデ'ムシ	<i>Necrodes asiaticus</i>	●	●
267			モモフ'トシデ'ムシ	<i>Necrodes nigricornis</i>		●
268		ハネカクシ科	キイロハナムグリ'ハネカクシ	<i>Eusphalerum parallelum</i>	●	
269			チビ'クロセスジ'ハネカクシ	<i>Anotylus latiusculus</i>	●	
270			ルイスセスジ'ハネカクシ	<i>Anotylus lewisius</i>	●	
271			チビ'ニセユミセミゾ'ハネカクシ	<i>Carpelimus exiguus</i>	●	●
272			ニセユミセミゾ'ハネカクシ	<i>Carpelimus vagus</i>		●
273			ヤマトニセユミセミゾ'ハネカクシ	<i>Thinodromus japonicus</i>	●	
274			クロストガ'リハネカクシ	<i>Lithocharis nigriceps</i>		●
275			ネアカタガ'リハネカクシ	<i>Medon lewisius</i>		●
276			アハ'タコハ'ネハネカクシ	<i>Nazeris wollastoni</i>	●	
277			アオハ'アリガ'タハネカクシ	<i>Paederus fuscipes</i>	●	●
278			キハ'ネクビ'ボソ'ハネカクシ	<i>Rugilus ceylanensis</i>		●
279			ムネビ'ロハネカクシ	<i>Algon grandicollis</i>		●
280			Gabrius属の一種	<i>Gabrius</i> sp.		●
281			サビ'イロモンキハネカクシ	<i>Ocypus dorsalis</i>	●	●
282			キアジチビ'コガ'シラハネカクシ	<i>Philonthus numata</i>		●
283			カクコガ'シラハネカクシ	<i>Philonthus rectangulus</i>		●
			Philonthus属の一種	<i>Philonthus</i> sp.	●	
284			ナミクシヒケ'ハネカクシ	<i>Velleius dilatatus</i>		●
285			Aleochara属の一種	<i>Aleochara</i> sp.	●	
286			ツヤケシキハ'ネチビ'ハネカクシ	<i>Nehemitropa sordida milu</i>	●	●
287			Silusa属の一種	<i>Silusa</i> sp.	●	
288		デ'オキノコムシ科	シリアカデ'オキノコムシ	<i>Scaphidium rufopygum</i>		●
289		マルハナノミ科	ヒメマルハナノミ	<i>Scirtes sobrinus</i>		●
290		クワガタムシ科	ヒラタクワガタ	<i>Serrognathus platymelus pilifer</i>		●
291		センチコガ'ネ科	センチコガ'ネ	<i>Geotrupes laevistriatus</i>	●	●

注) 1. ●は確認種を示す。

2. 属(亜科、科)までしか同定されていない種については、同一属(亜科、科)内の他種が確認されている場合、種数として計上していない。

3. コバチ上科[コバチ類の一種]については、1科1種として計上した。

表 7-9-8(6) 昆虫類の確認種

No.	目名	科名	和名	学名	事業計画地内	事業計画地外
292	コウチュウ目	センシコガネ科	オオセンシコガネ	<i>Geotrupes auratus</i>	●	●
293		コガネムシ科	マメタルマコガネ	<i>Panelus parvulus</i>	●	
294			ゴ'ホシタ'イココガネ	<i>Copris acutidens</i>		●
295			コフ'マルエンマコガネ	<i>Onthophagus atripennis atripennis</i>	●	
296			カド'マルエンマコガネ	<i>Onthophagus lenzii</i>	●	●
297			クロコガネ	<i>Holotrichia kiotoensis</i>		●
298			オオクロコガネ	<i>Holotrichia parallela</i>		●
299			コクロコガネ	<i>Holotrichia picea</i>		●
300			アカビ'ロウド'コガネ	<i>Maladera castanea</i>		●
301			カミヤビ'ロウド'コガネ	<i>Maladera kamiyai</i>	●	
302			オオビ'ロウド'コガネ	<i>Maladera renardi</i>	●	●
303			ヤマトチャイロコガネ	<i>Sericania fuscolineata nipponensis</i>		●
			<i>Sericania</i> 属の一種	<i>Sericania</i> sp.	●	
304			ドウガ'ネブ'イフ'イ	<i>Anomala cuprea</i>	●	●
305			サクラコガネ	<i>Anomala daimiana</i>		●
306			ヒメサクラコガネ	<i>Anomala geniculata</i>		●
307			ツヤコガネ	<i>Anomala lucens</i>	●	
308			セマダ'ラコガネ	<i>Blitopertha orientalis</i>		●
309			ウスチャコガネ	<i>Phyllopertha diversa</i>	●	●
310		ヒメ'ロムシ科	キバ'リナガ'アシド'ロムシ	<i>Grouvellinus marginatus</i>		●
311			イフ'シアシナガド'ロムシ	<i>Stenelmis nipponica</i>		●
312			アワツヤド'ロムシ	<i>Zaitzevia awana</i>		●
313		タマムシ科	マルガ'タチビ'タマムシ	<i>Trachys inedita</i>		●
314		コメツキムシ科	サビ'キコリ	<i>Agrypnus binodulus binodulus</i>	●	●
315			ムナビ'ロサビ'キコリ	<i>Agrypnus cordicollis</i>		●
316			ドウガ'ネヒラタコメツキ	<i>Corymbitodes gratus</i>	●	●
317			アカハラクロコメツキ	<i>Ampedus hypogastricus hypogastricus</i>	●	
318			オオアカコメツキ	<i>Ampedus optabilis</i>		●
319			キハ'ネホソコメツキ	<i>Dolerosomus gracilis</i>		●
320			オオナガ'コメツキ	<i>Elater sieboldi sieboldi</i>		●
321			ヒゲ'ナガ'コメツキ	<i>Neotrichophorus junior junior</i>		●
322			クロツヤクシコメツキ	<i>Melanotus annosus</i>	●	
323			チャハ'ネクシコメツキ	<i>Melanotus seniculus</i>	●	
324			クロクシコメツキ	<i>Melanotus senilis senilis</i>		●
325			ミズ'ギ'ワコメツキ亜科の一種	<i>Negatrinae</i> gen. sp.	●	
326		コメツキダ'マシ科	アイヌコメツキダ'マシ	<i>Farsus ainu</i>	●	
327		ヘ'ニボ'タル科	ヒメクロハナボ'タル	<i>Plateros japonicus</i>		●
328		ホタル科	ゲ'ンシ'ボ'タル	<i>Luciola cruciata</i>	●	●
329			ハイケ'ボ'タル	<i>Luciola lateralis</i>		●
330		ジ'ョウカイ'ボ'ソ科	ニシジ'ョウカイ'ボ'ソ	<i>Athemus suturellus luteipennis</i>		●
331			ミヤマクビ'アサジ'ョウカイ	<i>Cantharis nakanei</i>		●
332			ヒメジ'ョウカイ	<i>Mikadocantharis japonica</i>		●
333			クビ'ボ'ソジ'ョウカイ	<i>Podabrus heydeni</i>		●
334			クロヒメクビ'ボ'ソジ'ョウカイ	<i>Podabrus malthinoides</i>	●	●
335			<i>Malthinus</i> 属の一種	<i>Malthinus</i> sp.		●
336			ムネミゾクロチビ'ジ'ョウカイ	<i>Malthodes sulcicollis</i>		●
337		コクヌスト科	オオコクヌスト	<i>Trogossita japonica</i>	●	
338		カッコウムシ科	キオビ'ナガ'カッコウムシ	<i>Opilo carinatus</i>		●
339		ケシキスイ科	ホソキヒラタケシキスイ	<i>Epuraea parilis</i>	●	
			<i>Epuraea</i> 属の一種	<i>Epuraea</i> sp.	●	●
340			モンチビ'ヒラタケシキスイ	<i>Haptoncus ocularis</i>	●	
341			ネアカマルケシキスイ	<i>Neopallodes inermis</i>		●
342			キノコヒラタケシキスイ	<i>Physoronia explanata</i>		●
343			キバ'リチビ'ケシキスイ	<i>Meligethes violaceus</i>		●
344		ネスイムシ科	ヤマトネスイ	<i>Rhizophagus japonicus</i>	●	
345			チビ'ネスイ	<i>Rhizophagus parviceps</i>		●
346		ヒメハナムシ科	キイロアシナガ'ヒメハナムシ	<i>Heterolitus nipponicus</i>		●
347		ムクゲ'キスイムシ科	ハスモンムクゲ'キスイ	<i>Biphyllus rufopictus</i>	●	
348		コメツキモドキ科	ツマグロヒメコメツキモドキ	<i>Anadastus praeustus</i>		●

注) 1. ●は確認種を示す。

2. 属(亜科、科)までしか同定されていない種については、同一属(亜科、科)内の他種が確認されている場合、種数として計上していない。

3. コバチ上科[コバチ類の一種]については、1科1種として計上した。

表 7-9-8(7) 昆虫類の確認種

No.	目名	科名	和名	学名	事業計画地内	事業計画地外
349	コウチュウ目	テントウムシダマシ科	キボシテントウダマシ	<i>Mycetina amabilis</i>	●	
350		テントウムシ科	クロヒメテントウ	<i>Scymnus(Pullus) japonicus</i>		●
351			ヒメアカホシテントウ	<i>Chilocorus kuwanae</i>		●
352			フタモンクロテントウ	<i>Cryptogonus orbiculus</i>		●
353			ムーアシロホシテントウ	<i>Calvia(Eocaria) muiri</i>	●	
354			ナナホシテントウ	<i>Coccinella septempunctata</i>	●	●
355			ナミテントウ	<i>Harmonia axyridis</i>	●	
356			キイロテントウ	<i>Illeis koebelei koebelei</i>	●	
357			ヒメカメノコテントウ	<i>Propylea japonica</i>		●
358		ミジ'ソムシダマシ科	クロミジ'ソムシダマシ	<i>Aphanocephalus hemisphericus</i>	●	
359		カミキリモドキ科	モモフ'トカミキリモドキ	<i>Oedemeronia lucidicollis</i>		●
360		アカハネムシ科	ムナビ'ロアカハネムシ	<i>Pseudopyrochroa laticollis</i>		●
361		アリモドキ科	アカクビ'ホ'ソムシ	<i>Macratia serialis</i>	●	●
362			クロチビ'アリモドキ	<i>Anthicomorphus niponicus niponicus</i>		●
363			アカホ'ソアリモドキ	<i>Anthicus fugiens</i>		●
364			ヨツホ'シホ'ソアリモドキ	<i>Pseudoleptaleus valgipes</i>		●
365		ツチハンミョウ科	ヒメツチハンミョウ	<i>Meloe coarctatus</i>	●	●
366		ハムシダマシ科	ヒゲ'フ'ト'ゴ'ミムシダマシ	<i>Luprops orientalis</i>		●
367		クチキムシ科	オオクチキムシ	<i>Allecula fuliginosa</i>	●	●
368			クチキムシ	<i>Allecula melanaria</i>		●
369		ゴ'ミムシダマシ科	ゴ'モクムシダマシ	<i>Pedinus japonicus</i>		●
370			ヤマトスナゴ'ミムシダマシ	<i>Gonocephalum coenosum</i>		●
371			コスナゴ'ミムシダマシ	<i>Gonocephalum coriaceum</i>		●
372			ヒメスナゴ'ミムシダマシ	<i>Gonocephalum persimile</i>		●
373			ヨツホ'シゴ'ミムシダマシ	<i>Basanus erotyloides</i>		●
374			ニセクロホシテントウゴ'ミムシダマシ	<i>Derispia japonicola</i>		●
375			モトヨツコフ'ゴ'ミムシダマシ	<i>Uloma bonzica</i>		●
376			エグ'リゴ'ミムシダマシ	<i>Uloma marseuli marseuli</i>		●
377			ミツノゴ'ミムシダマシ	<i>Toxicum tricornutum</i>		●
378			ズ'ビ'ロキマワリモドキ	<i>Gnesis helopioides helopioides</i>		●
379			クロルリゴ'ミムシダマシ	<i>Metaclica atrocyanea</i>	●	●
380			ニジ'ゴ'ミムシダマシ	<i>Tetraphyllus lunuliger lunuliger</i>		●
381			キマワリ	<i>Plesiophthalmus nigrocyaneus nigrocyaneus</i>		●
382			クロツヤキマワリ	<i>Plesiophthalmus spectabilis spectabilis</i>	●	
383			スジ'コガ'シラゴ'ミムシダマシ	<i>Heterotarsus carinula</i>		●
384		カミキリムシ科	セスジ'ヒメハナカミキリ	<i>Pidonia amentata amentata</i>		●
385			フタオビ'チビ'ハナカミキリ	<i>Pidonia puziloi</i>		●
386			ヒメスギ'カミキリ	<i>Callidiellum rufipenne</i>	●	
387			トゲ'ヒゲ'トラカミキリ	<i>Demonax transilis</i>		●
388			マツノマダ'ラカミキリ	<i>Monochamus alternatus</i>	●	
389			キボ'シカミキリ	<i>Psacotheta hilaris hilaris</i>		●
390			ハラアカコブ'カミキリ	<i>Moechotypa diphysis</i>	●	
391			シラホシカミキリ	<i>Glenea relictata relictata</i>		●
392		ハムシ科	ルリクビ'ホ'ソハムシ	<i>Lema cirsicola</i>		●
393			ユリクビ'ナガ'ハムシ	<i>Liliocerus merdigera</i>		●
394			ムナキルリハムシ	<i>Smaragdina semiaurantiaca</i>	●	●
395			クロボ'シツツハムシ	<i>Cryptocephalus signaticeps</i>		●
396			マダ'ラアラゲ'サルハムシ	<i>Demotina fasciculata</i>		●
397			ヒメキハ'ネサルハムシ	<i>Pagria signata</i>	●	
398			ウリハムシモドキ	<i>Atrachya menetriesi</i>	●	
399			ウリハムシ	<i>Aulacophora femoralis</i>		●
400			ニセキハ'ラヒメハムシ	<i>Exosoma chujoi</i>		●
401			キハ'ラヒメハムシ	<i>Exosoma flaviventre</i>		●
402			クワハムシ	<i>Fleutiauxia armata</i>		●
403			ホタルハムシ	<i>Monolepta dichroa</i>	●	●
404			キイロクワハムシ	<i>Monolepta pallidula</i>		●
405			カミナリハムシ	<i>Altica cyanea</i>		●
			Altica属の一種	<i>Altica</i> sp.		●
406			ツブ'ノミハムシ	<i>Aphthona perminuta</i>	●	●

注) 1.●は確認種を示す。

2.属(亜科、科)までしか同定されていない種については、同一属(亜科、科)内の他種が確認されている場合、種数として計上していない。

3.コバチ上科[コバチ類の一種]については、1科1種として計上した。

表 7-9-8(8) 昆虫類の確認種

No.	目名	科名	和名	学名	事業計画地内	事業計画地外
407	コウチュウ目	ハムシ科	テンサイトビハムシ	<i>Chaetocnema concinna</i>		●
408			カクムネチビトビハムシ	<i>Neocrepidodera recticollis</i>	●	
409			ルリマルノミハムシ	<i>Nonarthra cyanea</i>		●
410			コマルノミハムシ	<i>Nonarthra tibialis</i>	●	
411			キスジノミハムシ	<i>Phyllotreta striolata</i>		●
412			ツマキタマノミハムシ	<i>Sphaeroderma apicale</i>		●
413			ムネアカタマノミハムシ	<i>Sphaeroderma placidum</i>		●
414		ヒゲナガゾウムシ科	ヒメセマルヒゲナガゾウムシ	<i>Phloeobius mimes</i>	●	
415			スネアカヒゲナガゾウムシ	<i>Autotropis distinguenda</i>	●	
416		オトシブミ科	ヒメクロオトシブミ	<i>Apoderus (Compsapoderus) erythrogaster</i>		●
417		ホソクチゾウムシ科	キシキシホソクチゾウムシ	<i>Apion (Perapion) violaceum</i>		●
418			モンチビゾウムシ	<i>Nanophyes pallipes</i>		●
419		ゾウムシ科	リソココフキゾウムシ	<i>Phyllobius (Odontophyllobius) armatus</i>	●	●
420			ケブカクチフゾウムシ	<i>Myloccerus fumosus</i>		●
421			カシワクチフゾウムシ	<i>Myloccerus griseus</i>		●
422			ホソヒメカタゾウムシ	<i>Asphalmus japonicus</i>	●	
423			イコマケシツチゾウムシ	<i>Trachyphloeosoma advena</i>		●
424			イチゴハナゾウムシ	<i>Anthonomus bisignifer</i>		●
425			ナカスジカレキゾウムシ	<i>Acicnemis suturalis</i>		●
426			マツノシラホシゾウムシ	<i>Shirahoshizo insidiosus</i>	●	
427			ニセマツノシラホシゾウムシ	<i>Shirahoshizo rufescens</i>	●	
428		オサゾウムシ科	キクイサビゾウムシ	<i>Dryophthorus sculpturatus</i>		●
429		キクイムシ科	ミカドキクイムシ	<i>Scolytoplatypus mikado</i>		●
430			ツヤナシキクイムシ	<i>Xyleborus adumbratus</i>		●
431			トマツオオキクイムシ	<i>Xyleborus validus</i>	●	●
432			ハンノキキクイムシ	<i>Xylosandrus germanus</i>	●	
433			トウヒノヒメキクイムシ	<i>Pityophthorus jucundus</i>	●	
434			ツヤヒラタハバチ	<i>Onycholyda lucida</i>	●	
435	ハチ目	ミフシハバチ科	ウソモンチュウレンジ	<i>Arge jonasi</i>		●
436		ハバチ科	メスグロシダハバチ	<i>Alphostromboceros konowi</i>	●	
437			セグロカブラハバチ	<i>Athalia infumata</i>	●	●
438			ニホンカブラハバチ	<i>Athalia japonica</i>	●	
439			オオムネアカハバチ	<i>Dolerus ephippiatus</i>		●
440			クロハバチ	<i>Macrophya ignava</i>		●
			ハバチ科の一種	<i>Tenthredinidae gen. sp.</i>	●	●
441		コマユハチ科	コマユハチ科の一種	<i>Braconidae gen. sp.</i>	●	●
442		ヒメハチ科	クロハラヒメハチ	<i>Callajoppa pepsoides</i>	●	
			ヒメハチ科の一種	<i>Ichneumonidae gen. sp.</i>	●	●
443		カタビロコハチ科	カタビロコハチ科の一種	<i>Eurytomidae gen. sp.</i>	●	
444		トビコハチ科	トビコハチ科の一種	<i>Encyrtidae gen. sp.</i>	●	
445		コハチ上科	コハチ類の一種	<i>CHALCIDOIDEA gen. sp.</i>	●	●
446		アリガタハチ科	アリガタハチ科の一種	<i>Bethylidae gen. sp.</i>		●
447		コツチハチ科	オオコツチハチ	<i>Tiphia (Tiphia) latistriata</i>		●
448		ツチハチ科	ヒメハラナガツチハチ	<i>Campsomeriella (Annulimeris) annulata annulata</i>		●
449			オオハラナガツチハチ	<i>Megacampsomeris grossa matsumurai</i>		●
450		アリ科	オオハリアリ	<i>Brachyponera chinensis</i>	●	●
451			アシナガアリ	<i>Aphaenogaster famelica famelica</i>	●	●
452			ヤマトアシナガアリ	<i>Aphaenogaster smythiesi japonica</i>	●	
453			テラニシシリアゲアリ	<i>Crematogaster (Crematogaster) brunnea teranishii</i>	●	●
454			キイロシリアゲアリ	<i>Crematogaster (Orthocrema) osakensis</i>	●	●
455			ヒメアリ	<i>Monomorium intrudens</i>		●
456			カドフシアリ	<i>Myrmecina graminicola nipponica</i>		●
457			アズマオオスアリ	<i>Pheidole fervida</i>	●	●
458			アミメアリ	<i>Pristomyrmex pungens</i>	●	●
459			ウロコアリ	<i>Strumigenys lewisi</i>	●	●
460			トビイロシワアリ	<i>Tetramorium caespitum</i>	●	●
461			シベリアカタアリ	<i>Hypoclinea sibirica</i>		●
462			ニシムネアカオアリ	<i>Camponotus (Camponotus) hemichlaena</i>	●	●
463			クロオアリ	<i>Camponotus (Camponotus) japonicus</i>	●	●

注) 1. ●は確認種を示す。

2. 属(亜科、科)までしか同定されていない種については、同一属(亜科、科)内の他種が確認されている場合、種数として計上していない。

3. コバチ上科[コバチ類の一種]については、1科1種として計上した。

表 7-9-8(9) 昆虫類の確認種

No.	目名	科名	和名	学名	事業計画地内	事業計画地外
464	ハチ目	アリ科	ウメマツオアリ	<i>Camponotus(Myrmamblys) tokioensis</i>		●
465			ヤマヨツボシオアリ	<i>Camponotus(Myrmamblys) yamaokai</i>		●
466			ミカドオアリ	<i>Camponotus(Paramyrmamblys) kiusiuiensis</i>		●
467			クロヤマアリ	<i>Formica(Serviiformica) japonica</i>	●	●
468			ハヤシクロヤマアリ	<i>Formica(Serviiformica) sp.</i>	●	●
469			ハヤシケアリ	<i>Lasius(Lasius) hayashi</i>	●	
470			トビイロケアリ	<i>Lasius(Lasius) niger</i>	●	●
471			アメイロアリ	<i>Paratrechina flavipes</i>	●	●
472			トゲアリ	<i>Polyrhachis(Polyrhachis) lamellidens</i>	●	●
			アリ科の一種	Formicidae gen. sp.	●	●
473		ヘ'ッコウバ'チ科	オオモンクロヘ'ッコウ	<i>Anoplius(Lophopompilus) samariensis</i>		●
			ヘ'ッコウバ'チ科の一種	Pompilidae gen. sp.	●	
474		ドロバ'チ科	ミカド'トックリバ'チ	<i>Eumenes micado</i>	●	
475			スズ'バ'チ	<i>Oreumenes decoratus</i>		●
476		スズ'メバ'チ科	トウヨウホソアシナガ'ハ'チ	<i>Parapolybia varia</i>	●	●
477			フタモンアシナガ'ハ'チ	<i>Polistes chinensis antennalis</i>		●
478			キボ'シアシナガ'ハ'チ	<i>Polistes mandarinus</i>	●	●
479			キアシナガ'ハ'チ	<i>Polistes rothneyi iwatai</i>	●	●
480			コアシナガ'ハ'チ	<i>Polistes snelleni</i>		●
481			コガ'タス'メバ'チ本土亜種	<i>Vespa analis insularis</i>		●
482			モンズ'メバ'チ	<i>Vespa crabro flavofasciata</i>		●
483			オオスズ'メバ'チ	<i>Vespa mandarinia japonica</i>	●	
484			キイロスズ'メバ'チ	<i>Vespa similina xanthoptera</i>	●	●
485		アナバ'チ科	Crossocerus属の一種	<i>Crossocerus sp.</i>		●
			アナバ'チ科の一種	Sphecidae gen. sp.	●	
486		ハキリバ'チ科	ハ'ラハキリバ'チ	<i>Megachile nipponica nipponica</i>		●
487		ヒメハナバ'チ科	Andrena属の一種	<i>Andrena sp.</i>	●	
488		コシブ'トハナバ'チ科	ケ'ワ'カハナバ'チ	<i>Anthophora pilipes villosula</i>		●
489			クマバ'チ	<i>Xylocopa appendiculata circumvolans</i>	●	●
490		ミツバ'チ科	オオマルハナバ'チ	<i>Bombus(Bombus) hypocrita hypocrita</i>		●
491			ニホミツバ'チ	<i>Apis cerana japonica</i>	●	●
492			セイヨウミツバ'チ	<i>Apis mellifera</i>		●
493	ハエ目	ガ'ガンボ'科	マダ'ラガ'ガンボ'	<i>Tipula(Nippotipula) coquilleti</i>	●	●
494			キリウシ'ガ'ガンボ'	<i>Tipula(Yamatotipula) aino</i>		●
495			マド'ガ'ガンボ'	<i>Tipula(Yamatotipula) nova</i>		●
			Tipula属の一種	<i>Tipula sp.</i>	●	●
496			オオユウレイ'ガ'ガンボ'	<i>Dolichopeza(Oropeza) candidipes</i>		●
497			Antocha属の一種	<i>Antocha sp.</i>	●	●
498			Limonia属の一種	<i>Limonia sp.</i>		●
499			モンシクロバ'ガ'ガンボ'	<i>Hexatoma(Eriocera) alboguttata</i>	●	
			ヒメ'ガ'ガンボ'亜科の一種	Limoniinae gen. sp.	●	●
			ガ'ガンボ'科の一種	Tipulidae gen. sp.	●	
500		チョウバ'エ科	チョウバ'エ科の一種	Psychodidae gen. sp.	●	
501		カ科	カ科の一種	Culicidae gen. sp.		●
502		ブ'エ科	Simulium属の一種	<i>Simulium sp.</i>	●	●
			ブ'エ科の一種	Simuliidae gen. sp.		●
503		スカカ科	スカカ科の一種	Ceratopogonidae gen. sp.	●	●
504		ユスリカ科	エリユスリカ亜科の一種	Orthocladiinae gen. sp.	●	●
505			ユスリカ亜科の一種	Chironominae gen. sp.	●	●
			ユスリカ科の一種	Chironomidae gen. sp.	●	●
506		タマバ'エ科	タマバ'エ科の一種	Cecidomyiidae gen. sp.		●
507		ホソキノコバ'エ科	Bolitophila属の一種	<i>Bolitophila sp.</i>		●
508		キノコバ'エ科	Mycetophila属の一種	<i>Mycetophila sp.</i>		●
			キノコバ'エ科の一種	Mycetophilidae gen. sp.		●
509		クロバ'ネキノコバ'エ科	クロバ'ネキノコバ'エ科の一種	Sciaridae gen. sp.	●	●
510		ミズ'ア'フ'科	コウカ'ア'フ'	<i>Ptecticus tenebriifer</i>		●
511		ア'フ'科	クロメ'クラ'ア'フ'	<i>Chrysops japonicus</i>	●	●
512			キスジ'ア'フ'	<i>Tabanus fulvemedioides</i>		●
513			ウシア'フ'	<i>Tabanus trigonus</i>	●	●

注) 1. ●は確認種を示す。

2. 属(亜科、科)までしか同定されていない種については、同一属(亜科、科)内の他種が確認されている場合、種数として計上していない。

3. コバチ上科[コバチ類の一種]については、1科1種として計上した。

表 7-9-8(10) 昆虫類の確認種

No.	目名	科名	和名	学名	事業計画地内	事業計画地外	
514	ハエ目	コガシラアブ科	シハ'カワコガシラアブ'	<i>Nipponocyrtus shibakawae</i>		●	
515		ツリアブ科	ビ'ロウドツリアブ'	<i>Bombylius major</i>	●		
516		ムシヒキアブ'科	Laphriinae亜科の一種	Laphriinae gen. sp.		●	
517			シオヤアブ'	<i>Promachus yesonicus</i>	●	●	
518		Asilinae亜科の一種	Asilinae亜科の一種	Asilinae gen. sp.		●	
519			オドリハ'エ科	アカメセダ'カオドリハ'エ	<i>Syneches grandis</i>	●	
			オドリハ'エ科の一種	Empididae gen. sp.		●	
520		アシナガ'ハ'エ科	アシナガ'ハ'エ科の一種	Dolichopodidae gen. sp.	●		
521		ヤリハ'エ科	ヤリハ'エ科の一種	Lonchopteridae gen. sp.		●	
522		ノミハ'エ科	ノミハ'エ科の一種	Phoridae gen. sp.	●	●	
523		ハナアブ'科	ホソヒラタアブ'	<i>Episyrphus balteatus</i>	●		
524			キタヒメヒラタアブ'	<i>Sphaerophoria philanthus</i>		●	
525			Baccha属の一種	Baccha sp.		●	
526			Pipizini族の一種	Pipizini gen. sp.		●	
527			シマハナアブ'	<i>Eristalis(Eoseristalis) cerealis</i>	●	●	
528			アシア'トハナアブ'	<i>Helophilus(Helophilus) virgatus</i>		●	
529		ヤチハ'エ科	ヤチハ'エ科の一種	Sciomyzidae gen. sp.	●		
530		シマハ'エ科	ヒラヤマシマハ'エ	<i>Homoneura hirayamae</i>		●	
531			ヤブ'クロシマハ'エ	<i>Minettia(Frendelia) longipennis</i>		●	
532		クロツヤハ'エ科	クロツヤハ'エ科の一種	Lonchaeidae gen. sp.	●	●	
533		ホソショウジ'ヨウハ'エ科	モンホソショウジ'ヨウハ'エ	<i>Diatata vagans</i>		●	
534		ショウジ'ヨウハ'エ科	キイロショウジ'ヨウハ'エ	<i>Drosophila(Sophophora) melanogaster</i>	●	●	
			ショウジ'ヨウハ'エ科の一種	Drosophilidae gen. sp.	●	●	
535		ヒゲ'フトコハ'エ科	クロメマトイ	<i>Cryptochetum(Lestophonus) nipponense</i>		●	
536		ハヤト'ビ'ハ'エ科	ハヤト'ビ'ハ'エ科の一種	Sphaeroceridae gen. sp.		●	
537		イエハ'エ科	Coenosia属の一種	Coenosia sp.		●	
538		クロハ'エ科	クロハ'エ科の一種	Calliphoridae gen. sp.		●	
539		ニクハ'エ科	Parasarcophaga属の一種	Parasarcophaga sp.		●	
			ニクハ'エ科の一種	Sarcophagidae gen. sp.		●	
540		ヤドリハ'エ科	ノコギリハリハ'エ	<i>Compsilura concinnata</i>		●	
			ヤドリハ'エ科の一種	Tachinidae gen. sp.	●	●	
541		トビ'ケラ目	ヤマトビ'ケラ科	Glossosoma属の一種	Glossosoma sp.	●	●
542			ナガ'レトビ'ケラ科	Rhyacophila属の一種	Rhyacophila sp.	●	
543	カワトビ'ケラ科		カワトビ'ケラ科の一種	Philopotamidae gen. sp.		●	
544	ヒメトビ'ケラ科		ヒメトビ'ケラ科の一種	Hydroptilidae gen. sp.		●	
545	ヒゲ'ナガ'カワトビ'ケラ科		ヒゲ'ナガ'カワトビ'ケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>		●	
546	シマトビ'ケラ科		コガ'タシマトビ'ケラ	<i>Cheumatopsyche brevilineatus</i>	●	●	
			Cheumatopsyche属の一種	Cheumatopsyche sp.	●	●	
			ウルマー'シマトビ'ケラ	<i>Hydropsyche ulmeri</i>	●	●	
			Hydropsyche属の一種	Hydropsyche sp.	●	●	
548			オオシマトビ'ケラ	<i>Macronema radiatum</i>		●	
			シマトビ'ケラ科の一種	Hydropsychidae gen. sp.	●	●	
549	アシエ'タトビ'ケラ科		アシエ'タトビ'ケラ科の一種	Calamoceratidae gen. sp.		●	
550	ヒゲ'ナガ'トビ'ケラ科		ナガ'ツ'ヒゲ'ナガ'トビ'ケラ	<i>Ceraclea complicata</i>	●		
551			アオヒゲ'ナガ'トビ'ケラ	<i>Mystacides azurea</i>	●	●	
552			ゴ'マ'ダ'ラ'ヒゲ'ナガ'トビ'ケラ	<i>Oecetis nigropunctata</i>	●		
			ヒゲ'ナガ'トビ'ケラ科の一種	Leptoceridae gen. sp.	●	●	
553			エグ'リトビ'ケラ科	ニンキョウトビ'ケラ	<i>Goera japonica</i>	●	●
	Goera属の一種			Goera sp.	●	●	
554	カクツツトビ'ケラ科		ヒロオカクツツトビ'ケラ	<i>Goerodes bipertitus</i>		●	
			カクツツトビ'ケラ科の一種	Leiodostomatidae gen. sp.		●	
555	チョウ目		ハマキガ'科	チャハマキ	<i>Homona magnanima</i>		●
556		マツノクロマダ'ラヒメハマキ		<i>Epinotia rubiginosana</i>		●	
557		クロネハイロヒメハマキ		<i>Rhopobota naevana</i>		●	
558		キハ'ガ'科	キハ'ガ'科の一種	Gelechiidae gen. sp.		●	
559		イラガ'科	クロシタ'アオイラガ'	<i>Parasa sinica</i>	●		
560			アカイラガ'	<i>Phrixolepia sericea</i>		●	
561		マドガ'科	ヒメマダ'ラマド'ガ'	<i>Rhodoneura hyphaema</i>	●		
562		メイガ'科	クロスジ'ツツガ'	<i>Flavocrambus striatellus</i>		●	

- 注) 1. ●は確認種を示す。
2. 属(亜科、科)までしか同定されていない種については、同一属(亜科、科)内の他種が確認されている場合、種数として計上していない。
3. コバチ上科[コバチ類の一種]については、1科1種として計上した。

表 7-9-8(11) 昆虫類の確認種

No.	目名	科名	和名	学名	事業計画地内	事業計画地外
563	チョウ目	メイガ科	シロエグリツトガ	<i>Pareromene exsectella</i>		●
564			シロヒトモンノメイガ	<i>Analthes semitritalis orbicularis</i>	●	
565			シロモンノメイガ	<i>Bocchoris inspersalis</i>	●	●
566			タイワンウスキノメイガ	<i>Botvodes diniasalis</i>	●	
567			コブノメイガ	<i>Cnaphalocrocis medinalis</i>	●	●
568			Conogethes属の一種	<i>Conogethes</i> sp.	●	●
569			クロスカシトガリノメイガ	<i>Cotachena alysoni</i>	●	
570			クロハリキノメイガ	<i>Goniorhynchus butyroza</i>	●	
571			モンキクロノメイガ	<i>Herpetogramma luctuosalis zelleri</i>		●
572			マエキノメイガ	<i>Herpetogramma rudis</i>		●
573			シロオビノメイガ	<i>Hymenia recurvalis</i>	●	
574			マメノメイガ	<i>Maruca testulalis</i>		●
575			ウスオビキノメイガ	<i>Microstega jessica</i>	●	●
576			シロテンキノメイガ	<i>Nacoleia commixta</i>	●	●
577			サツマキノメイガ	<i>Nacoleia satumalis</i>		●
578			ホシオビホソノメイガ	<i>Nomis albopedalis</i>	●	
579			アワノメイガ	<i>Ostrinia furnacalis</i>		●
580			フキノメイガ 本州亜種	<i>Ostrinia scapularis subpacific</i>		●
581			マエベニノメイガ	<i>Paliga minnehaha</i>	●	
582			マエアカスカシノメイガ	<i>Palpita nigropunctalis</i>	●	●
583			クビシロノメイガ	<i>Pileocera aegimiusalis</i>	●	●
584			ヨツメノメイガ	<i>Pleuroptya quadrimaculalis</i>		●
585			ウコンノメイガ	<i>Pleuroptya ruralis</i>	●	●
586			キムシノメイガ	<i>Prodasyncnemis inornata</i>		●
587			トモンノメイガ	<i>Pyrausta limbata</i>		●
588			シロスジエグリノメイガ	<i>Sufetula sunidesalis</i>		●
589			タイワンモンキノメイガ	<i>Syllepte taiwanalis</i>	●	
590			クロモンキノメイガ	<i>Udea testacea</i>		●
591			モンシロルリノメイガ	<i>Uresiphita tricolor</i>		●
592			マダラミズメイガ	<i>Elophila interuptalis interuptalis</i>	●	●
593			ヒメマダラミズメイガ	<i>Elophila turbata</i>	●	
594			ナカムラサキフトメイガ	<i>Craneophora ficki</i>		●
595			トサカフトメイガ	<i>Locastra muscosalis</i>		●
596			キヘリトガリメイガ	<i>Endotricha portialis</i>	●	
597			アカシマメイガ	<i>Herculia pelasgalis</i>		●
598			トビイロシマメイガ	<i>Hypsopygia regina</i>	●	●
599			キンモンシマメイガ	<i>Pyralis regalis</i>	●	●
600			フタスジアカマダラメイガ	<i>Boeswarthia oberleella</i>		●
601			ウスアカムラサキマダラメイガ	<i>Calguia defigialis</i>	●	
602			マツノシンマダラメイガ	<i>Diorctria sylvestrella</i>	●	
603			アカマダラメイガ	<i>Onococera semirubella</i>	●	●
604		トリハガ科	Platyptilia属の一種	<i>Platyptilia</i> sp.		●
605		セセリチョウ科	ヒメキマダラセセリ	<i>Ochlodes ochraceus</i>	●	●
606			イチモンシセセリ	<i>Parnara guttata guttata</i>		●
607			オオチャバネセセリ	<i>Polytremis pellucida pellucida</i>		●
608			コチャバネセセリ	<i>Thoressa varia</i>		●
609		アゲハチョウ科	アオスジアゲハ	<i>Graphium sarpedon nipponum</i>		●
610			カラスアゲハ 本土亜種	<i>Papilio bianor dehaanii</i>		●
611			ミヤマカラスアゲハ	<i>Papilio maackii</i>		●
612			キアゲハ	<i>Papilio machaon hippocrates</i>		●
613			オナガアゲハ	<i>Papilio macilentus</i>		●
614			クロアゲハ 本土亜種	<i>Papilio protenor demetrius</i>	●	●
615			ナミアゲハ	<i>Papilio xuthus</i>	●	
616		シロチョウ科	ツマキチョウ	<i>Anthocharis scolymus</i>	●	●
617			キチョウ	<i>Eurema hecabe</i>	●	●
618			ツマグロキチョウ	<i>Eurema laeta betheseba</i>	●	●
619			スジグロシロチョウ	<i>Pieris (Artogeia) melete melete</i>		●
620			モンシロチョウ	<i>Pieris (Artogeia) rapae crucivora</i>	●	●
621			ルリシジミ	<i>Celastrina argiolus ladonides</i>		●

- 注) 1. ●は確認種を示す。
2. 属(亜科、科)までしか同定されていない種については、同一属(亜科、科)内の他種が確認されている場合、種数として計上していない。
3. コバチ上科[コバチ類の一種]については、1科1種として計上した。

表 7-9-8(12) 昆虫類の確認種

No.	目名	科名	和名	学名	事業計画地内	事業計画地外
622	チョウ目	シジミチョウ科	ツバメシジミ	<i>Everes argiades hellotia</i>		●
623			ヘニシジミ	<i>Lycaena phlaeas daimio</i>	●	●
624			ムラサキシジミ	<i>Narathura japonica</i>	●	●
625			トラフシジミ	<i>Rapala arata</i>		●
626			ヤマトシジミ本土亜種	<i>Zizeeria maha argia</i>	●	●
627		テングチョウ科	テングチョウ本土亜種	<i>Libythea celtis celtoides</i>		●
628		タテハチョウ科	サカハチチョウ	<i>Araschnia burejana strigosa</i>		●
629			ツマグロヒョウモン	<i>Argyreus hyperbius hyperbius</i>	●	●
630			ヒメアカタテハ	<i>Cynthia cardui</i>		●
631			イシガケチョウ	<i>Cyrestis thyodamas mabella</i>		●
632			ルリタテハ本土亜種	<i>Kaniska canace nojaponicum</i>	●	●
633			イチモンジチョウ	<i>Ladoga camilla japonica</i>		●
634			クモカクヒョウモン	<i>Nephargynnis anadyomene midas</i>		●
635			コミスジ	<i>Neptis sappho intermedia</i>		●
636			キタテハ	<i>Polygonia c-aureum c-aureum</i>		●
637			アカタテハ	<i>Vanessa indica</i>		●
638		ジャノメチョウ科	クロヒカゲ本土亜種	<i>Lethe diana diana</i>		●
639			ヒカゲチョウ	<i>Lethe icelid</i>		●
640			クロコノマチョウ	<i>Melanitis phedima oitensis</i>		●
641			ジャノメチョウ	<i>Minois dryas bipunctata</i>		●
642			コジャノメ	<i>Mycalesis francisca perdiccas</i>		●
643			ヒメジャノメ	<i>Mycalesis gotama fulginia</i>		●
644			ヒメウラナミジャノメ	<i>Ypthima argus</i>	●	●
645		カキハガ科	マエキカキハ	<i>Agnidra scabiosa scabiosa</i>	●	
646			ヒメハイイロカキハ	<i>Pseudalbara parvula</i>		●
647			アカウラカキハ	<i>Hypsomadius insignis</i>	●	
648		トガリハガ科	マユミトガリハ	<i>Neoploca arctipennis</i>	●	
649		ジャクガ科	ホソハハラアカオジャク	<i>Chlorissa anadema</i>		●
650			コヨツメアオジャク	<i>Comostola subtiliaria nympha</i>		●
651			ツバメアオジャク	<i>Gelasma ambigua</i>		●
652			カギシロスジアオジャク	<i>Geometra dieckmanni</i>		●
653			オオアヤジャク	<i>Pachyodes superans</i>		●
654			オオウスモンキヒメジャク	<i>Idaea imbecilla</i>		●
655			キオビヘニヒメジャク	<i>Idaea impexa</i>	●	
656			ヘニヒメジャク	<i>Idaea muricata</i>		●
657			ウスキクロテンヒメジャク	<i>Scopula ignobilis</i>	●	
658			モントビヒメジャク	<i>Scopula modicaria</i>	●	●
659			アヤコハネナミジャク	<i>Acasis bellaria</i>	●	
660			クロスジアオナミジャク	<i>Chloroclystis v-ata</i>		●
661			オオハガタナミジャク	<i>Ecliptopera umbrosaria</i>	●	●
662			ウストビモンナミジャク	<i>Eulithis ledereri inurbana</i>		●
663			セスジナミジャク	<i>Evecliptopera decurrens illitata</i>		●
664			シロシタトビイロナミジャク	<i>Heterothera postalbida</i>	●	
665			テンスジヒメナミジャク	<i>Hydrelia nisaria</i>		●
666			ビロードナミジャク	<i>Sibatania mactata</i>	●	
667			ホソハナミジャク	<i>Tyloptera bella bella</i>	●	
668			フタトビシナミジャク	<i>Xanthorhoe hortensiarum</i>		●
669			クロマダラエダジャク	<i>Abraxas fulvobasalis</i>		●
670			ナカウスエダジャク	<i>Alcis angulifera</i>	●	●
671			クロクモエダジャク	<i>Apocleora rimosa</i>	●	
672			ヤマトエダジャク	<i>Cassyma deletaria hypotaenia</i>		●
673			ウスオエダジャク	<i>Chiasmia hebesata</i>	●	
674			シロテンエダジャク	<i>Cleora leucophaea</i>	●	
675			ハラゲチビエダジャク	<i>Diplurodes parvularia</i>		●
676			サラサエダジャク	<i>Epholca arenosa</i>	●	●
677			ウラキトガリエダジャク	<i>Hypephyra terrosa pryeraria</i>	●	
678			ウスハミスジエダジャク	<i>Hypomecis punctinalis conferenda</i>		●
679			クロスウスエダジャク	<i>Lomographa simplicior</i>		●
680			ウスクモエダジャク	<i>Menophra senilis</i>	●	●

注) 1. ●は確認種を示す。

2. 属(亜科、科)までしか同定されていない種については、同一属(亜科、科)内の他種が確認されている場合、種数として計上していない。

3. コバチ上科[コバチ類の一種]については、1科1種として計上した。

表 7-9-8(13) 昆虫類の確認種

No.	目名	科名	和名	学名	事業計画地内	事業計画地外
681	チョウ目	ジャクガ科	マエキトビエダ'ジャク	<i>Nothomiza formosa</i>		●
682			エグ'リツ'マエダ'ジャク	<i>Odontopera arida arida</i>	●	●
683			キイロエグ'リツ'マエダ'ジャク	<i>Odontopera aurata</i>	●	
684			ツマキリウス'キエダ'ジャク	<i>Pareclipsis gracilis</i>	●	●
685			ゴ'マダ'ラシロエダ'ジャク	<i>Percnia albinigrata</i>		●
686			クロフ'オオシロエダ'ジャク	<i>Pogonopygia nigralbata</i>	●	●
687			ナミスシ'エダ'ジャク	<i>Racotis petrosa</i>		●
688			クロハゲ'ルマエダ'ジャク	<i>Synegia esther</i>	●	
689			ヒロ'オビ'オエダ'ジャク	<i>Xandrames dholaria</i>		●
690		アゲ'ハモドキガ科	アゲ'ハモドキ	<i>Epicopeia hainesii hainesii</i>	●	●
691			キンモンガ'	<i>Psychostrophia melanargia</i>		●
692		カレハガ科	マツカレハ	<i>Dendrolimus spectabilis</i>	●	
693			ヨシカレハ	<i>Euthrix potatoria bergmani</i>	●	
694		オビ'ガ科	オビ'ガ	<i>Apha aequalis</i>		●
695		カイコガ科	クワコ	<i>Bombyx mandarina</i>		●
696			オオクワコ'モドキ	<i>Oberthueria falcigera</i>		●
697		ヤママユガ科	オオミス'アオ'本州'亜種	<i>Actias artemis aliena</i>	●	●
698			エゾ'ヨツメ	<i>Aglaia tau microtau</i>		●
699		スズメガ科	エビ'ガ'ラスズメ	<i>Agrius convolvuli</i>	●	
700			アシ'アホソハ'スズメ	<i>Ambulyx sericeipennis tobii</i>	●	●
701			ウソモンズ'スズメ	<i>Callambulyx tatarinovii gabyae</i>		●
702			サザ'ナミスズメ	<i>Dolbina tancrei</i>	●	
703			モモスズメ	<i>Marumba gaschkewitschii echephron</i>		●
704			ヒメクロ'ホウシ'ヤク	<i>Macroglossum bombylans</i>		●
705			セグ'ロ'シャチ'ホコ	<i>Clostera anastomosis</i>		●
706		シャチ'ホコガ科	ハ'イ'ハ'ラシロ'シャチ'ホコ	<i>Cnethodonta grisescens</i>	●	●
707			ホソハ'シャチ'ホコ	<i>Fentonia ocypete</i>		●
708			ナカスシ'シャチ'ホコ	<i>Nerice bipartita</i>	●	●
709			オオ'エグ'リ'シャチ'ホコ	<i>Pterostoma sinicum</i>		●
710						
711		ドクガ科	スカシ'ドクガ'	<i>Arctornis kumatai</i>	●	
712			エル'モンド'クガ'	<i>Arctornis Inigrum ussuriicum</i>	●	
713			スギ'ドクガ'	<i>Calliteara argentata</i>	●	
714			キ'ドクガ'	<i>Euproctis piperita</i>	●	●
715			チャ'ドクガ'	<i>Euproctis pseudoconsersa</i>		●
716			ドク'ガ'	<i>Euproctis subflava</i>		●
717			ナチ'キシ'タ'ドクガ'	<i>Ilema nachiensis</i>		●
718			スゲ'オ'ドクガ'	<i>Laelia gigantea</i>		●
719			ヒメ'シロ'モンド'クガ'	<i>Orgyia thyellina</i>	●	●
720			クロ'モンド'クガ'	<i>Pida nipponis</i>	●	
721		ヒトリガ科	アカ'スシ'シロ'コケガ'	<i>Cyana hamata hamata</i>	●	●
722			ムシ'ホソハ'	<i>Eilema deplana pavesces</i>	●	●
723			ヤ'ネ'ホソハ'	<i>Eilema fuscodorsalis</i>		●
724			キ'マ'エ'ホソハ'	<i>Eilema japonica japonica</i>	●	●
725			ヨツ'ホ'シ'ホソハ'	<i>Lithosia quadra</i>		●
726			ハガ'タ'ベ'ニコケガ'	<i>Mitochrista aberrans aberrans</i>		●
727			ゴ'マ'ダ'ラ'ハ'ニコケガ'	<i>Mitochrista pulchra leacrita</i>	●	
728			スジ'ハ'ニコケガ'	<i>Mitochrista striata striata</i>		●
729			シロ'ヒトリ	<i>Chionarctia nivea</i>		●
730			スジ'モン'ヒトリ	<i>Spilarctia seriatopunctata seriatopunctata</i>	●	
731			アカ'ハラ'ゴ'マ'ダ'ラ'ヒトリ	<i>Spilosoma punctaria</i>		●
732						
733		コバ'ガ科	クロスシ'シロ'コバ'ガ'	<i>Nola taeniata</i>		●
734			コバ'ガ科'の一種	<i>Nolidae gen. sp.</i>		●
735		ヤガ科	シロ'シ'タ'ケン'モン	<i>Hylonycta hercules</i>	●	
736			ゴ'マ'ケン'モン	<i>Moma alpium</i>		●
737			ウス'オ'ビ'ヤガ'	<i>Pyrrhia bifasciata</i>		●
738			タ'マ'ナ'ヤガ'	<i>Agrotis ipsilon</i>		●
739			カ'ブ'ラ'ヤガ'	<i>Agrotis segetum</i>		●
740			オ'オ'ハ'コ'ヤガ'	<i>Diarsia canescens</i>		●
741			コ'ウス'チャ'ヤガ'	<i>Diarsia deparca</i>	●	●

- 注) 1. ●は確認種を示す。
2. 属(亜科、科)までしか同定されていない種については、同一属(亜科、科)内の他種が確認されている場合、種数として計上していない。
3. コバチ上科[コバチ類の一種]については、1科1種として計上した。

表 7-9-8(14) 昆虫類の確認種

No.	目名	科名	和名	学名	事業計画地内	事業計画地外
739	チョウ目	ヤガ科	アカアヤガ	<i>Diarsia pacifica</i>		●
740			ウスイロアカアヤガ	<i>Diarsia ruficauda</i>		●
741			クロクモヤガ	<i>Hermonassa cecilia</i>	●	●
742			ウスイロカバ'スジ'ヤガ	<i>Sineugraphe bipartita</i>		●
743			マエキヤガ	<i>Xestia stupenda</i>		●
744			マダ'ラキヨトウ	<i>Aletia flavostigma</i>	●	●
745			スジ'グ'ロキヨトウ	<i>Aletia nigrilinea</i>	●	
746			フタテンキヨトウ	<i>Aletia radiata stellata</i>	●	●
747			キミヤクヨトウ	<i>Dictyestra dissecta</i>		●
748			ケンモンキリガ	<i>Egira saxeae</i>		●
749			アトシ'ロキヨトウ	<i>Leucania compta</i>		●
750			スジ'シロキヨトウ	<i>Leucania striata</i>		●
751			ヨトウガ	<i>Mamestra brassicae</i>	●	●
752			フタスジ'ヨトウ	<i>Protomiselia bilinea</i>	●	●
753			シロシタヨトウ	<i>Sarcopolia illoba</i>		●
754			キハ'ラモクメキリガ	<i>Xylena formosa</i>		●
755			コモクメヨトウ	<i>Actinotia intermediata</i>		●
756			オオシマカラスヨトウ	<i>Amphipyra monolitha surnia</i>	●	
757			シロテンスケ'ロヨトウ	<i>Athetis albisignata</i>		●
758			テンスウスイロヨトウ	<i>Athetis dissimilis</i>		●
759			シロモン'オビ'ヨトウ	<i>Athetis lineosa</i>	●	
760			ヒメサビ'スジ'ヨトウ	<i>Athetis stellata</i>	●	●
761			モクメヨトウ	<i>Axylia putris</i>	●	●
762			アカガ'ネヨトウ	<i>Euplexia lucipara</i>	●	
763			ヘ'ニモンヨトウ	<i>Oligonyx vulnerata</i>	●	
764			コマルモンシロガ	<i>Sphragifera bipilaga</i>	●	
765			ミドリリンガ	<i>Clethrophora distincta</i>	●	●
766			サビ'イロコヤガ	<i>Amyna stellata</i>		●
767			モンキコヤガ	<i>Hyperstrotia flavipuncta</i>	●	
768			ヒメネシ'ロコヤガ	<i>Maliattha signifera</i>	●	●
769			フタオビ'コヤガ	<i>Naranga aenescens</i>		●
770			ホシコヤガ	<i>Ozarba punctigera</i>	●	●
771			シロマダ'ラコヤガ	<i>Protodeltote distinguenda</i>	●	
772			シロフコヤガ	<i>Protodeltote pygarga</i>	●	
773			<i>Sugia</i> 属の一種	<i>Sugia</i> sp.	●	
774			ウリキンウワハ'	<i>Anadevidia peponis</i>		●
775			エゾ'ギ'クキンウワハ'	<i>Ctenoplusia albostrata</i>	●	
776			ギ'ンスシ'キンウワハ'	<i>Erythroplusia rutilifrons</i>		●
777			モンシロム'ラサキクチハ'	<i>Ercheia niveostrigata</i>		●
778			シロスジ'トモエ	<i>Metopta rectifasciata</i>		●
779			クロチンカハ'アツハ'	<i>Anachrostis nigripunctalis</i>	●	●
780			フタスジ'エグ'リアツハ'	<i>Gonepatica opalina</i>		●
781			ヒメクビ'グ'ロクチハ'	<i>Lygephila recta</i>		●
782			ジャクト'ウクチハ'	<i>Mecodina nubiferalis</i>		●
783			ハスオビ'ヒメアツハ'	<i>Schrankia separatalis</i>	●	
784			ヤマカ'タアツハ'	<i>Bomolocha stygiana</i>		●
785			フジ'ロアツハ'	<i>Adropsa notigera</i>	●	
786			オオシラ'ホシアツハ'	<i>Edessena hamada</i>	●	●
787			トビスジ'アツハ'	<i>Herminia tarsicrinialis</i>	●	
788			オオシラ'ナミアツハ'	<i>Hipoepa fractalis</i>		●
789			ヒロオビ'ウスグ'ロアツハ'	<i>Hydrillodes funeralis</i>	●	●
790			ソトウスグ'ロアツハ'	<i>Hydrillodes repugnalis</i>		●
791			オオアカマ'エアツハ'	<i>Simplicia niphona</i>	●	●
792			アカマ'エアツハ'	<i>Simplicia rectalis</i>	●	
793			コウスグ'ロアツハ'	<i>Zanclognatha southi</i>	●	
合計 19目213科793種					382	632

注) 1.●は確認種を示す。

2.属(亜科、科)までしか同定されていない種については、同一属(亜科、科)内の他種が確認されている場合、種数として計上していない。

3.コバチ上科[コバチ類の一種]については、1科1種として計上した。

② バイトトラップ調査結果

バイトトラップ法により捕獲された昆虫類は表 7-9-9 に、確認種一覧は表 7-9-10(1) 及び表 7-9-10(2) に示すとおりであり、事業計画地内では 7 目 31 科 77 種、事業計画地外では 7 目 22 科 48 種であり、合計は 9 目 36 科 97 種であった。

確認された昆虫類は、いずれも広島市北部の丘陵地，低山地から山地にかけて普通に生息する種であった。目別にみるとコウチュウ目の種数が多く、中でもオサムシ科とハネカクシ科の種数が多くなっていた。地点別にみると St.3 の種数が最も多く、St.4 の種数が最も少なくなっていた。

表 7-9-9 バイトトラップ調査結果（目別集計表）

目 名	事業計画地内								事業計画地外						合計 ^{注1}	
	St.1		St.2		St.3		計 ^{注1}		St.4		St.5		計 ^{注1}			
	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数
トビムシ目	2	2	4	4	5	5	5	6	5	5	4	5	5	6	5	7
イシノミ目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	2	1	2
ゴキブリ目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1
カマキリ目	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1
バッタ目	2	2	1	1	0	0	2	2	0	0	2	3	2	3	2	4
カメムシ目	2	2	2	2	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0	2	4
コウチュウ目	6	15	9	15	11	29	12	44	4	5	7	14	7	17	14	51
ハチ目	3	12	2	9	2	11	4	15	1	12	2	11	2	15	4	21
ハエ目	4	4	2	2	2	2	5	5	2	2	4	4	4	4	6	6
合 計	6目19科37種		6目20科33種		5目21科48種		7目31科77種		4目12科24種		7目21科40種		7目22科48種		9目36科97種	

注) 1. 目別の合計は総種数であり、St.1～St.3の和及びSt.4とSt.5の和、また事業計画地内と事業計画地外の和と一致しない。

表 7-9-10(1) バイトトラップにより確認された昆虫類

No.	目名	科名	種名	学名	事業計画地内			事業計画地外	
					St.1	St.2	St.3	St.4	St.5
1	トビムシ目	イボトビムシ科	イボトビムシ科の一種	Neanuridae gen. sp.			●	●	●
2		ツチトビムシ科	ヒメツチトビムシ亜科の一種	Proisotominae gen. sp.			●		
3			ツチトビムシ亜科の一種	Isotominae gen. sp.		●		●	
4		トゲトビムシ科	Tomocerus属の一種	Tomocerus sp.	●	●	●	●	●
5		アヤトビムシ科	Entomobrya属の一種	Entomobrya sp.	●	●	●	●	●
6			Homidia属の一種	Homidia sp.					●
7		マルトビムシ科	Ptenothrix属の一種	Ptenothrix sp.	●	●	●	●	
			マルトビムシ科の一種	Sminthuridae gen. sp.		●	●	●	●
8	イシノミ目	イシノミ科	Pedetontinus属の一種	Pedetontinus sp.					●
9			Pedetontus属の一種	Pedetontus sp.					●
10	ゴキブリ目	チャハネゴキブリ科	モリチャハネゴキブリ	Blattella nipponica					●
11	カマキリ目	カマキリ科	コカマキリ	Statilia maculata			●		
12	ハッタ目	カマドウマ科	カマドウマ	Diestrammena apicalis					●
13			マダラカマドウマ	Diestrammena japonica	●	●			●
14		ヒシハハッタ科	コハネヒシハハッタ	Formosatettix larvatus					●
15			ヒシハハッタ	Tetrix japonica	●				
16	カメシ目	アブラムシ科	Acyrtosiphon属の一種	Acyrtosiphon sp.	●				
17			マメアブラムシ	Aphis craccivora craccivora		●			
18		ツチカメシ科	ヒメツチカメシ	Geotomus pygmaeus	●				
19			ツチカメシ	Macroscytus japonensis		●			
20	コウチュウ目	オサムシ科	オオオサムシ	Carabus dehaanii dehaanii	●	●	●	●	
21			キュウシュウクロナガオサムシ	Leptocarabus kyushuensis kyushuensis			●		
22			クロナガオサムシ	Leptocarabus procerulus procerulus			●		●
23			キイロセマルコミズギワゴミムシ	Elaphropus latissimus			●		
24			ヨツモンコミズギワゴミムシ	Tachyura laetifica			●		
25			Pterostichus属の一種	Pterostichus sp.			●		
26			クロツヤヒラタゴミムシ	Synuchus cycloderus	●		●		●
27			コクロツヤヒラタゴミムシ	Synuchus melantho	●				●
28			オオクロツヤヒラタゴミムシ	Synuchus nitidus	●	●	●		●
29			キイロチビゴモクムシ	Acupalpus inornatus			●		
30			アトボシアオゴミムシ	Chlaenius naeviger			●		
31			アオゴミムシ	Chlaenius pallipes			●		
32			スジアオゴミムシ	Haplochlaenius costiger			●		
33			フタホシスジハネゴミムシ	Planetes puncticeps			●		
34		ハネカクシ科	キイロハナムグリハネカクシ	Eusphalerum parallelum		●			
35			チビクロセスジハネカクシ	Anotylus latiusculus		●			
36			ルイスセスジハネカクシ	Anotylus lewisius	●				
37			チビニセコムセミゾハネカクシ	Carpelinus exiguus	●		●		
38			ヤマトニセコムセミゾハネカクシ	Thinodromus japonicus	●				
39			アハタコハネハネカクシ	Nazeris wollastoni		●			
40			ムネビロハネカクシ	Algon grandicollis				●	
41			Gabrius属の一種	Gabrius sp.					●
42			サビイロモンキハネカクシ	Ocypus dorsalis	●				●
43			Philonthus属の一種	Philonthus sp.			●		
44			Aleochara属の一種	Aleochara sp.		●			
45			ツヤケシキハネチビハネカクシ	Nehemitropa sordida milu	●		●		●
46			Silusa属の一種	Silusa sp.	●				
47		センチコガネ科	センチコガネ	Geotrupes laevistriatus	●	●	●	●	●
48			オオセンチコガネ	Geotrupes auratus		●	●	●	●
49		コガネムシ科	マメダルマコガネ	Panelus parvulus		●			
50			ゴホンダイクココガネ	Copris acutidens					●
51			コブマルエンマコガネ	Onthophagus atripennis atripennis	●		●		
52			カミヤビロウドコガネ	Maladera kamiyai			●		
53			Sericania属の一種	Sericania sp.			●		
54		ケシキスイ科	ホソキヒラタケシキスイ	Epuraea parilis			●		
			Epuraea属の一種	Epuraea sp.			●		●
55			モンチビヒラタケシキスイ	Haptoncus ocularis		●			
56			ネアカマルケシキスイ	Neopallodes inermis				●	
57			キノコヒラタケシキスイ	Physoronia explanata					●

注) 1.●は確認種を示す。

2.属(亜科、科)までしか同定されていない種については、同一属(亜科、科)内の他種が確認されている場合、種数として計上していない。

3.コバチ上科[コバチ類の一種]については、1科1種として計上した。

表 7-9-10(2) バイトトラップにより確認された昆虫類

No.	目名	科名	種名	学名	事業計画地内			事業計画地外	
					St.1	St.2	St.3	St.4	St.5
58	コウチュウ目	ネスイムシ科	ヤマトネスイ	<i>Rhizophagus japonicus</i>			●		
59		ヒメハナムシ科	キヒロアシナガヒメハナムシ	<i>Heterolitus nipponicus</i>					●
60		ムクゲ'キスイムシ科	ハスモンムクゲ'キスイ	<i>Biphyllus rufopictus</i>		●	●		
61		テントウムシダ'マシ科	キボ'シテントウダ'マシ	<i>Mycetina amabilis</i>			●		
62		ミジ'ソムシダ'マシ科	クロミジ'ソムシダ'マシ	<i>Aphanocephalus hemisphericus</i>		●			
63		ツチハンミョウ科	ヒメツチハンミョウ	<i>Meloe coarctatus</i>					●
64		ハムシ科	ツブ'ノミハムシ	<i>Aphthona perminuta</i>	●				
65			カクムネチビ'トビ'ハムシ	<i>Neocrepidodera recticollis</i>			●		
66		ゾウムシ科	リンゴコフキゾ'ウムシ	<i>Phyllobius (Odontophyllobius) armatus</i>		●			
67			ホソヒメカタゾ'ウムシ	<i>Asphalmus japonicus</i>			●		
68		キクイムシ科	トド'マツオオキクイムシ	<i>Xyleborus validus</i>			●		
69			ハンノキキクイムシ	<i>Xylosandrus germanus</i>	●	●	●		
70			トウヒノヒメキクイムシ	<i>Pityophthorus jucundus</i>	●	●			
71	ハチ目	カタビ'ロコバ'チ科	カタビ'ロコバ'チ科の一種	Eurytomidae gen. sp.		●			
72		トビ'コバ'チ科	トビ'コバ'チ科の一種	Encyrtidae gen. sp.	●				
73		コバ'チ上科	コバ'チ類の一種	CHALCIDOIDEA gen. sp.	●		●		●
74		アリ科	オオハリアリ	<i>Brachyponera chinensis</i>	●		●	●	●
75			アシナガ'アリ	<i>Aphaenogaster famelica famelica</i>	●	●	●	●	●
76			ヤマトアシナガ'アリ	<i>Aphaenogaster smythiesi japonica</i>		●	●		
77			テラニシリアゲ'アリ	<i>Crematogaster (Crematogaster) brunnea teranishii</i>	●	●			
78			キイロシリアゲ'アリ	<i>Crematogaster (Orthocrema) osakensis</i>				●	●
79			ヒメアリ	<i>Monomorium intrudens</i>				●	●
80			カド'フシアリ	<i>Myrmecina graminicola nipponica</i>					●
81			アズ'マオオズ'アリ	<i>Pheidole fervida</i>	●	●	●	●	●
82			アミメアリ	<i>Pristomyrmex pungens</i>			●		
83			ウロコアリ	<i>Strumigenys lewisi</i>	●	●	●	●	
84			トビ'イロシワアリ	<i>Tetramorium caespitum</i>				●	
85			ニシムネアカオオアリ	<i>Camponotus (Camponotus) hemichlaena</i>	●		●	●	●
86			クロオオアリ	<i>Camponotus (Camponotus) japonicus</i>				●	
87			ミカド'オオアリ	<i>Camponotus (Paramyrmamblys) kiusiuensis</i>					●
88			ハヤシクロヤマアリ	<i>Formica (Serviformica) sp.</i>	●	●	●	●	●
89			ハヤシケアリ	<i>Lasius (Lasius) havashi</i>	●				
90			トビ'イロケアリ	<i>Lasius (Lasius) niger</i>	●	●	●	●	
91			アメイロアリ	<i>Paratrechina flavipes</i>	●	●	●	●	●
92	ハエ目	チョウハ'エ科	チョウハ'エ科の一種	Psychodidae gen. sp.	●				
93		ブ'エ科	<i>Simulium</i> 属の一種	<i>Simulium</i> sp.		●			
94		ヌカカ科	ヌカカ科の一種	Ceratopogonidae gen. sp.					●
95		クロハ'ネキノコバ'エ科	クロハ'ネキノコバ'エ科の一種	Sciaridae gen. sp.	●	●	●	●	●
96		ノミハ'エ科	ノミハ'エ科の一種	Phoridae gen. sp.	●				●
97		ショウシ'ョウハ'エ科	キイロショウシ'ョウハ'エ	<i>Drosophila (Sophophora) melanogaster</i>	●		●	●	●
			ショウシ'ョウハ'エ科の一種	Drosophilidae gen. sp.			●		●
合計 9目36科97種					37	33	48	24	40

注) 1. ●は確認種を示す。

2. 属(亜科、科)までしか同定されていない種については、同一属(亜科、科)内の他種が確認されている場合、種数として計上していない。

3. コバチ上科(コバチ類の一種)については、1科1種として計上した。

③ ライトトラップ調査結果

ライトトラップ法により捕獲された昆虫類は表 7-9-11 に、確認種一覧は表 7-9-12(1)～表 7-9-12(8) に示すとおりであり、事業計画地内では 10 目 66 科 181 種、事業計画地外では 12 目 98 科 308 種であり、合計は 12 目 116 科 398 種であった。

確認された昆虫類の大部分は、広島市北部の丘陵地、低山地から山地にかけて普通に生息する種であった。目別にみるとチョウ目の種数が最も多く、次いでコウチュウ目、カメムシ目が多くなっていた。地点別にみると St.B の種数が多くなっていた。

表 7-9-11 ライトトラップ調査結果（目別集計表）

目名	事業計画地内		事業計画地外		合計 ^{注)1}	
	St.A		St.B			
	科数	種数	科数	種数	科数	種数
カゲロウ目	1	1	5	5	5	5
カワゲラ目	0	0	1	2	1	2
バッタ目	4	9	3	7	5	13
ハサミムシ目	0	0	1	1	1	1
チャタテムシ目	1	2	1	1	1	2
カメムシ目	10	17	19	44	22	49
アミメカゲロウ目	1	1	2	2	3	3
コウチュウ目	15	25	19	67	24	82
ハチ目	3	3	4	4	4	4
ハエ目	12	14	17	22	20	25
トビケラ目	5	8	9	11	10	14
チョウ目	14	101	17	142	20	198
合 計	10 目 66 科 181 種		12 目 98 科 308 種		12 目 116 科 398 種	

注) 1. 目別の合計は総種数であり、事業計画地内と事業計画地外の和と一致しない。

表 7-9-12(1) ライトトラップにより確認された昆虫類

No.	目名	科名	種名	学名	事業計画地内	事業計画地外
					St.A	St.B
1	カゲ'ロウ目	ヒトリカ'カゲ'ロウ科	チラカゲ'ロウ	<i>Isonychia japonica</i>		●
2		ヒラタカゲ'ロウ科	ヒラタカゲ'ロウ科の一種	Heptageniidae gen. sp.		●
3		カワカゲ'ロウ科	キイロカワカゲ'ロウ	<i>Potamanthodes kamonis</i>	●	●
4		モンカゲ'ロウ科	フタスシ'モンカゲ'ロウ	<i>Ephemera japonica</i>		●
5		マダ'ラカゲ'ロウ科	オオマダ'ラカゲ'ロウ	<i>Drunella basalis</i>		●
6	カワケ'ラ目	オナシカワケ'ラ科	<i>Nemoura</i> 属の一種	<i>Nemoura</i> sp.		●
7			<i>Protonemura</i> 属の一種	<i>Protonemura</i> sp.		●
8	ハ'ッタ目	コオロギ'科	ハラオカメコオロギ'	<i>Loxoblemmus arietulus</i>	●	
9			シハ'スズ'	<i>Pteronemobius mikado</i>	●	●
10			マダ'ラスズ'	<i>Pteronemobius nigrofasciatus</i>		●
11			ヤチスズ'	<i>Pteronemobius ohmachi</i>	●	●
12			エンマコオロギ'	<i>Teleogryllus emma</i>	●	
13			ツツ'レサセコオロギ'	<i>Velarifictorus mikado</i>	●	●
14		クサヒバ'リ科	クサヒバ'リ	<i>Paratrigonidium bifasciatum</i>		●
15		キリギ'リス科	ヒメツユムシ	<i>Leptotetrura albicorne</i>		●
16			セスシ'ササキリモ'ド'キ	<i>Xiphidiopsis subpunctata</i>	●	
17			クサキ'リ	<i>Homorocoryphus lineosus</i>		●
18		ハ'ッタ科	ハネナガ'イナコ'	<i>Oxya japonica japonica</i>	●	
19		ヒシハ'ッタ科	ハネナガ'ヒシハ'ッタ	<i>Euparattix insularis</i>	●	
20			ヒシハ'ッタ	<i>Tetrix japonica</i>	●	
21	ハサミ'シ目	クロハサミ'シ科	チビ'ハサミ'シ	<i>Labia curvicauda</i>		●
22	チャタ'テムシ目	ホソチャタ'テ科	ハ'グルマチャタ'テ	<i>Matsumuraiella rapiopicta</i>	●	●
23			ホソチャタ'テ	<i>Stenopsocus aphidiformis</i>	●	
24	カメム'シ目	ヒシウン'カ科	ヤナギ'カワウン'カ	<i>Andes marmoratus</i>		●
25		ウン'カ科	エゾ'ナガ'ウン'カ	<i>Stenocranus matsumurai</i>		●
26			ヒメト'ビウン'カ	<i>Laodelphax striatella</i>		●
27			ニセト'ビ'イロウン'カ	<i>Nilaparvata muiri</i>		●
28		シマウン'カ科	シマウン'カ	<i>Nisia nervosa</i>		●
29		ハネナガ'ウン'カ科	ア'カメガ'シワハネ'ビ'ロウン'カ	<i>Vekunta malloti</i>		●
30		コガ'シラウン'カ科	ナ'ワコガ'シラウン'カ	<i>Rhotala nawae</i>	●	
31		ゲン'バ'イウン'カ科	タ'テスシ'グン'バ'イウン'カ	<i>Catullia vittata</i>		●
32		ア'オハ'ハゴ'ロモ科	ア'オハ'ハゴ'ロモ	<i>Geisha distinctissima</i>	●	
33		ハゴ'ロモ科	ハ'ッコウハゴ'ロモ	<i>Orosanga japonicus</i>		●
34		アワフ'キムシ科	ホシ'アワフ'キ	<i>Aphrophora stictica</i>		●
35			<i>Peuceptylus</i> 属の一種	<i>Peuceptylus</i> sp.		●
36		ア'オス'キン'ヨコハ'イ科	ア'オス'キン'ヨコハ'イ	<i>Batracomorphus mundus</i>		●
37		ブ'チ'ミヤク'ヨコハ'イ科	ブ'チ'ミヤク'ヨコハ'イ	<i>Drabescus nigrifemoratus</i>	●	
38		オ'オ'ヨコハ'イ科	オ'オ'ヨコハ'イ	<i>Cicadella viridis</i>		●
39		ヒメ'ヨコハ'イ科	スズ'キヒメ'ヨコハ'イ	<i>Arboridia suzukii</i>		●
40			<i>Empoasca</i> 属の一種	<i>Empoasca</i> sp.		●
41			ヨツ'モンヒメ'ヨコハ'イ	<i>Empoasca nana limbata</i>		●
42			ヨモ'ギ'ヒメ'ヨコハ'イ	<i>Eupteryx minuscula</i>	●	●
43			シロ'ヒメ'ヨコハ'イ	<i>Eurhadina pulchella</i>		●
44			ホシ'ヒメ'ヨコハ'イ	<i>Limassolla multipunctata</i>	●	●
45			ア'カシヒメ'ヨコハ'イ	<i>Paracyba akashiensis</i>		●
46			<i>Typhlocyba</i> 属の一種	<i>Typhlocyba</i> sp.		●
47		ヨコハ'イ科	ア'カスリ'ヨコハ'イ	<i>Balclutha rubrinervis</i>	●	●
48			ヨツ'テン'ヨコハ'イ	<i>Macrosteles quadrimaculatus</i>		●
49			ムツ'テン'ヨコハ'イ	<i>Macrosteles sexnotatus</i>	●	●
50			トハ'ヨコハ'イ	<i>Alobaldia tobae</i>		●
51			シロ'セスシ'ヨコハ'イ	<i>Scaphoideus albobittatus</i>		●
52			シラ'ホシ'カシ'ヨコハ'イ	<i>Scaphoideus festivus</i>		●
53		ミス'ムシ科	ミス'ムシ	<i>Sigara substriata</i>		●
54		カス'ミカメ'シ科	ア'カホシ'カス'ミカメ'シ	<i>Creontiades pallidifer</i>		●
55			フタ'モン'ア'カス'ミカメ'シ	<i>Lygocoris (Apolygus) hilaris</i>		●
56			ツマ'グ'ロ'ア'カス'ミカメ'シ	<i>Lygocoris (Apolygus) spinolae</i>		●
57			ム'ギ'カス'ミカメ'シ	<i>Stenodema (Brachystira) calcaratum</i>		●

注) 1. ●は確認種を示す。

2. 属 (亜科、科) までしか同定されていない種については、同一属 (亜科、科) 内の他種が確認されている場合、種数として計上していない。

表 7-9-12(2) ライトトラップにより確認された昆虫類

No.	目名	科名	種名	学名	事業計画地内	事業計画地外
					St.A	St.B
58	カメムシ目	ナガカメムシ科	Nysius属の一種	Nysius sp.	●	
59			チャイロナガカメムシ	Neolethaeus dallasi	●	
60			コハ'ネヒョウタンナガカメムシ	Togo hemipterus		●
61		オオホシカメムシ科	ヒメホシカメムシ	Physopelta cincticollis	●	●
62			オオホシカメムシ	Physopelta gutta		●
63			ホソヘリカメムシ科	クモヘリカメムシ		●
64		ツチカメムシ科	ヨコヅ'ナツチカメムシ	Adrisa magna		●
65			ヒメツチカメムシ	Geotomus pygmaeus		●
66			ツチカメムシ	Macroscytus japonensis	●	●
67		カメムシ科	クサギ'カメムシ	Halyomorpha picus	●	●
68			ヨツボ'シカメムシ	Homalogonia obtusa	●	●
69			アオクサカメムシ	Nezara antennata	●	●
70			チャハ'ネアオカメムシ	Plautia crossota stali	●	●
71		ツノカメムシ科	ヒメツノカメムシ	Elasmucha putoni	●	●
72			エサキモンキツノカメムシ	Sastragala esakii	●	●
73	アミメカゲ'ロウ目	ヒロハ'カゲ'ロウ科	ヒロハ'カゲ'ロウ科の一種	Osmiidae gen. sp.	●	
74		クサカゲ'ロウ科	クサカゲ'ロウ科の一種	Chrysopidae gen. sp.		●
75		ツノトンボ'科	オオツノトンボ'	Protidricerus japonicus		●
76	コウチュウ目	オサムシ科	ムネシジ'マルゴ'ムシ	Caelostomus picipes japonicus		●
77			ハラアカモリヒラタゴ'ムシ	Colpodes japonicus		●
78			オオヒラタゴ'ムシ	Platynus magnus		●
79			オオゴ'モクムシ	Harpalus capito		●
80			オオス'ケゴ'モクムシ	Harpalus eous		●
81			ヒメケゴ'モクムシ	Harpalus jureceki	●	
82			ウスアカクロゴ'モクムシ	Harpalus sinicus		●
83			コゴ'モクムシ	Harpalus tridens	●	●
84			ケゴ'モクムシ	Harpalus vicarius		●
85			キイロチビゴ'モクムシ	Acupalpus inornatus	●	●
86			キハ'リゴ'モクムシ	Anoplogenus cyanescens		●
87			ミドリマメゴ'モクムシ	Stenolophus difficilis	●	
88			ヒメキハ'リアオゴ'ムシ	Chlaenius inops		●
89			クロツブ'ゴ'ムシ	Pentagonica subcordicollis		●
90			キガ'シラアオアトキリゴ'ムシ	Calleida lepida	●	
91			ハネビ'ロアトキリゴ'ムシ	Lebia duplex		●
92			ヒトツメアトキリゴ'ムシ	Parena monostigma		●
93			アオヘリホソゴ'ムシ	Drypta japonica	●	
94		ホソクビ'ゴ'ムシ科	ミイデ'ラゴ'ムシ	Pheropsophus jessoensis		●
95		ゲン'ソゴ'ロウ科	コシマゲン'ソゴ'ロウ	Hydaticus grammicus		●
96		ガ'ムシ科	コモンシジ'ミガ'ムシ	Laccobius oscillans		●
97			ガ'ムシ	Hydrophilus acuminatus		●
98			ヒメガ'ムシ	Sternolophus rufipes	●	●
99			ヤマトゴ'マフガ'ムシ	Berosus japonicus		●
100			ゴ'マフガ'ムシ	Berosus signaticollis punctipennis	●	
101		シデ'ムシ科	クロシデ'ムシ	Nicrophorus concolor		●
102			ヨツボ'シモンシデ'ムシ	Nicrophorus quadripunctatus		●
103			オオモモブ'トシデ'ムシ	Necrodes asiaticus	●	●
104			モモブ'トシデ'ムシ	Necrodes nigricornis		●
105		ハネカクシ科	チビ'ニセユミセミジ'ハネカクシ	Carpelimus exiguus		●
106			ニセユミセミジ'ハネカクシ	Carpelimus vagus		●
107			クロス'トガ'リハネカクシ	Lithocharis nigriceps		●
108			アオハ'アリガ'タハネカクシ	Paederus fuscipes	●	●
109			キハ'ネクビ'ホ'ソハネカクシ	Rugilus ceylanensis		●
110			キアシチビ'コガ'シラハネカクシ	Philonthus numata		●
111			カクコガ'シラハネカクシ	Philonthus rectangulus		●
112		コガ'ネムシ科	ゴ'ホンダ'イコクコガ'ネ	Copris acutidens	●	●
113			カド'マルエンマコガ'ネ	Onthophagus lenzii	●	●
114			クロコガ'ネ	Holotrichia kiotoensis		●

注) 1. ●は確認種を示す。

2. 属 (亜科、科) までしか同定されていない種については、同一属 (亜科、科) 内の他種が確認されている場合、種数として計上していない。

表 7-9-12(3) ライトトラップにより確認された昆虫類

No.	目名	科名	種名	学名	事業計画地内	事業計画地外
					St.A	St.B
115	コウチュウ目	コガネシ科	オオクロコガネ	<i>Holotrichia parallela</i>		●
116			コクロコガネ	<i>Holotrichia picea</i>		●
117			アカビロウドコガネ	<i>Maladera castanea</i>		●
118			オオビロウドコガネ	<i>Maladera renardi</i>	●	●
119			ヤマトチャイロコガネ	<i>Sericania fuscolineata nipponensis</i>		●
120			ドウガネブイブイ	<i>Anomala cuprea</i>	●	●
121			サクラコガネ	<i>Anomala daimiana</i>		●
122			ヒメサクラコガネ	<i>Anomala geniculata</i>		●
123			ツヤコガネ	<i>Anomala lucens</i>	●	
124			セマダラコガネ	<i>Blitopertha orientalis</i>		●
125		ヒメドロムシ科	キヘリナガアシドロムシ	<i>Grouvellinus marginatus</i>		●
126			イブシアシナガドロムシ	<i>Stenelmis nipponica</i>		●
127			アワツヤドロムシ	<i>Zaitzevia awana</i>		●
128		コメツキムシ科	サビキコリ	<i>Agrypnus binodulus binodulus</i>		●
129			ミスズコメツキ亜科の一種	Negatrinae gen. sp.	●	
130		コメツキタマシ科	アイヌコメツキタマシ	<i>Farsus ainu</i>	●	
131		シヨウカイホソ科	ニシシヨウカイホソ	<i>Athemus suturellus luteipennis</i>		●
132			ミヤマクビアカシヨウカイ	<i>Cantharis nakanei</i>		●
133			ヒメシヨウカイ	<i>Mikadocantharis japonica</i>		●
134			クロヒメクビホソシヨウカイ	<i>Podabrus malthinoides</i>	●	
135		コクヌスト科	オオコクヌスト	<i>Trogossita japonica</i>	●	
136		ネスイムシ科	チビネスイ	<i>Rhizophagus parviceps</i>		●
137		デントウムシ科	ナミテントウ	<i>Harmonia axyridis</i>	●	
138			ヒメカメノコデントウ	<i>Propylea japonica</i>		●
139		アリモドキ科	アカクビホソムシ	<i>Macratia serialis</i>	●	
140		ツチハンミョウ科	ヒメツチハンミョウ	<i>Meloe coarctatus</i>		●
141		ハムシダマシ科	ヒゲフトゴミシダマシ	<i>Luprops orientalis</i>		●
142		ゴミシダマシ科	ヤマトスナゴミシダマシ	<i>Gonocephalum coenosum</i>		●
143			ヒメスナゴミシダマシ	<i>Gonocephalum persimile</i>		●
144			クロルリゴミシダマシ	<i>Metaclica atrocyanea</i>	●	●
145			ニシゴミシダマシ	<i>Tetraphyllus lunuliger lunuliger</i>		●
146			スジコガシラゴミシダマシ	<i>Heterotarsus carinula</i>		●
147			セスジヒメハナカミキリ	<i>Pidonia amentata amentata</i>		●
148		ハムシ科	ヒメスズカミキリ	<i>Callidiellum rufipenne</i>	●	
149			クロボシツツハムシ	<i>Cryptocephalus signaticeps</i>		●
150			マダラアラゲサルハムシ	<i>Demotina fasciculata</i>		●
151			キイロクワハムシ	<i>Monolepta pallidula</i>		●
152			カミナリハムシ	<i>Altica cyanea</i>		●
153			Altica属の一種	<i>Altica</i> sp.		●
154			キスジノミハムシ	<i>Phyllotreta striolata</i>		●
155			ヒメセマルヒゲナガゾウムシ	<i>Phloeobius mimes</i>	●	
156			ホソクビゾウムシ科	<i>Nanophyes pallipes</i>		●
157			ゾウムシ科	<i>Shirahoshizo insidiosus</i>	●	
158	ハチ目	ハハチ科	ハハチ科の一種	Tenthredinidae gen. sp.		●
159		コマユハチ科	コマユハチ科の一種	Braconidae gen. sp.	●	●
160		ヒメハチ科	ヒメハチ科の一種	Ichneumonidae gen. sp.	●	●
161		アリ科	クロオアリ	<i>Camponotus (Camponotus) japonicus</i>		●
			アリ科の一種	Formicidae gen. sp.	●	●
162	ハエ目	ガガンボ科	マダラガガンボ	<i>Tipula (Nippotipula) coquilleti</i>	●	●
163			キリウジガガンボ	<i>Tipula (Yamatotipula) aino</i>		●
164			マダガガンボ	<i>Tipula (Yamatotipula) nova</i>		●
			Tipula属の一種	<i>Tipula</i> sp.	●	●
165			Antocha属の一種	<i>Antocha</i> sp.	●	●
166			Limonia属の一種	<i>Limonia</i> sp.		●
			ヒメガガンボ亜科の一種	Limoniinae gen. sp.	●	●
			ガガンボ科の一種	Tipulidae gen. sp.	●	

注) 1. ●は確認種を示す。

2. 属 (亜科、科) までしか同定されていない種については、同一属 (亜科、科) 内の他種が確認されている場合、種数として計上していない。

表 7-9-12(4) ライトトラップにより確認された昆虫類

No.	目名	科名	種名	学名	事業計画地内	事業計画地外
					St.A	St.B
167	ハエ目	カ科	カ科の一種	Culicidae gen. sp.		●
168		ブエ科	<i>Simulium</i> 属の一種	<i>Simulium</i> sp.	●	●
			ブエ科の一種	Simuliidae gen. sp.		●
169		ヌカカ科	ヌカカ科の一種	Ceratopogonidae gen. sp.	●	●
170		ユスリカ科	ユスリカ科の一種	Orthocladinae gen. sp.	●	●
171			ユスリカ科の一種	Chironominae gen. sp.	●	●
			ユスリカ科の一種	Chironomidae gen. sp.	●	●
172		タマハエ科	タマハエ科の一種	Cecidomyiidae gen. sp.		●
173		キノコハエ科	キノコハエ科の一種	Mycetophilidae gen. sp.		●
174		クロハネキノコハエ科	クロハネキノコハエ科の一種	Sciaridae gen. sp.	●	●
175		アブ科	ウシアブ	<i>Tabanus trigonus</i>		●
176		オドリハエ科	アカメセダカオドリハエ	<i>Syneches grandis</i>	●	
			オドリハエ科の一種	Empididae gen. sp.		●
177		アシナガハエ科	アシナガハエ科の一種	Dolichopodidae gen. sp.	●	
178		ヤリハエ科	ヤリハエ科の一種	Lonchopteridae gen. sp.		●
179		ノミハエ科	ノミハエ科の一種	Phoridae gen. sp.	●	
180		ヤチハエ科	ヤチハエ科の一種	Sciomyzidae gen. sp.	●	
181		シマハエ科	ヤブクロシマハエ	<i>Minettia (Frendelia) longipennis</i>		●
182		クロツヤハエ科	クロツヤハエ科の一種	Lonchaeidae gen. sp.	●	●
183		ホソショウジョウハエ科	モンホソショウジョウハエ	<i>Diastata vagans</i>		●
184		ショウジョウハエ科	キイロショウジョウハエ	<i>Drosophila (Sophophora) melanogaster</i>	●	
			ショウジョウハエ科の一種	Drosophilidae gen. sp.	●	●
185		ハヤトビハエ科	ハヤトビハエ科の一種	Sphaeroceridae gen. sp.		●
186		ヤドリハエ科	ノコギリハリハエ	<i>Comptosia concinnata</i>		●
			ヤドリハエ科の一種	Tachinidae gen. sp.	●	●
187	トビケラ目	ヤマトビケラ科	<i>Glossosoma</i> 属の一種	<i>Glossosoma</i> sp.	●	●
188		ナガレトビケラ科	<i>Rhyacophila</i> 属の一種	<i>Rhyacophila</i> sp.	●	
189		カワトビケラ科	カワトビケラ科の一種	Philopotamidae gen. sp.		●
190		ヒメトビケラ科	ヒメトビケラ科の一種	Hydroptilidae gen. sp.		●
191		ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>		●
192		シマトビケラ科	コガタシマトビケラ	<i>Cheumatopsyche brevilineatus</i>	●	●
			<i>Cheumatopsyche</i> 属の一種	<i>Cheumatopsyche</i> sp.	●	●
193			ウルマーシマトビケラ	<i>Hydropsyche ulmeri</i>	●	●
			<i>Hydropsyche</i> 属の一種	<i>Hydropsyche</i> sp.	●	●
194			オオシマトビケラ	<i>Macronema radiatum</i>		●
			シマトビケラ科の一種	Hydropsychidae gen. sp.	●	●
195		アシエタトビケラ科	アシエタトビケラ科の一種	Calamoceratidae gen. sp.		●
196		ヒゲナガトビケラ科	ナガツノヒゲナガトビケラ	<i>Ceraclea complicata</i>	●	
197			アオヒゲナガトビケラ	<i>Mystacides azurea</i>	●	●
198			ゴマダラヒゲナガトビケラ	<i>Oecetis nigropunctata</i>	●	
			ヒゲナガトビケラ科の一種	Leptoceridae gen. sp.	●	●
199		エグリトビケラ科	ニンギョウトビケラ	<i>Goera japonica</i>	●	●
			<i>Goera</i> 属の一種	<i>Goera</i> sp.	●	●
200		カクツツトビケラ科	ヒロオカクツツトビケラ	<i>Goerodes bipertitus</i>		●
			カクツツトビケラ科の一種	Leiodostomatidae gen. sp.		●
201	チョウ目	ハマキガ科	チャハマキ	<i>Homona magnanima</i>		●
202			マツノクロマダラヒメハマキ	<i>Epinotia rubiginosana</i>		●
203			クロネハイロヒメハマキ	<i>Rhopobota naevana</i>		●
204		キバガ科	キバガ科の一種	Gelechiidae gen. sp.		●
205		イラガ科	クロシタアオイイラガ	<i>Parasa sinica</i>	●	
206			アカイイラガ	<i>Phrixolepia sericea</i>		●
207		マドガ科	ヒメマダラマドガ	<i>Rhodoneura hyphaema</i>	●	
208		メイガ科	クロスジツツガ	<i>Flavocrambus striatellus</i>		●
209			シロエグツツガ	<i>Pareromene exsectella</i>		●
210			シロヒトモンノメイガ	<i>Analthes semitritalis orbicularis</i>	●	
211			シロモンノメイガ	<i>Bocchoris dispersalis</i>	●	●
212			タイワンウスキノメイガ	<i>Botyodes diniasalis</i>	●	

注) 1. ●は確認種を示す。

2. 属 (亜科、科) までしか同定されていない種については、同一属 (亜科、科) 内の他種が確認されている場合、種数として計上していない。

表 7-9-12(5) ライトトラップにより確認された昆虫類

No.	目名	科名	種名	学名	事業計画地内	事業計画地外
					St.A	St.B
213	チョウ目	メイガ科	コフノメイガ	<i>Cnaphalocrocis medinalis</i>	●	●
214			Conogethes属の一種	<i>Conogethes</i> sp.	●	●
215			クロスカシタガリノメイガ	<i>Cotachena alysoni</i>	●	
216			クロヘリキノメイガ	<i>Goniorhynchus butyrosa</i>	●	
217			モンキクロノメイガ	<i>Herpetogramma luctuosalis zelleri</i>		●
218			マエキノメイガ	<i>Herpetogramma rudis</i>		●
219			シロオビノメイガ	<i>Hymenia recurvalis</i>	●	
220			マメノメイガ	<i>Maruca testulalis</i>		●
221			ウスオビキノメイガ	<i>Microstega jessica</i>	●	●
222			シロテンキノメイガ	<i>Nacoleia commixta</i>	●	●
223			サツマキノメイガ	<i>Nacoleia satsumalis</i>		●
224			ホシオビホソノメイガ	<i>Nomis albopedalis</i>	●	
225			アワノメイガ	<i>Ostrinia furnacalis</i>		●
226			フキノメイガ 本州亜種	<i>Ostrinia scapularis subpacific</i>		●
227			マエベニノメイガ	<i>Paliga minnehaha</i>	●	
228			マエアカスカシノメイガ	<i>Palpita nigropunctalis</i>	●	●
229			クビシロノメイガ	<i>Piletocera aegimiusalis</i>	●	●
230			ヨツメノメイガ	<i>Pleuroptya quadrimaculalis</i>		●
231			ウコンノメイガ	<i>Pleuroptya ruralis</i>	●	●
232			キムシノメイガ	<i>Prodasyncnemis inornata</i>		●
233			トモンノメイガ	<i>Pyrausta limbata</i>		●
234			シロスジエグリノメイガ	<i>Sufetula sunidesalis</i>		●
235			タイワンモンキノメイガ	<i>Syllepte taiwanalis</i>	●	
236			クロモンキノメイガ	<i>Udea testacea</i>		●
237			モンシロルリノメイガ	<i>Uresiphita tricolor</i>		●
238			マダラミスノメイガ	<i>Elophila interruptalis interruptalis</i>	●	●
239			ヒメマダラミスノメイガ	<i>Elophila turbata</i>	●	
240			ナカムラサキフトメイガ	<i>Craneophora licki</i>		●
241			トサカフトメイガ	<i>Locastra muscosalis</i>		●
242			キヘリトガリノメイガ	<i>Endotricha portialis</i>	●	
243			アカシマメイガ	<i>Herculia pelagalis</i>		●
244			トビイロシマメイガ	<i>Hypsopygia regina</i>	●	●
245			ギンモンシマメイガ	<i>Pylalis regalis</i>	●	●
246			フタスジアカマダラメイガ	<i>Boeswarthia oberleella</i>		●
247			ウスアカムラサキマダラメイガ	<i>Calgua defigialis</i>	●	
248			マツノシンマダラメイガ	<i>Diorcyctria sylvestrella</i>	●	
249			アカマダラメイガ	<i>Onococera semirubella</i>	●	●
250		トリハガ科	Platyptilia属の一種	<i>Platyptilia</i> sp.		●
251		カキハガ科	マエキカキハ	<i>Agnidra scabiosa scabiosa</i>	●	
252			ヒメハイイロカキハ	<i>Pseudalbara parvula</i>		●
253			アカウラカキハ	<i>Hypsomadius insignis</i>	●	
254		トガリハガ科	マユミトガリハ	<i>Neoploca arctipennis</i>	●	
255		シャクガ科	ホソバハラアカアオシャク	<i>Chlorissa anadema</i>		●
256			コヨツメアオシャク	<i>Comostola subtilitaria nympha</i>		●
257			ツハメアオシャク	<i>Gelasma ambigua</i>		●
258			カキシロスジアオシャク	<i>Geometra dieckmanni</i>		●
259			オオアヤシャク	<i>Pachyodes superans</i>		●
260			オオウスモンキヒメシャク	<i>Idaea imbecilla</i>		●
261			キオビヘニヒメシャク	<i>Idaea impexa</i>	●	
262			ヘニヒメシャク	<i>Idaea muricata</i>		●
263			ウスキクロテンヒメシャク	<i>Scopula ignobilis</i>	●	
264			モントビヒメシャク	<i>Scopula modicaria</i>	●	●
265			アヤコハネナミシャク	<i>Acasis bellaria</i>	●	
266			クロスジアオナミシャク	<i>Chloroclystis v-ata</i>		●
267			オオハガタナミシャク	<i>Ecliptopera umbrosaria</i>	●	●
268			ウストビモンナミシャク	<i>Eulithis ledereri inurbana</i>		●
269			セスジナミシャク	<i>Evecliptopera decurrens illitata</i>		●

注) 1. ●は確認種を示す。

2. 属 (亜科、科) までしか同定されていない種については、同一属 (亜科、科) 内の他種が確認されている場合、種数として計上していない。

表 7-9-12(6) ライトトラップにより確認された昆虫類

No.	目名	科名	種名	学名	事業計画地内	事業計画地外
					St.A	St.B
270	チョウ目	ジャクガ科	シロシタビ'イロナミシヤク	<i>Heterothera postalbida</i>	●	
271			デンスジ'ヒメナミシヤク	<i>Hydrelia nisaria</i>		●
272			ビ'ロード'ナミシヤク	<i>Sibatania mactata</i>	●	
273			ホソバ'ナミシヤク	<i>Tyloptera bella bella</i>	●	
274			フタトビ'スジ'ナミシヤク	<i>Xanthorhoe hortensiararia</i>		●
275			クロマダ'ラエタ'シヤク	<i>Abraxas fulvobasalis</i>		●
276			ナカウスエタ'シヤク	<i>Alcis angulifera</i>	●	●
277			クロクモエタ'シヤク	<i>Apocleora rimosa</i>	●	
278			ヤマトエタ'シヤク	<i>Cassyma deletaria hypotaenia</i>		●
279			ウスオエタ'シヤク	<i>Chiasmia hebesata</i>	●	
280			シロテンエタ'シヤク	<i>Cleora leucophaea</i>	●	
281			ハラケ'チビ'エタ'シヤク	<i>Diplurodes parvularia</i>		●
282			サラサエタ'シヤク	<i>Epholca arenosa</i>	●	●
283			ウラキトカリエタ'シヤク	<i>Hypephyra terrosa pryeraria</i>	●	
284			ウスバ'ミスジ'エタ'シヤク	<i>Hypomecis punctinalis conferenda</i>		●
285			クロズ'ウスキエタ'シヤク	<i>Lomographa simplicior</i>		●
286			ウスクモエタ'シヤク	<i>Menophra senilis</i>	●	●
287			マエキトビ'エタ'シヤク	<i>Nothomiza formosa</i>		●
288			エグリヅ'マエタ'シヤク	<i>Odontopera arida arida</i>	●	●
289			キイロエグリヅ'マエタ'シヤク	<i>Odontopera aurata</i>	●	
290			ツマキリウスエタ'シヤク	<i>Pareclipsis gracilis</i>	●	●
291			ゴ'マダ'ラシロエタ'シヤク	<i>Percnia albinigrata</i>		●
292			クロフオオシロエタ'シヤク	<i>Pogonopygia nigralbata</i>	●	●
293			ナミスジ'エタ'シヤク	<i>Racotis petrosa</i>		●
294			クロハゲルマエタ'シヤク	<i>Synegia esther</i>	●	
295			ヒロオビ'オオエタ'シヤク	<i>Xandrames dholaria</i>		●
296		アゲ'ハモド'キガ科	アゲ'ハモド'キ	<i>Epicopeia hainesii hainesii</i>	●	●
297			キンモンガ'	<i>Psychostrophia melanargia</i>		●
298		カレハガ科	マツカレハ	<i>Dendrolimus spectabilis</i>	●	
299			ヨシカレハ	<i>Euthrix potatoria bergmani</i>	●	
300		オビ'ガ科	オビ'ガ'	<i>Apha aequalis</i>		●
301			クワコ	<i>Bombyx mandarina</i>		●
302		カイコガ科	オオクワコ'モド'キ	<i>Oberthueria falcigera</i>		●
303			オオミス'アオ本州亜種	<i>Actias artemis aliena</i>	●	●
304		ヤマムユガ科	エゾ'ヨツメ	<i>Aglia tau microtau</i>		●
305			エビ'ガ'ラスズ'メ	<i>Agrius convolvuli</i>	●	
306		スズ'メガ科	アジ'ア'ホソバ'スズ'メ	<i>Ambulyx sericeipennis tobii</i>	●	●
307			ウンモン'スズ'メ	<i>Callambulyx tatarinovii gabyae</i>		●
308			ササ'ナミスズ'メ	<i>Dolbina tancrei</i>	●	
309			モモスズ'メ	<i>Marumba gaschkewitschii echephron</i>		●
310		シャチホコガ科	セグ'ロシャチホコ	<i>Clostera anastomosis</i>		●
311			ハ'イハ'ラシロシャチホコ	<i>Cnethodonta grisescens</i>	●	●
312			ホソバ'シャチホコ	<i>Fentonia ocypte</i>		●
313			ナカスジ'シャチホコ	<i>Nerice bipartita</i>	●	●
314			オオエグ'リシャチホコ	<i>Pterostoma sinicum</i>		●
315		ド'クガ科	スカシド'クガ'	<i>Arctornis kumatai</i>	●	
316			エルモン'ド'クガ'	<i>Arctornis inigrum ussuricum</i>	●	
317			スキ'ド'クガ'	<i>Calliteara argentata</i>	●	
318			キド'クガ'	<i>Euproctis piperita</i>	●	●
319			チャド'クガ'	<i>Euproctis pseudoconspersa</i>		●
320			ド'クガ'	<i>Euproctis subflava</i>		●
321			ナチキシタ'ド'クガ'	<i>Ilema nachiensis</i>		●
322			スゲ'オオド'クガ'	<i>Laelia gigantea</i>		●
323			ヒメシロモン'ド'クガ'	<i>Orgyia thyellina</i>	●	●
324			クロモン'ド'クガ'	<i>Pida nipponis</i>	●	
325		ヒトリガ科	アカスジ'シロコケガ'	<i>Cyana hamata hamata</i>	●	●
326			ムジ'ホソバ'	<i>Eilema deplana pavesces</i>	●	●

注) 1. ●は確認種を示す。

2. 属 (亜科、科) までしか同定されていない種については、同一属 (亜科、科) 内の他種が確認されている場合、種数として計上していない。

表 7-9-12(7) ライトトラップにより確認された昆虫類

No.	目名	科名	種名	学名	事業計画地内	事業計画地外
					St.A	St.B
327	チョウ目	ヒトリガ科	ヤネホソハ	<i>Eilema fuscodorsalis</i>		●
328			キマエホソハ	<i>Eilema japonica japonica</i>	●	●
329			ヨツボシホソハ	<i>Lithosia quadra</i>		●
330			ハガタヘニコケガ	<i>Miltochrista aberrans aberrans</i>		●
331			ゴマダラヘニコケガ	<i>Miltochrista pulchra leacrita</i>	●	
332			スジヘニコケガ	<i>Miltochrista striata striata</i>		●
333			シロヒトリ	<i>Chionarctia nivea</i>		●
334			スジモンヒトリ	<i>Spilarctia seriatopunctata seriatopunctata</i>	●	
335			アカハラゴマダラヒトリ	<i>Spilosoma punctaria</i>		●
336		コフガ科	クロスジシロコフガ	<i>Nola taeniata</i>		●
			コフガ科の一種	Nolidae gen. sp.		●
337		ヤガ科	シロシタケンモン	<i>Hyloxycta hercules</i>	●	
338			ゴマケンモン	<i>Moma alpium</i>		●
339			ウスオビヤガ	<i>Pyrrhia bifasciata</i>		●
340			タマナヤガ	<i>Agrotis ipsilon</i>		●
341			カブラヤガ	<i>Agrotis segetum</i>		●
342			オオハコヤガ	<i>Diarsia canescens</i>		●
343			コウスチャヤガ	<i>Diarsia deparca</i>	●	●
344			アカフヤガ	<i>Diarsia pacifica</i>		●
345			ウスイロアカフヤガ	<i>Diarsia ruficauda</i>		●
346			クロクモヤガ	<i>Hermonassa cecilia</i>	●	●
347			ウスイロカハスジヤガ	<i>Sineugraphe bipartita</i>		●
348			マエキヤガ	<i>Xestia stupenda</i>		●
349			マダラキヨトウ	<i>Aletia flavostigma</i>	●	●
350			スジグロキヨトウ	<i>Aletia nigrilinea</i>	●	
351			フタテンキヨトウ	<i>Aletia radiata stellata</i>	●	●
352			キミヤクヨトウ	<i>Dictyestra dissecta</i>		●
353			ケンモンキリガ	<i>Egira saxeae</i>		●
354			アトジロキヨトウ	<i>Leucania compta</i>		●
355			スジシロキヨトウ	<i>Leucania striata</i>		●
356			ヨトウガ	<i>Mamestra brassicae</i>	●	●
357			フタスジヨトウ	<i>Protomiselia bilinea</i>	●	●
358			シロシタヨトウ	<i>Sarcopolia illoba</i>		●
359			キハラモクメキリガ	<i>Xylota formosa</i>		●
360			コモクメヨトウ	<i>Actinotia intermedia</i>		●
361			オオシマカラスヨトウ	<i>Amphipyra monolitha surnia</i>	●	
362			シロテンウスグロヨトウ	<i>Athetis albisignata</i>		●
363			テンウスイロヨトウ	<i>Athetis dissimilis</i>		●
364			シロモンオビヨトウ	<i>Athetis lineosa</i>	●	
365			ヒメサビスジヨトウ	<i>Athetis stellata</i>	●	●
366			モクメヨトウ	<i>Axyia putris</i>	●	●
367			アカガネヨトウ	<i>Euplexia lucipara</i>	●	
368			ヘニモンヨトウ	<i>Oligonyx vulnerata</i>	●	
369			コマルモンシロガ	<i>Sphragifera biplaga</i>	●	
370			ミドリリンガ	<i>Clethrophora distincta</i>	●	●
371			サビイロコヤガ	<i>Amyna stellata</i>		●
372			モンキコヤガ	<i>Hyperstrotia flavipuncta</i>	●	
373			ヒメネジロコヤガ	<i>Maliattha signifera</i>	●	●
374			フタオビコヤガ	<i>Naranga aenescens</i>		●
375			ホシコヤガ	<i>Ozarba punctigera</i>	●	●
376			シロマダラコヤガ	<i>Protodeltote distinguenda</i>	●	
377			シロフコヤガ	<i>Protodeltote pygarga</i>	●	
378			Sugia属の一種	Sugia sp.	●	
379			ウリキンウハ	<i>Anadevidia peponis</i>		●
380			エジクキンウハ	<i>Ctenoplusia albostrata</i>	●	
381			ギンズジキンウハ	<i>Erythrolusia rutilifrons</i>		●
382			モンシロムラサキウハ	<i>Ercheia niveostrigata</i>		●

注) 1. ●は確認種を示す。

2. 属 (亜科、科) までしか同定されていない種については、同一属 (亜科、科) 内の他種が確認されている場合、種数として計上していない。

表 7-9-12(8) ライトトラップにより確認された昆虫類

No.	目名	科名	種名	学名	事業計画地内	事業計画地外
					St.A	St.B
383	チョウ目	ヤガ科	シロスジトモエ	<i>Metopta rectifasciata</i>		●
384			クロテンカハ'アツハ'	<i>Anachrostis nigripunctalis</i>	●	●
385			フタスジ'エグリ'アツハ'	<i>Gonepatica opalina</i>		●
386			ヒメクビ'グ'ロク'チハ'	<i>Lygephila recta</i>		●
387			シャクト'ウ'ク'チハ'	<i>Mecodina nubiferalis</i>		●
388			ハスオビ'ヒメ'アツハ'	<i>Schrankia separatalis</i>	●	
389			ヤマガ'タ'アツハ'	<i>Bomolocha stygiana</i>		●
390			フジ'ロ'アツハ'	<i>Adrapsa notigera</i>	●	
391			オオシラホ'シ'アツハ'	<i>Edessena hamada</i>	●	●
392			トビ'ス'ジ'アツハ'	<i>Herminia tarsicrinalis</i>	●	
393			オオシラナミ'アツハ'	<i>Hipoepa fractalis</i>		●
394			ヒロオビ'ウス'グ'ロ'アツハ'	<i>Hydrillodes funeralis</i>	●	●
395			ソト'ウス'グ'ロ'アツハ'	<i>Hydrillodes repugnalis</i>		●
396			オオ'アカ'マ'エ'アツハ'	<i>Simplicia nippona</i>	●	●
397			アカ'マ'エ'アツハ'	<i>Simplicia rectalis</i>	●	
398			コ'ウス'グ'ロ'アツハ'	<i>Zanclognatha southi</i>	●	
合計 12目116科398種					181	308

注) 1. ●は確認種を示す。

2. 属(亜科、科)までしか同定されていない種については、同一属(亜科、科)内の他種が確認されている場合、種数として計上していない。

④ ギフチョウ調査結果

ギフチョウは広島市の山地部にも広く分布するため、事業計画地及びその周辺でもギフチョウの生息が予想されたことから、ギフチョウを対象として調査を実施した。

春季の昆虫類調査時において成虫は確認されなかった。また、本種の幼虫の食草の一つであるミヤコアオイは事業計画地及びその周辺に広く分布していたが(第 7 章 7.10 植物 図 7-10-6 植物重要種確認位置図を参照)、ギフチョウの卵と幼虫は確認されなかった。

(6) 魚類

事業計画地及びその周辺で確認された魚類は表 7-9-13 に示すとおり、事業計画地内では魚類の生息は確認されず、事業計画地外では 2 目 3 科 4 種であった。

調査結果によると、№2 では 1 種、№3 では 4 種の魚類の生息を確認した。

表 7-9-13 魚類の確認種

目名	科名	種名	調査地点		
			事業計画地内	事業計画地外	
			No.1	No.2	No.3
コイ	コイ	タカハヤ		●	●
		カワムツ			●
	ドジョウ	ドジョウ			●
スズキ	ハゼ	カワヨシノボリ			●
合計 2 目 3 科 4 種			0 種	1 種	4 種

(7) 底生動物

事業計画地及びその周辺で確認された底生動物は表 7-9-14 に、確認種一覧は表 7-9-15(1)及び表 7-9-15(2)に示すとおりであり、事業計画地内では 11 目 26 科 31 種、事業計画地外では 13 目 31 科 46 種であり、合計は 14 目 41 科 63 種であった。

確認された底生動物はいずれも低山地～山地に見られる普通種であった。門別にみると節足動物門が多く、中でもカゲロウ目、ハエ目、トビケラ目の種数が多くっており、河川上流～源流域の一般的な様相を呈していた。

表 7-9-14 底生動物調査結果（分類群別集計表）

門 名	綱 名	目 名	事業計画地内		事業計画地外						合計 ^{注)1}	
			№1		№2		№3		計 ^{注)1}			
			科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数
扁形動物門	ウズムシ綱	ウズムシ目	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
袋形動物門	ハリガネムシ綱	—	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1
環形動物門	ミズ綱	オヨギミズ目	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		ナガミズ目	1	1	1	1	2	2	3	3	4	4
	ヒル綱	咽蛭目	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1
節足動物門	甲殻綱	ワラジムシ目	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1
		ヨコエビ目	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1
		エビ目	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	昆虫綱	カゲロウ目	5	7	3	4	6	12	6	13	7	15
		トンボ目	3	3	3	3	2	2	4	5	5	6
		カワゲラ目	2	4	1	1	3	4	3	4	4	6
		アミメカゲロウ目	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2
		ハエ目	5	6	3	5	4	8	4	8	6	12
		トビケラ目	5	5	1	2	4	6	4	6	7	11
合 計			11 目 26 科 31 種		11 目 17 科 21 種		13 目 28 科 41 種		13 目 31 科 46 種		14 目 41 科 63 種	

注) 1. 目別の合計は総種数であり、No.2 と No.3 の和、事業計画地内と事業計画地外の和と一致しない。

表 7-9-15(1) 底生動物の確認種

No.	門名	綱名	目名	科名	種名	学名	事業計画地内			事業計画地外		
							No1	No2	No3			
1	扁形動物門	ウスミシ綱	ウスミシ目	サンカクアタマウスミシ科	ナミウスミシ	<i>Dugesia japonica</i>	●	●	●			
2	袋形動物門	ハリガネミシ綱	—	—	ハリガネミシ綱の一種	NEMATOMORPHA gen. sp.				●		
3	環形動物門	ミズミシ綱	オヨギミズ目	オヨギミズ科	オヨギミズ科の一種	Lumbriculidae gen. sp.	●	●	●			
4			ナガミズ目	ナガミズ科	ナガミズ科の一種	Haplotaxidae gen. sp.	●					
5				イトミズ科	イトミズ科の一種	Tubificidae gen. sp.				●		
6				ミズミズ科	ミズミズ科の一種	Naididae gen. sp.				●		
7				ツリミズ科	ツリミズ科の一種	Lumbriculidae gen. sp.		●				
8		ヒル綱	咽蛭目	イシビル科	イシビル科の一種	Erpobdellidae gen. sp.				●		
9	節足動物門	甲殻綱	クラジミシ目	ミズミシ科	ミズミシ	<i>Asellus hilgendorfi hilgendorfi</i>		●	●			
10			ヨコエビ目	ヨコエビ科	ニッポソコエビ	<i>Gammarus nipponensis</i>	●					
11			エビ目	サワガニ科	サワガニ	<i>Geothelphusa dehaani</i>	●	●	●			
12		昆虫綱	カゲロウ目	フタオカゲロウ科	ヒメフタオカゲロウ属の一種	<i>Ameletus</i> sp.	●			●		
13				コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	<i>Baetiella japonica</i>				●		
14					シロハラコカゲロウ	<i>Baetis thermicus</i>	●	●	●			
15					Hコカゲロウ	<i>Baetis</i> sp. H	●	●				
					コカゲロウ属の一種	<i>Baetis</i> sp.				●		
16				ヒトリカゲロウ科	チラカゲロウ	<i>Isonychia japonica</i>				●		
17				ヒラタカゲロウ科	クロタニガワカゲロウ	<i>Ecdyonurus tobiironis</i>				●		
18					ナミヒラタカゲロウ	<i>Epeorus ikanonis</i>		●	●			
					ヒラタカゲロウ属の一種	<i>Epeorus</i> sp.	●					
19					キハタヒラタカゲロウ	<i>Heptagenia (Kageronia) kihada</i>	●					
					ヒラタカゲロウ科の一種	Heptageniidae gen. sp.	●					
20				トビイロカゲロウ科	トビイロカゲロウ属の一種	<i>Paraleptophlebia</i> sp.	●			●		
21				モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	<i>Ephemera japonica</i>	●					
22				マダラカゲロウ科	シリナガマダラカゲロウ	<i>Acerella longicaudata</i>				●		
23					オオクママダラカゲロウ	<i>Cincticostella okumai</i>		●	●			
24					オオマダラカゲロウ	<i>Drunella basalis</i>				●		
25					ホソバマダラカゲロウ	<i>Ephemerella denticula</i>				●		
26					アカマダラカゲロウ	<i>Uracanthella rufa</i>				●		
27			トンボ目	カワトンボ科	ニシカワトンボ	<i>Mnais pruinosa pruinosa</i>				●		
28				ムカシトンボ科	ムカシトンボ	<i>Epiproblebia superstes</i>	●					
29				サナエトンボ科	クロサナエ	<i>Davidius fujiana</i>		●				
					ダビドサナエ属の一種	<i>Davidius</i> sp.	●					
30				オニヤンマ科	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>		●				
31				ヤンマ科	コシボソヤンマ	<i>Boyeria maclachlani</i>				●		
32					ミルヤンマ	<i>Planaeschna milnei</i>	●	●				
33			カワゲラ目	オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ属の一種	<i>Amphinemura</i> sp.	●	●	●			
34					オナシカワゲラ属の一種	<i>Nemoura</i> sp.	●			●		
35				アミメカワゲラ科	アミメカワゲラモドキ属の一種	<i>Stavsolus</i> sp.				●		
36				カワゲラ科	ヤマトカワゲラ	<i>Niponiella limbatella</i>	●					
37					キバトリウゴウカワゲラ	<i>Togoperla limbata</i>	●					
38				ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科の一種	Chloroperlidae gen. sp.				●		
39		アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科	ヘビトンボ		<i>Protohermes grandis</i>		●	●			
40					ヤマトクロスジヘビトンボ	<i>Parachauliodes japonicus</i>	●					
41		ハエ目	ガガンボ科	ガガンボ属の一種		<i>Tipula</i> sp.		●	●	●		
42					ウスバガガンボ属の一種	<i>Antocha</i> sp.	●	●	●			
43				アミカ科	アミカ科の一種	Blephariceridae gen. sp.				●		
44				カ科	カ科の一種	Culicidae gen. sp.	●					
45				ブユ科	アシマダラブユ属の一種	<i>Simulium</i> sp.	●	●	●			
46				ヌカカ科	ヌカカ科の一種	Ceratopogonidae gen. sp.	●					
47				ユスリカ科	モンユスリカ亜科の一種	Tanypodinae gen. sp.		●	●			
48					ヤマユスリカ属の一種	<i>Diamesa</i> sp.				●		
49					テソマクエリユスリカ属の一種	<i>Eukiefferiella</i> sp.	●					
50					エリユスリカ属の一種	<i>Orthocladius</i> sp.		●	●			
51					クロツヤエリユスリカ属の一種	<i>Paratrachocladius</i> sp.				●		
					エリユスリカ亜科の一種	Orthoclaudiinae gen. sp.	●			●		
52					ハモンユスリカ属の一種	<i>Polypedilum</i> sp.	●					

注) 1. ●は確認種を示す。

2. 属(亜科、科)までしか同定されていない種については、同一属(亜科、科)内の他種が確認されている場合、種数として計上していない。

表 7-9-15(2) 底生動物の確認種

No.	門名	綱名	目名	科名	種名	学名	事業計画地内			事業計画地外		
							No1	No2	No3	No1	No2	No3
53	節足動物門	昆虫綱	トビケラ目	ヤマトビケラ科	ヤマトビケラ属の一種	<i>Glossosoma</i> sp.	●					
54				ナガレトビケラ科	レゼイナガレトビケラ	<i>Rhyacophila lezeyi</i>						●
55					シコツナガレトビケラ	<i>Rhyacophila shikotsuensis</i>	●					
56				カワトビケラ科	タニカワトビケラ属の一種	<i>Sortosa (Dolophilodes)</i> sp.	●					
57				クダトビケラ科	クダトビケラ科の一種	<i>Psychomyidae</i> gen. sp.						●
58				シマトビケラ科	コガタシマトビケラ属の一種	<i>Cheumatopsyche</i> sp.			●		●	
59					ウルマーシマトビケラ	<i>Hydropsyche ulmeri</i>			●		●	
60					ミヤマシマトビケラ属の一種	<i>Diplectrona</i> sp.	●					
61				エグリトビケラ科	ニンギョウトビケラ	<i>Goera japonica</i>						●
62					コエグリトビケラ属の一種	<i>Apatania</i> sp.						●
63				カクツツトビケラ科	コカクツツトビケラ属の一種	<i>Goerodes</i> sp.	●					
合計 14目41科63種							31	21		41		

注) 1. ●は確認種を示す。

2. 属 (亜科、科) までしか同定されていない種については、同一属 (亜科、科) 内の他種が確認されている場合、種数として計上していない。

7.9.3 重要種（動物）

現地調査で確認された動物について、表 7-9-16 に示す選定基準に従い、重要種の選定を行った。

その結果、哺乳類は 1 種、鳥類は 13 種、爬虫類は 1 種、両生類は 4 種、昆虫類は 5 種が選定され、魚類及び底生動物における重要種は選定されなかった。

また、既存資料「広島市の生物（広島市，2000）」によれば、事業計画地及びその周辺では学術上重要とされている動物〔哺乳類 1 種（ツキノワグマ）、昆虫類 1 種（ゲンジボタル）、魚類 2 種（イシドジョウ、アカザ）〕の分布が確認されており、これらも重要な種として選定したが、現地調査ではゲンジボタル以外は確認されなかった。

選定した重要種一覧は表 7-9-17 に示すとおりである。事業計画地及びその周辺における重要種の確認位置を、哺乳類は図 7-9-6 に、鳥類は図 7-9-7～図 7-9-8 に、爬虫類は図 7-9-9 に、両生類は図 7-9-10～図 7-9-12 に、昆虫類は図 7-9-13 にそれぞれに示す。

表 7-9-16 重要種（動物）の選定基準

I	「文化財保護法」および「文化財保護条例」による指定種 特：国指定特別天然記念物 国：国指定天然記念物 県：県指定天然記念物
II	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」における希少野生動植物種 1：国内希少野生動植物種 2：国際希少野生動植物種 3：緊急指定種
III	・「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物ーレッドデータブックー1 哺乳類（環境省，2002）」掲載種 ・「鳥類レッドリスト（環境省ホームページ上，2006）」掲載種 ・「爬虫類レッドリスト（環境省ホームページ上，2006）」掲載種 ・「両生類レッドリスト（環境省ホームページ上，2006）」掲載種 ・「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物ーレッドデータブックー4 汽水・淡水魚類（環境省，2003）」掲載種 ・「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物ーレッドデータブックー5 昆虫類（環境省，2006）」掲載種 ・「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物ーレッドデータブックー6 陸・淡水産貝類（環境省，2005）」掲載種 ・「その他無脊椎動物レッドリスト（環境省ホームページ上，2006）」掲載種 CR：絶滅危惧ⅠA類（ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高い種） EN： // ⅠB類（ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高い種） VU： // Ⅱ類（絶滅の危険が増大している種） NT：準絶滅危惧（現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種） DD：情報不足（評価するだけの情報が不足している種） LP：絶滅のおそれのある地域個体群（地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高い個体群）
IV	「改訂・広島県の絶滅のおそれのある野生生物ーレッドデータブックひろしま2003ー（広島県，2004）」における選定種 CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類（絶滅の危機に瀕している種） VU：絶滅危惧Ⅱ類（絶滅の危険が増大している種） NT：準絶滅危惧（存続基盤が脆弱な種） DD：情報不足（評価するだけの情報が不足している種） LP：絶滅のおそれのある地域個体群（地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高い個体群）
V	「広島県野生生物の種の保護に関する条例」に指定されている野生動植物種 指定：指定野生生物種 特定：特定野性生物種
VI	「広島市の生物 補遺版（広島市，2006）」 1：絶滅危惧（現在の状態をもたらす圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来に市域での個体群の存続が危ぶまれる。） 2：準絶滅危惧（現時点での危険度は小さいが、生育・生息条件の変化により上位ランクに移行する可能性が高い。） 3：軽度懸念（市域では、存続基盤が比較的安定している。） 4：情報不足（希少な種であるが、市域での現状が不明である。） 5：環境指標種（種（個体群）そのものは絶滅の危険性が大きいものではないが、その種（個体群）に注目することによって、特異な環境，生物多様性，二次的自然等の観点から、重要と判定される自然環境の維持に貢献しうる。） 6：自然誌構成種（自然環境保全の対象として取り上げる要件を満たしていないが、広島市の自然環境を理解するうえで重要と判断できるもの。）

表 7-9-17 重要種（動物）一覧表

分類	科名	種名	現地調査	既存資料	選定基準					
					I	II	III	IV	V	VI
哺乳類	クマ	ツキノワグマ	—	●	—	2	LP	CR+EN	指定	4
	イタチ	イタチ属の一種	●	—	—	—	—	NT	—	4
鳥類	タカ	ミサゴ	●	—	—	—	NT	NT	—	3
		ハチクマ	●	—	—	—	NT	NT	—	4
		オオタカ	●	—	—	1	NT	VU	—	4
		ハイタカ	●	—	—	—	NT	NT	—	4
		ノスリ	●	—	—	—	—	—	—	6
		サシバ	●	—	—	—	VU	DD	—	4
	ハヤブサ	ハヤブサ	●	—	—	1	VU	VU	—	4
	キジ	ヤマドリ	●	—	—	—	—	NT	—	4
	カッコウ	ホトトギス	●	—	—	—	—	—	—	6
	フクロウ	フクロウ	●	—	—	—	—	—	—	4
	カワセミ	アカショウビン	●	—	—	—	—	—	—	4
	キツツキ	オオアカゲラ	●	—	—	—	—	NT	—	4
	ヒタキ	サンコウチョウ	●	—	—	—	—	NT	—	4
爬虫類	トカゲ	トカゲ	●	—	—	—	—	NT	—	2
両生類	サシウオ	ブチサンショウウオ	●	—	—	—	NT	—	—	—
	イモリ	イモリ	●	—	—	—	NT	NT	—	5
	アカガエル	トノサマガエル	●	—	—	—	—	NT	—	5
	アオガエル	シュレーゲルアオガエル	●	—	—	—	—	—	—	6
昆虫類	キリギリス	カヤキリ	●	—	—	—	—	NT	—	—
	バッタ	トノサマバッタ	●	—	—	—	—	—	—	5
	ホタル	ゲンジボタル	●	●	—	—	—	—	—	5
		ヘイケボタル	●	—	—	—	—	—	—	5
	シロチョウ	ツマグロキチョウ	●	—	—	—	VU	—	—	—
魚類	ドジョウ	イシドジョウ	—	●	—	—	EN	VU	—	1
	アカザ	アカザ	—	●	—	—	VU	CR+EN	—	1
底生動物	選定されず。		—	—	—	—	—	—	—	—

注) 1. 選定基準の詳細は、「表 7-9-16 重要種（動物）の選定基準」参照。

2. イタチ属の一種をイタチとした場合。

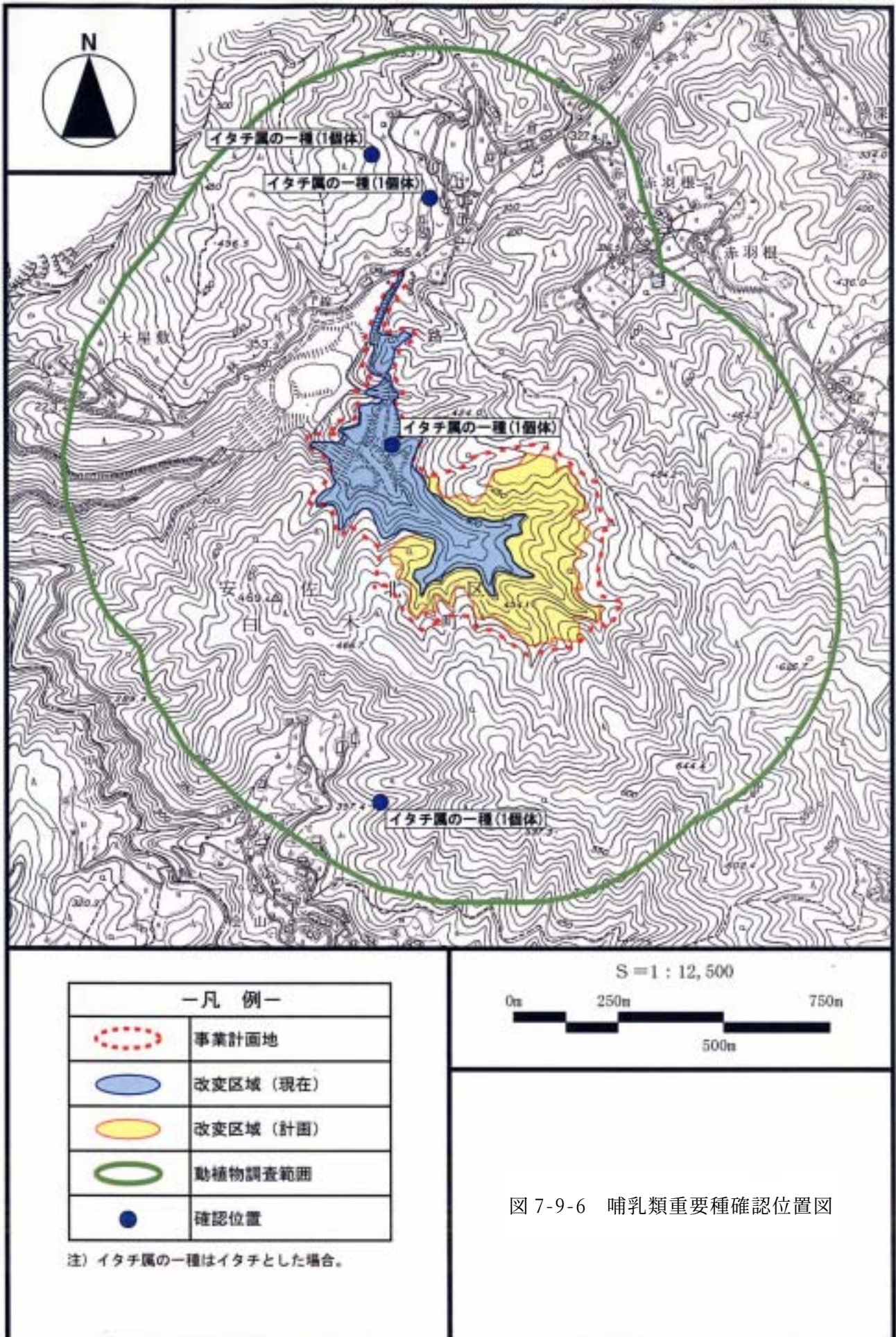
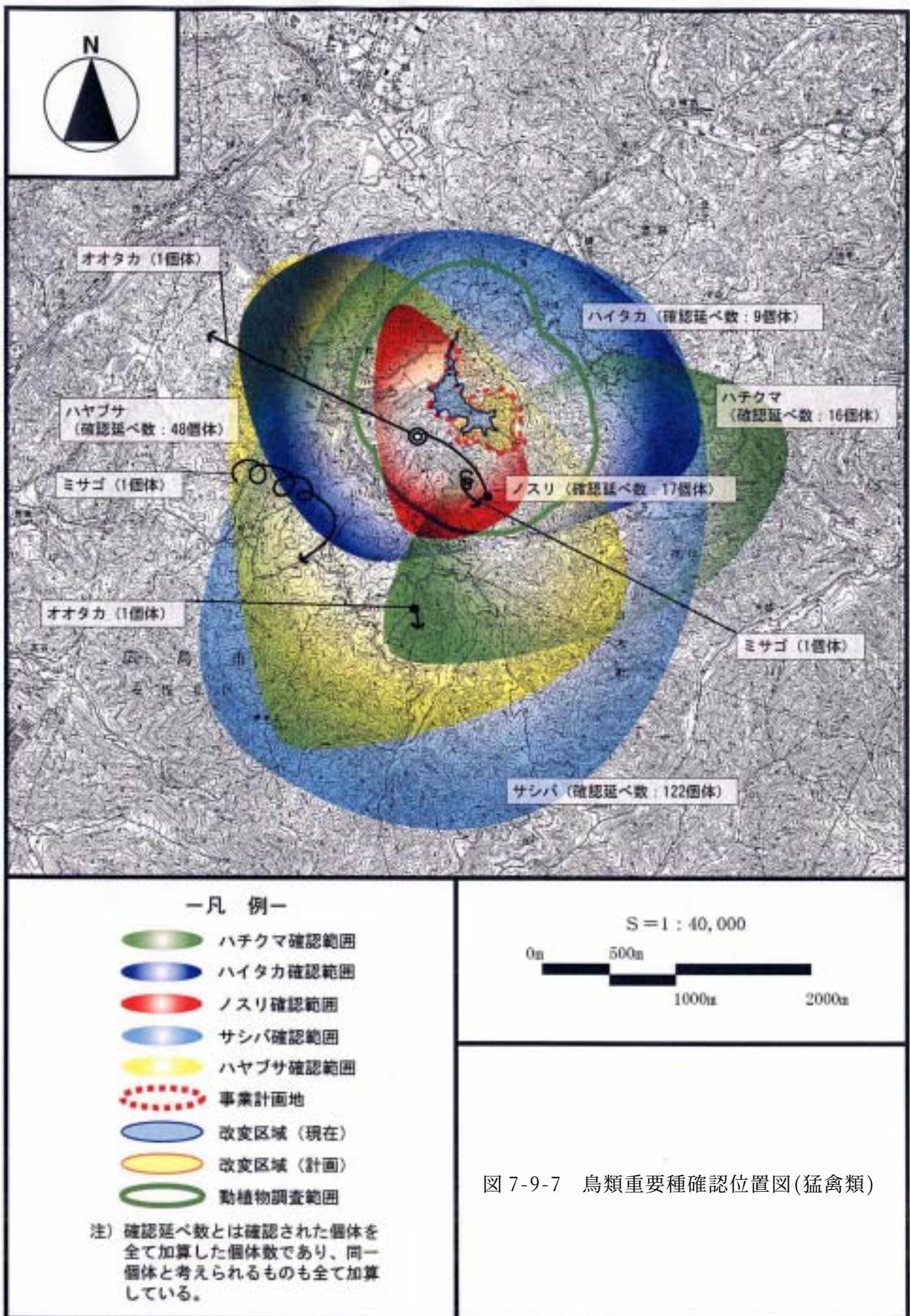


図 7-9-6 哺乳類重要種確認位置図



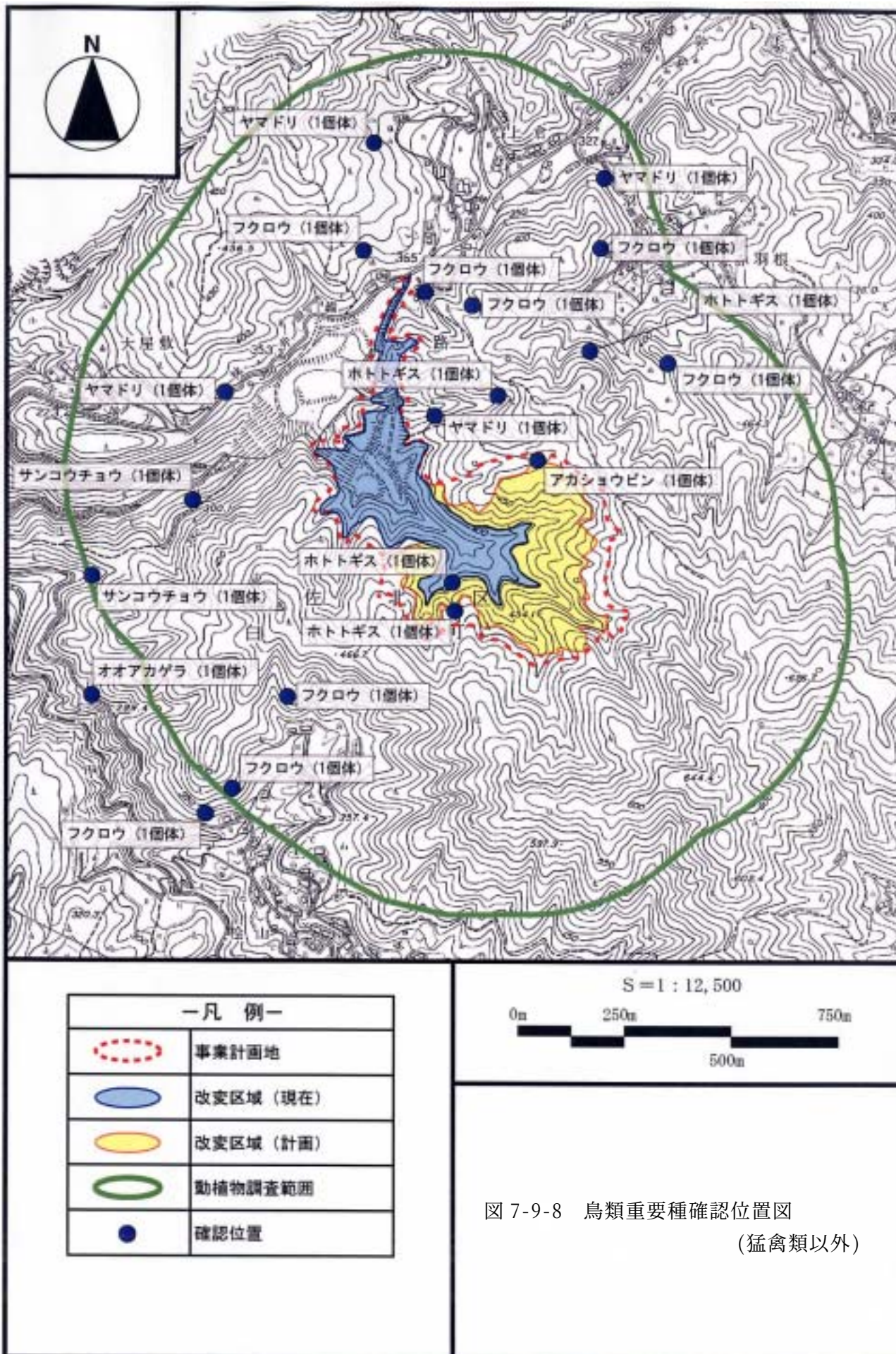
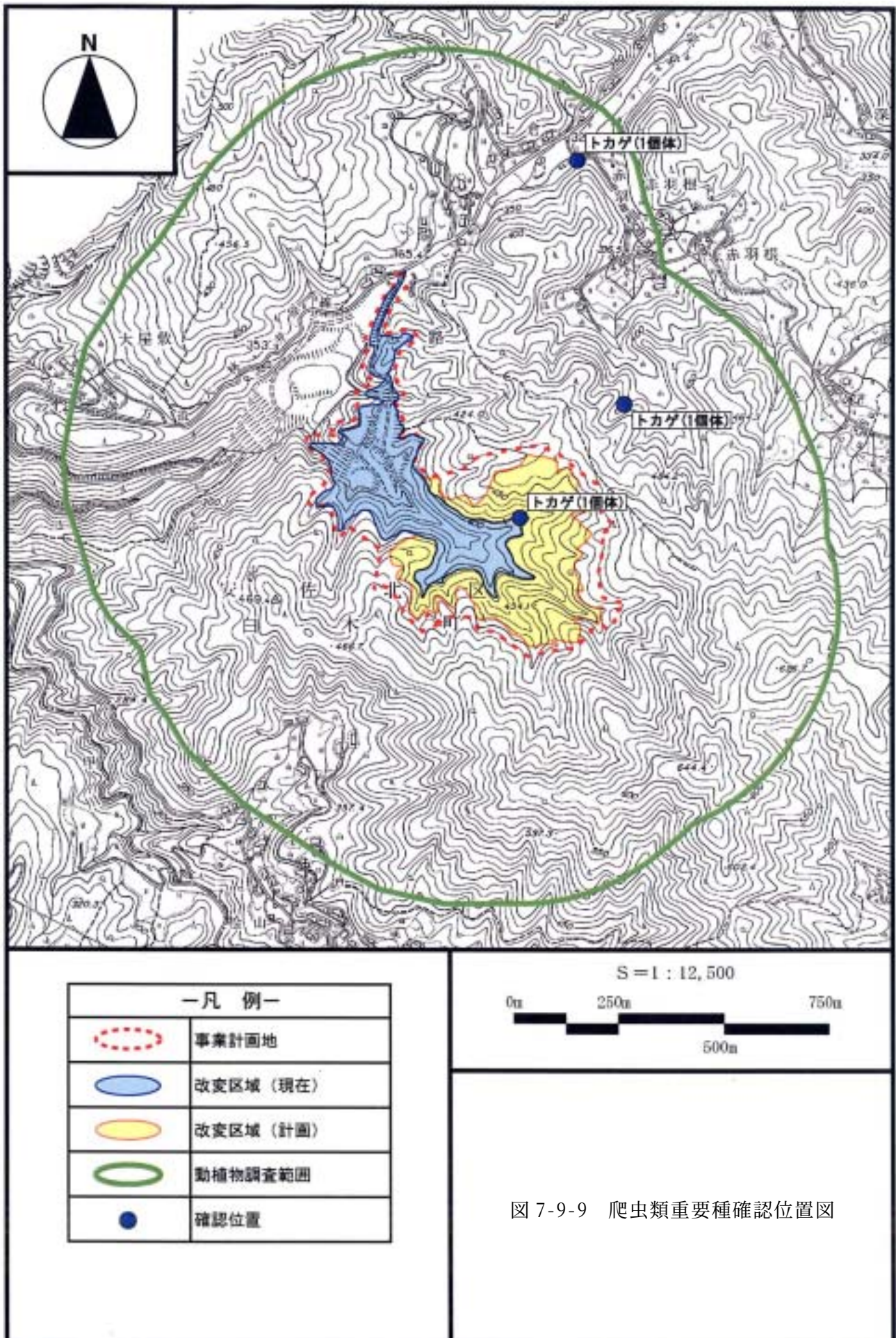
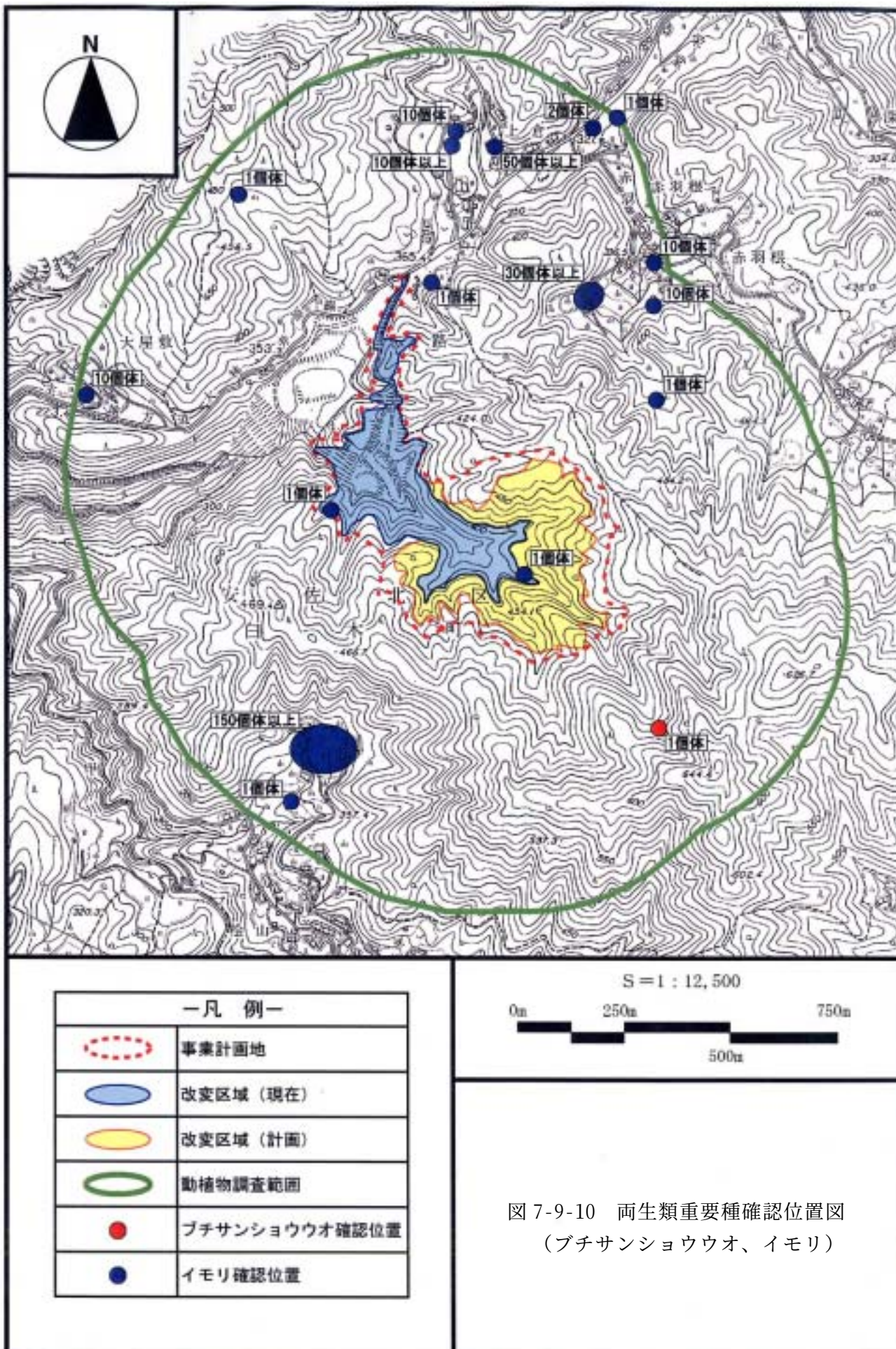


図 7-9-8 鳥類重要種確認位置図
(猛禽類以外)





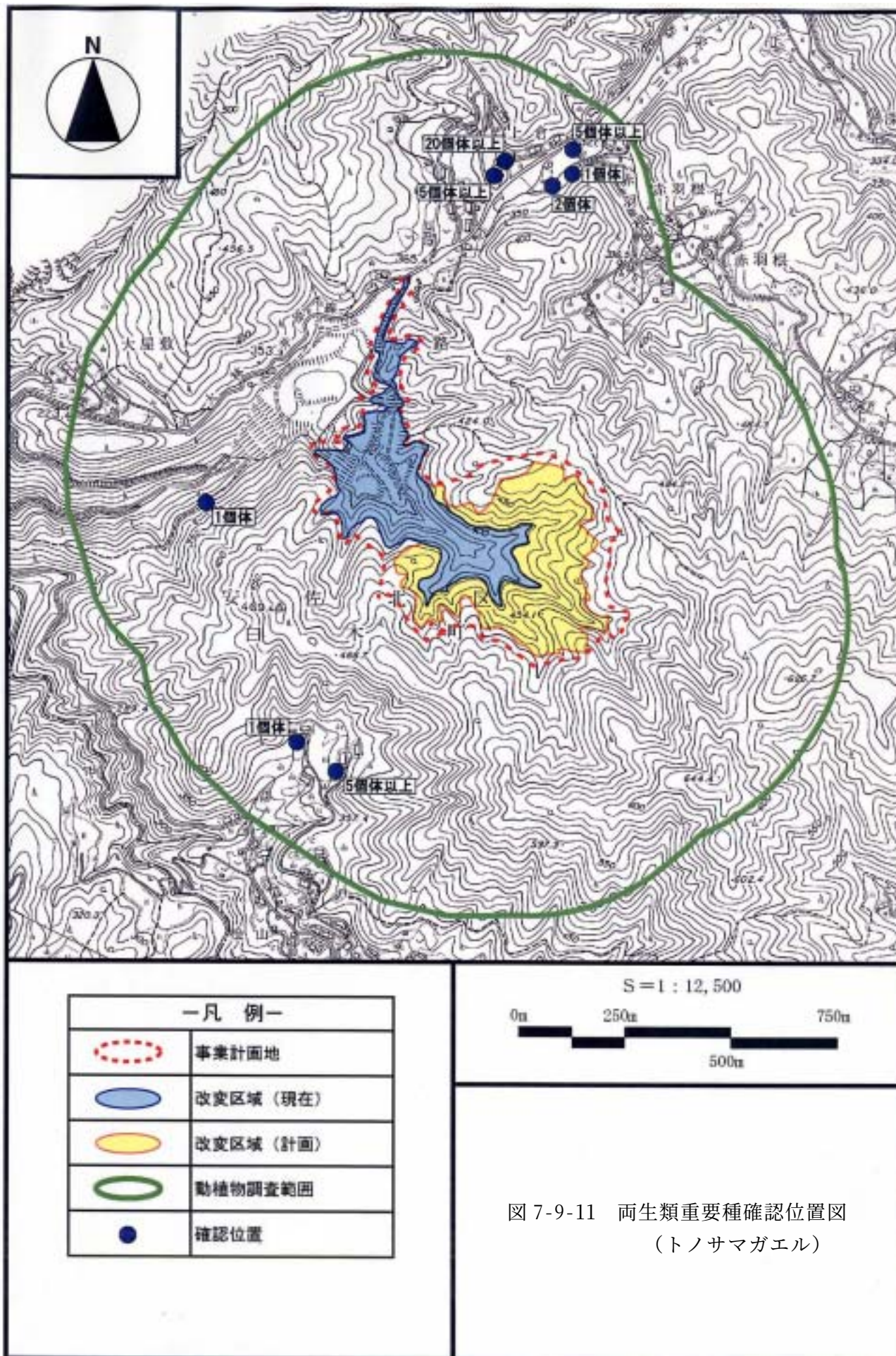


図 7-9-11 両生類重要種確認位置図
(トノサマガエル)

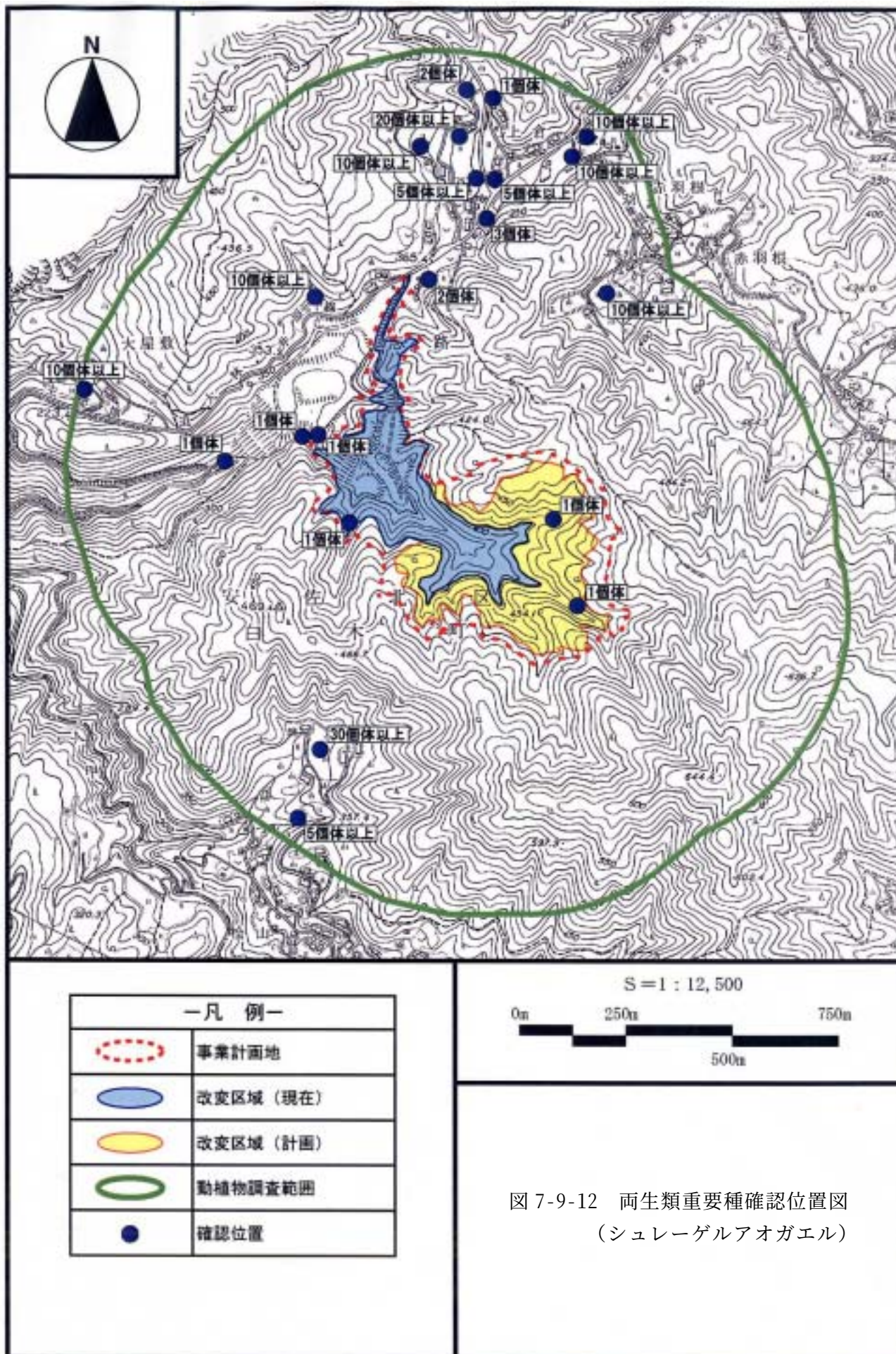


図 7-9-12 両生類重要種確認位置図
(シュレーゲルアオガエル)

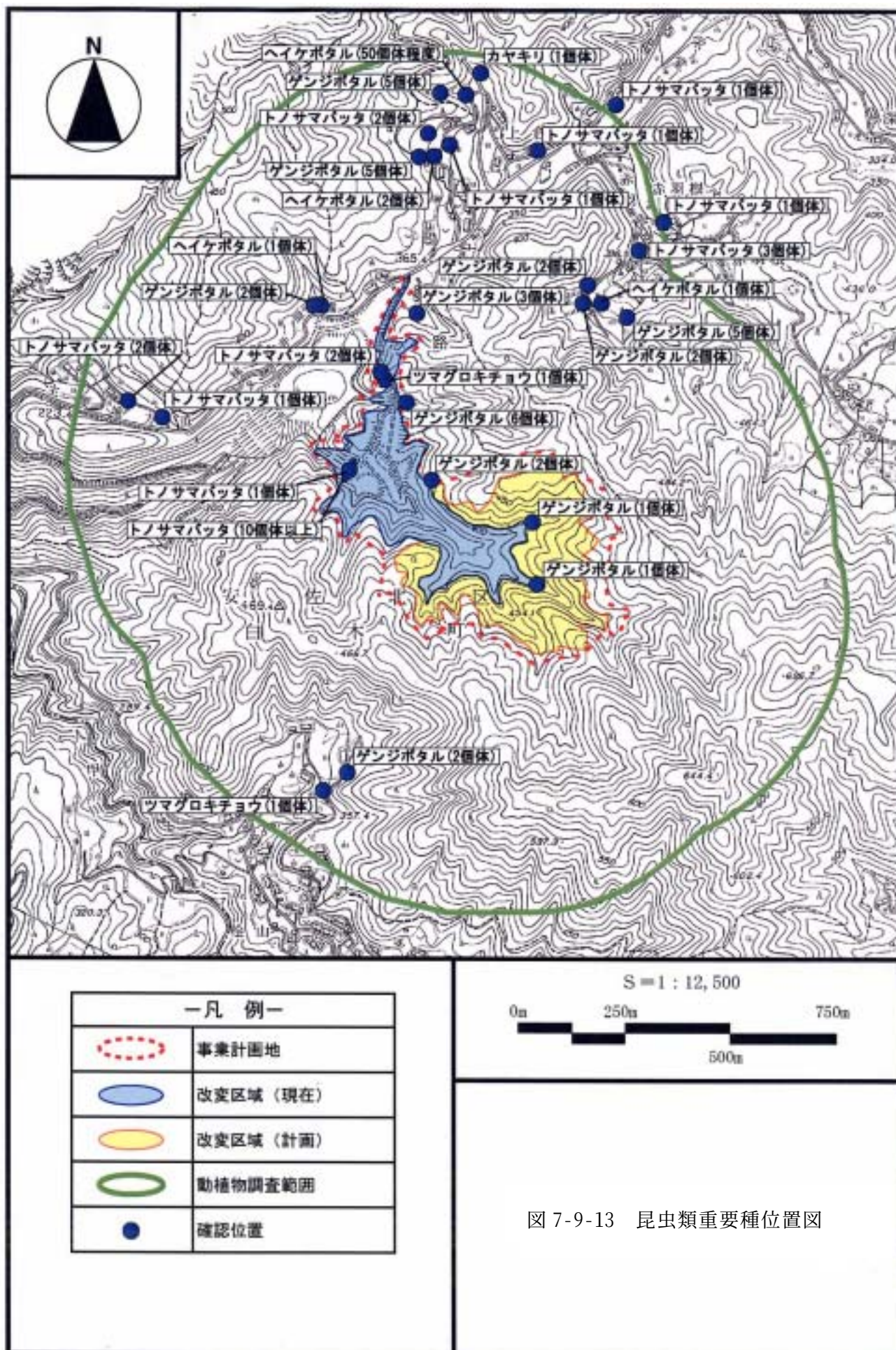


図 7-9-13 昆虫類重要種位置図

7.9.4 予測及び評価

(1) 予測及び評価の手順

動物の予測手法の概要は、表 7-9-18 に、予測及び評価の手順は図 7-9-14 に示すとおりである。

表 7-9-18 動物の予測手法の概要

内容		予測事項	予測地域	予測時期	予測方法
工事の実施	造成等の施工による一時的な影響	重要な動物の生息環境の消失・改変の程度	事業計画地周辺	工事による影響が最大となる時期	現況調査結果等に基づく予測
存在・供用	最終処分場の存在			埋立期間中から埋立完了時	

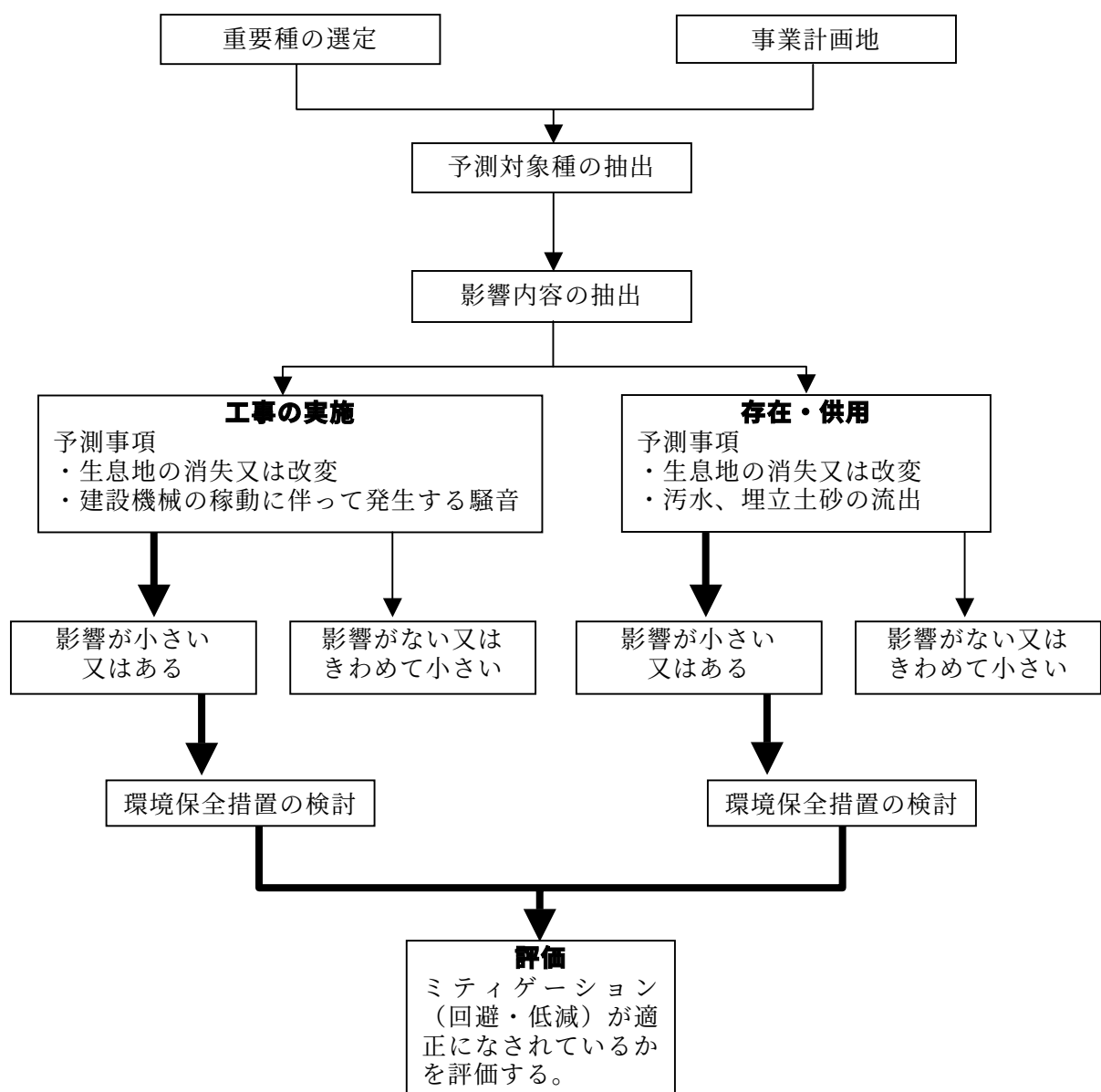


図 7-9-14 動物の予測及び評価のフロー図

(2) 予測

①予測対象種の抽出

重要種に選定した動物種の生態的特徴から事業計画地及びその周辺における生息状況の推定を行い、事業計画に伴い影響が考えられる種を予測対象として抽出した。

その結果、哺乳類 1 種、鳥類 8 種、爬虫類 1 種、両生類 2 種、昆虫類 3 種を予測対象とし、その一覧は表 7-9-19 (1) ～表 7-9-19 (4) に示すとおりである。

表 7-9-19 (1) 予測対象種の抽出及び影響要因

影響要因等 種名		調査結果		工事の実施		存在・供用		生態的特徴	事業計画地及びその周辺における生息状況の推定
		現地調査	既存資料	は改変	生息地の消失又は騒音に伴って発生する建設機械の稼動	は改変	生息地の消失又は土砂の流出		
哺乳類	ツキノワグマ	—	●	—	—	—	—	落葉広葉樹林（ブナ林）を中心に生息する。ブナ、ミズナラ、クリコナラ等の木の実、ササ類の新芽、ヒメザゼンソウの葉、アリやハチ等の昆虫類等を食べる。	事業計画地及びその周辺において、本種は確認されなかった。既存文献では本調査地周辺で記録されているが、事業計画地及びその周辺を主要な生息域としていることはほとんどなく、利用頻度は高いものではないと推定される。
	イタチ属の一種（イタチとした場合）	●	—	●	●	●	—	肉食の傾向が強く、水辺近くでネズミ類をはじめカエル、ヘビ、昆虫、カニ、魚類等を捕食している。	事業計画地内では人工草地の 1 箇所で確認され、事業計画地外では林内や民家周辺の 3 箇所で確認された。本種の確認個体数は少ないが、事業計画地及びその周辺を生息地として利用していると推定される。
鳥類	ミサゴ	●	—	—	●	—	—	県内では留鳥として生息し、水辺近くの崖地または大木に営巣する。ある程度水深のある大きな河川で狩りを行い、魚類を主食とする。	確認数が少なく、本種の狩場となる水域が事業計画地周辺には認められないことから、本種は通過個体であると推定される。
	ハチクマ	●	—	●	●	●	—	県内では夏鳥として生息する。山林の大木に営巣し、山林またはその周辺の開けた場所で狩りを行う。ハチ類を主食とし、ヘビ、小型鳥類等も食べる。	渡りの時期に当たる 5 月及び 9 月に事業計画地の高空を飛翔する個体が確認されたのみであることから、本種は渡り途中の通過個体であると推定される。
	オオタカ	●	—	●	●	●	—	県内では留鳥として生息する。山林の大木に営巣し、山林またはその周辺の開けた場所で狩りを行う。鳥類を主食とし、小型哺乳類等も食べる。	確認数が少なく、営巣地や繁殖に関わる行動等も確認されなかったことから、本種は事業計画地を行動圏の周辺部として利用している移動途中の通過個体であると推定される。
	ハイタカ	●	—	●	●	●	—	県内では主に冬鳥として越冬し、主に山林で狩りを行う。鳥類を主食とし、小型哺乳類等も食べる。	繁殖期に当たる 5 月～8 月は確認されなかったことから、本種は冬季の狩場として事業計画地及びその周辺を利用している越冬個体であると推定される。
	ノスリ	●	—	●	●	●	—	県内では主に冬鳥として越冬し、山林またはその周辺の開けた場所で狩りを行う。小型哺乳類、両生・爬虫類、昆虫類、鳥類等を食べる。	繁殖期に当たる 4 月～9 月は確認されなかったことから、本種は冬季の狩場として事業計画地及びその周辺を利用している越冬個体であると推定される。
	サシバ	●	—	●	●	●	—	県内では夏鳥として生息する。山林の大木に営巣し、開けた場所で狩りを行う。小型鳥類、両生・爬虫類、昆虫類等を食べる。	調査範囲外で 2 つがいの繁殖を確認。確認された行動範囲は事業計画地に一部重なるが、事業計画地内では巣材運び、交尾等の繁殖に関わる行動や幼鳥は確認されなかったことから、本種は事業計画地及びその周辺を繁殖期における狩場または移動経路として利用していると推定される。

注) 1. 予測対象となる動物種を ■■■■■ で示した。

表 7-9-19 (2) 予測対象種の抽出及び影響要因

種名	影響要因等	調査結果		工事の実施			存在・供用		生態的特徴	事業計画地及びその周辺における生息状況の推定
		現地調査	既存資料	は改変	生息地の消失又は騒音	建設機械の稼動に伴って発生する騒音	は改変	生息地の消失又は土砂の流出		
鳥類	ハヤブサ	●	—	●	●	●	—	—	県内では留鳥として生息する。崖地または大型鳥類の古巣に営巣し、開けた場所で狩りを行う。鳥類を主食とし、小型哺乳類等も食べる。	調査範囲外で 1 つがいの繁殖を確認。確認された行動範囲は事業計画地に一部重なるが、事業計画地内では巣材運び、交尾等の繁殖に関わる行動や幼鳥は確認されなかったことから、本種は事業計画地及びその周辺を繁殖期及び非繁殖期における狩場または移動経路として利用していると推定される。
	ヤマドリ	●	—	●	●	●	—	—	県内では留鳥として山地の良く茂った林に生息し、沢沿いの暗い林に多い。巣は林の中の地上に造り、植物や昆虫類、クモ類等を食べる。	事業計画地周辺の林内で姿またはドラミング等を 4 箇所を確認し、産卵期に当たる 4 月にも確認されていることから、本種は事業計画地及びその周辺を繁殖期における営巣地または狩場として利用していると推定される。
	ホトトギス	●	—	●	●	●	—	—	県内では夏鳥として生息する。主にウグイスに托卵する習性を持つ鳥類であるため、生息地はウグイスの生息地と一致し、ササ藪のある山林等に生息する。昆虫類を主食とし、チョウ類の幼虫を好む。	繁殖期に当たる夏季に雄のさえずりが事業計画地内及びその周辺の 4 箇所を確認され、主な托卵相手であるウグイスも繁殖期に当たる春季及び夏季に事業計画地内及びその周辺で確認されている。このことから、本種は事業計画地及びその周辺を繁殖期における営巣地または狩場として利用していると推定される。
	フクロウ	●	—	●	●	●	—	—	本種は夜行性で、県内には留鳥として林内に生息する。大木の樹洞、鳥類の古巣、壁の穴や地上に営巣する。狩りも林内で行い、夜行性の小型哺乳類等を主に捕食する。	事業計画地周辺の林内でさえずりが 4 季を通して 8 箇所を確認され、産卵期に当たる 3 月及び 5 月にも確認されていることから、本種は事業計画地周辺を繁殖期における営巣地または狩場として利用していると推定される。
	アカショウビン	●	—	●	●	●	●	●	県内では夏鳥として溪流または小さな湖沼のある谷間の林内に生息し、樹洞や崖の洞穴を使って営巣する。小魚、サワガニ、両生類、昆虫類等を捕食する。	事業計画地内の林内で繁殖期に当たる 6 月に 1 箇所ですえずりが確認された。本種は確認箇所数が少なく、営巣地、幼鳥等は確認されなかったことから、本種は事業計画地及びその周辺を繁殖期における狩場または移動経路として利用していると推定される。
	オオアカゲラ	●	—	●	●	●	—	—	県内では留鳥として大木のある林内に生息し、枯木に穴を掘って営巣する。採食も枯木で行われることが多く、枯木を掘ってアリ類、甲虫の幼虫等を食べる。	調査範囲外の林内で繁殖期に当たる 6 月に 1 箇所のみ確認された。本種は確認数が少なく、事業計画地からも 500m 以上離れているため、主要な生息地は事業計画地外であると推定される。
	サンコウチョウ	●	—	●	●	●	—	—	県内では夏鳥として山地の暗い林内に生息し、暗い林内の枝の付け根に営巣する。採食も林内で行い、飛びながら主にハエ、ハチ、チョウ等の飛翔性昆虫類を捕まえる。	事業計画地外の林内で、繁殖期に当たる 6 月及び 7 月に 1 箇所ずつ確認された。本種は事業計画地内では確認されず、確認箇所はいずれも事業計画地から約 250m 以上離れているため、主要な生息地は事業計画地外であると推定される。

注) 1. 予測対象となる動物種を  で示した。

表 7-9-19 (3) 予測対象種の抽出及び影響要因

種名	影響要因等	調査結果		工事の実施			存在・供用		生態的特徴	事業計画地及びその周辺における生息状況の推定
		現地調査	既存資料	は改変	生息地の消失又は騒音	建設機械の稼動に伴って発生する騒音	は改変	生息地の消失又は土砂の流出		
爬虫類	トカゲ	●	—	●	—	—	●	—	昼行性で、庭先や畑、道路わきの斜面、林縁部に生息している。ミミズ、クモ、ワラジムシ、コオロギ等を食べる。	事業計画地内では建造物の下で 1 個体が確認され、事業計画地外では道路や林内で 2 個体が確認された。本種の確認個体数は少ないが、事業計画地及びその周辺を生息地として利用していると推定される。
両生類	ブチサンショウウオ	●	—	—	—	—	—	—	きれいな水が流れる小渓流に生息する小型サンショウウオ。ニッポンヨコエビなどを食べるが、共食いもする。	事業計画地外において溪流の源流域で成体が確認された。本種の確認個体数は少ないが、事業計画地及びその周辺の溪流を生息地していると推定される。
	イモリ	●	—	●	—	—	●	—	ため池や農薬に汚染されていない水田等、止水域に生息している。ボウフラ、ミジンコ、水生昆虫、オタマジャクシ等を食べる。	事業計画地では林縁部で 2 個体が確認され、そのうち 1 個体が改変区域内で確認された。また事業計画地外では水田や放棄された水田周辺で多く確認された。確認個体数から改変区域（計画）の生息数は少ないと予想され、本種の主要な生息地は事業計画地外であると推定される。
	トノサマガエル	●	—	—	—	—	—	—	水田とその周辺部の草むらで生息している。繁殖を終えると、近くの畑や草むらの中で生活し、地下水が上がってこない土中で冬眠する。成体は大きなミミズ、ムカデ、クモ、昆虫、同種の幼ガエル、アマガエル等を食べる。	事業計画地外の水田周辺及び林内で確認された。本種は事業計画地内では確認されていないことから、主要な生息地は事業計画地外であると推定される。
	シュレーゲルアオガエル	●	—	●	—	—	●	—	水田や池や湿地に生息する。幼生は近くの水田等で成長し、水田近くの土中やコケの下で冬眠する。成体は鱗翅類の幼虫等を食べる。	事業計画地内では林内や林縁部で 3 個体が確認され、そのうち 2 個体が改変区域（計画）で確認された。また事業計画地外では水田周辺や林縁部で多く確認された。確認個体数から改変区域（計画）の生息個体数は少ないと予想され、本種の主要な生息地は事業計画地外であると推定される。
	カヤキリ	●	—	—	—	—	—	—	ススキやヨシ等の丈の高い草地に生息する。	事業計画地外のススキ草地で確認された。改変区域には生息地となるススキ草原はないため、主要な生息地は事業計画地外であると推定される。
昆虫類	トノサマバッタ	●	—	●	—	—	●	—	河原や空き地、墓地、造成地等改変された土地に生息する。	事業計画地内では秋季と夏季に人工草地において成虫が確認され、事業計画地外でも秋季と夏季に水田や草地周辺で成虫が確認された。改変区域（計画）では本種の生息地となる人工草地等食草となるイネ科等の生育している場所はないため、主要な生息地は事業計画地外であると推定される。

注) 1. 予測対象となる動物種を  で示した。

表 7-9-19 (4) 予測対象種の抽出及び影響要因

影響要因等 種名		調査結果		工事の実施			存在・供用		生態的特徴	事業計画地及びその周辺における生息状況の推定
		現地調査	既存資料	は改変	生息地の消失又は騒音に伴って発生する建設機械の稼動	は改変	生息地の消失又は土砂の流出	汚水、埋立		
昆虫類	ゲンジボタル	●	●	●	—	●	—	—	河川中・上流域に生息する。幼虫は流水中、成虫はその岸辺等で生息する。幼虫は水生で、カワニナ等の貝類を食べる。	事業計画地内では夏季に溪流付近の林縁部において 4 箇所を確認され、そのうち 2 箇所は改変区域（計画）であった。また、事業計画地外では夏季に溪流付近の林縁、水田周辺において 8 箇所を確認された。確認個体数から改変区域（計画）の生息数は少ないと予想され、本種の主要な生息地は事業計画地外であると推定される。
	ヘイケボタル	●	—	—	—	—	—	—	流れのゆっくりした用水路、水田、池等に生息する。幼虫は水生で、モノアラガイ等の貝類を食べる。	事業計画地外で夏季に水田や休耕田周辺において成虫が確認された。改変区域には本種の生息地となる浅い止水域や流れのゆるやかな用水路が存在しないため、主要な生息地は事業計画地外であると推定される。
	ツマグロキチョウ	●	—	●	—	●	—	—	河川敷、堤防、湿地の周辺や田畑の畦道等に生息する。幼虫の採餌植物はカワラケツメイ（マメ科）のみが知られている。成虫は、マメ科、カタバミ科、キク科、スミレ科等の花蜜を好んで吸う。	事業計画地内外で秋季に人工草地や草地で成虫が確認された。植物調査から調査範囲内に幼虫の食草であるカワラケツメイは確認されておらず、また、本種の夏型個体を確認していないことから、確認個体は調査範囲外で発生した秋型の越冬前の移動分散途中の個体であると考えられる。事業計画地内外には、越冬地として利用することができる日当たりのよい斜面の環境が広く存在するため、主要な生息地は事業計画地内外に広く存在すると推定される。
魚類	イシドジョウ	—	●	—	—	—	—	—	河川上流の淵の周囲、特に大石の多いところに生息する。石面上の藻類や水生昆虫を食べる。	事業計画地及びその周辺において、本種は確認されなかった。既存文献では本調査地周辺で記録されているが、事業計画地及びその周辺の河川を主要な生息域としていることはほとんどないと推定される。
	アカザ	—	●	—	—	—	—	—	河川中流から上流下部の瀬の石の下や間に生息する。主に水生昆虫を食べる。	事業計画地及びその周辺において、本種は確認されなかった。既存文献では本調査地周辺で記録されているが、事業計画地及びその周辺の河川を主要な生息域としていることはほとんどないと推定される。
底生動物	選定されず。	—	—	—	—	—	—	—	—	—

注) 1. 予測対象となる動物種を  で示した。

②工事の実施

各種動物の予測結果は表 7-9-20～表 7-9-30 に示すとおりである。

表 7-9-20 予測結果（哺乳類：イタチ属の一種）

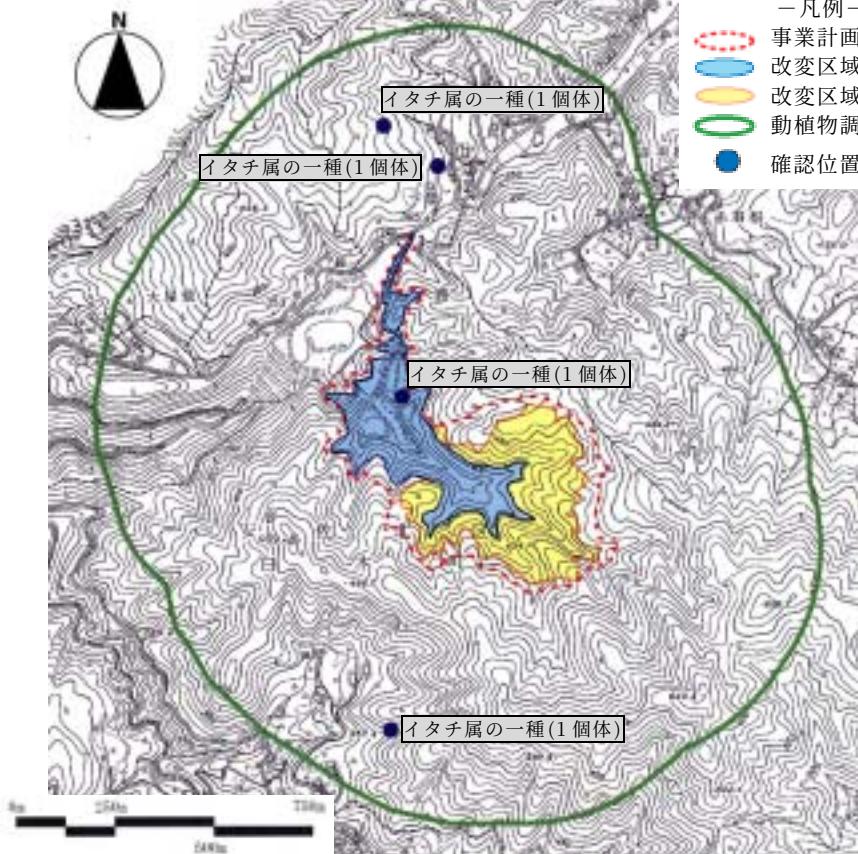
生息分布 と事業計画の 重ね合わせ	
生息状況 の推定	事業計画地及びその周辺を生息地として利用していると推定される。
生息環境 の質的変化	イタチ属の一種は事業計画地及びその周辺を生息地として利用しているため、事業計画の実施により、生息地の一部を消失又は改変することになる。また、建設機械の稼動に伴って発生する騒音によって事業計画地及びその周辺が一時的に利用されなくなる。
予測結果	・生息地の消失又は改変 工事の実施によりイタチ属の一種の生息地の一部を消失又は改変することになるが、本種は事業計画地及びその周辺で確認されており、事業計画地外の生息地は存続される。現状においても改変区域（現在）周辺を利用していると考えられるため、工事の実施により生息環境が変化することになる。しかし生息環境の整備という観点から事業計画地内における植栽可能な場所には可能な限り木本類を含めた在来種による緑化を施すため、本種の生息地に与える影響は小さいと予測される。 ・建設機械の稼動に伴って発生する騒音 改変区域の掘削は発破等を使用せず、重機による掘削で行われるため、突発的な音で本種を忌避させることはない。また、本種が掘削による建設機械の稼動騒音により一時的に事業計画地を利用しなくなると考えられるが、現状においても重機は随時稼動しており、可能な限り低騒音型の工法を取り入れ、騒音に対して配慮することから、本種に与える影響は小さいと予測される。

表 7-9-21 予測結果（鳥類：ハイタカ、ノスリ）

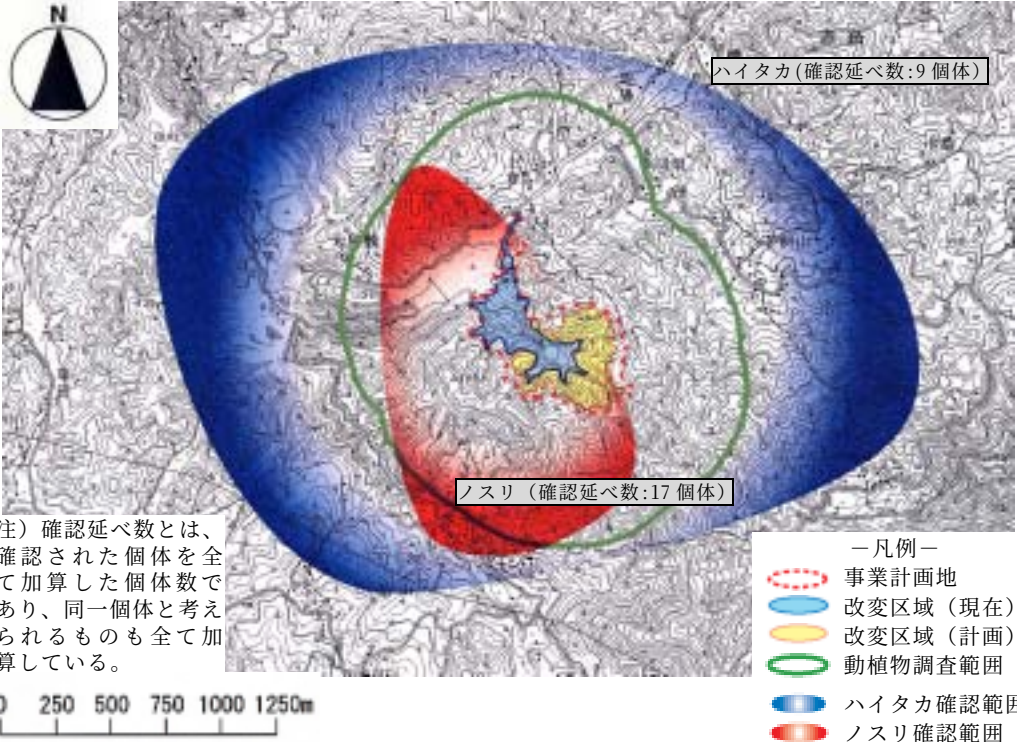
生息分布 と事業計画 の重ね 合わせ	 注）確認延べ数とは、確認された個体を全て加算した個体数であり、同一個体と考えられるものも全て加算している。
生息状況 の推定	・ハイタカ 越冬個体であると推定される。 ・ノスリ 越冬個体であると推定される。
生息環境 の質的変化	ハイタカ、ノスリは事業計画地及びその周辺を狩場として利用しているため、事業計画の実施により、生息地の一部を消失又は改変することになる。また、建設機械の稼動に伴って発生する騒音によって事業計画地及びその周辺が一時的に利用されなくなる。
予測結果	・生息地の消失又は改変 工事の実施によりハイタカ、ノスリの生息地の一部を消失又は改変することになるが、両種は事業計画地及びその周辺の広い範囲で確認され、確認範囲に対して消失する生息地、すなわち改変区域（計画）の面積は小さく、改変区域外には広く連続した生息地が残される。また、確認されたハイタカ及びノスリは越冬個体であり、事業計画地及びその周辺は繁殖期における主要な狩場としては利用されないが、生息環境の整備という観点から事業計画地内における植栽可能な場所には可能な限り木本類を含めた在来種による緑化を施すため、両種の生息地に与える影響は小さいと予測される。 ・建設機械の稼動に伴って発生する騒音 改変区域の掘削は発破等を使用せず、重機による掘削で行われるため、突発的な音で鳥類を飛散させることはない。また、鳥類が掘削による建設機械の稼動騒音により一時的に事業計画地を利用しなくなると考えられるが、現状においても重機は随時稼動しており、可能な限り低騒音型の工法を取り入れ、騒音に対して配慮することから、両種に与える影響は小さいと予測される。

表 7-9-22 予測結果（鳥類：サシバ、ハヤブサ）

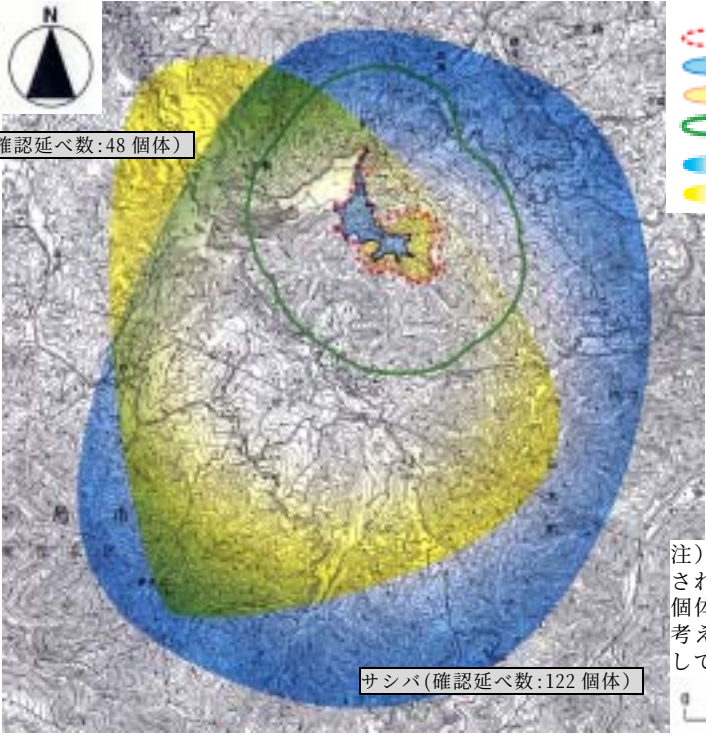
生息分布 と事業計画 の重ね 合わせ	 ハヤブサ(確認延べ数:48 個体) サシバ(確認延べ数:122 個体) 注) 確認延べ数とは、確認された個体を全て加算した個体数であり、同一個体と考えられるものも全て加算している。
生息状況 の推定	・サシバ 事業計画地及びその周辺を繁殖期における狩場または移動経路として利用していると推定される。 ・ハヤブサ 事業計画地及びその周辺を繁殖期及び非繁殖期における狩場または移動経路として利用していると推定される。
生息環境 の質的変化	サシバ、ハヤブサは事業計画地及びその周辺を狩場として利用しているため、事業計画の実施により、生息地の一部を消失又は改変することになる。また、建設機械の稼動に伴って発生する騒音によって事業計画地及びその周辺が一時的に利用されなくなる。
予測結果	・生息地の消失又は改変 工事の実施によりサシバ、ハヤブサの生息地の一部を消失又は改変することになるが、両種は事業計画地及びその周辺の広い範囲で確認され、確認範囲に対して消失する生息地すなわち改変区域（計画）の面積は小さく、改変区域外には広く連続した生息地が残される。また、サシバ及びハヤブサについては営巣地を確認しているが、いずれも調査範囲外であり、交尾等の繁殖に関わる行動や巣立ち後間もない幼鳥等の行動も主に調査範囲外で確認された。改変区域内では上空を飛翔する個体を数回確認しているが、いずれも通過個体であり、事業計画地及びその周辺は主要な生息地ではないと考えられるが、生息環境の整備という観点から事業計画地内における植栽可能な場所には可能な限り木本類を含めた在来種による緑化を施すため、両種の生息地に与える影響は小さいと予測される。 ・建設機械の稼動に伴って発生する騒音 改変区域の掘削は発破等を使用せず、重機による掘削で行われるため、突発的な音で鳥類を飛散させることはない。また、鳥類が掘削による建設機械の稼動騒音により一時的に事業計画地を利用しなくなると考えられるが、現状においても重機は随時稼動しており、可能な限り低騒音型の工法を取り入れ、騒音に対して配慮することから、両種に与える影響は小さいと予測される。

表 7-9-23 予測結果（鳥類：ヤマドリ、フクロウ）

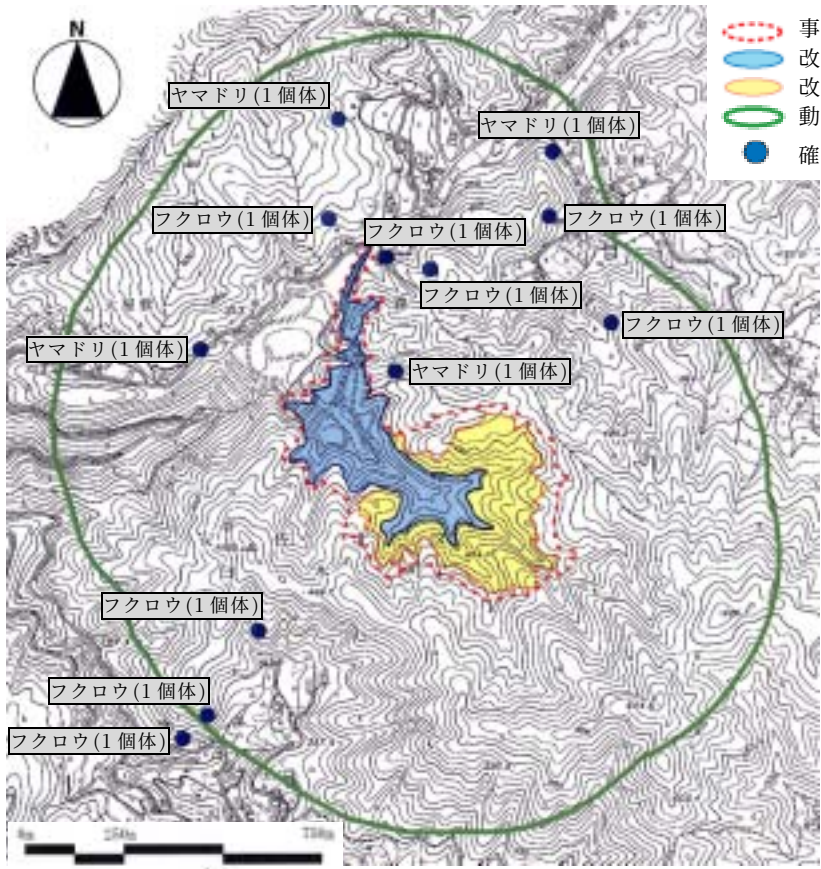
生息分布 と事業計画 の重ね 合わせ	
生息状況 の推定	・ヤマドリ 事業計画地及びその周辺を繁殖期における営巣地または狩場として利用していると推定される。 ・フクロウ 事業計画地及びその周辺を繁殖期における営巣地または狩場として利用していると推定される。
生息環境 の質的変化	ヤマドリ、フクロウは事業計画地及びその周辺を営巣地または狩場として利用しているため、事業計画の実施により、生息地の一部を消失又は改変することになる。また、建設機械の稼動に伴って発生する騒音によって事業計画地及びその周辺が一時的に利用されなくなる。
予測結果	・生息地の消失又は改変 工事の実施によりヤマドリ、フクロウの生息地の一部を消失又は改変することになるが、両種は事業計画地内では確認されていない。また、改変区域（計画）からはヤマドリが約 150m 以上、フクロウが約 350m 以上離れているため、工事の実施により両種に与える直接的な影響はほとんどないと考えられるが、生息環境の整備という観点から事業計画地内における植栽可能な場所には可能な限り木本類を含めた在来種による緑化を施すため、両種の生息地に与える影響は小さいと予測される。 ・建設機械の稼動に伴って発生する騒音 改変区域の掘削は発破等を使用せず、重機による掘削で行われるため、突発的な音で鳥類を飛散させることはない。また、鳥類が掘削による建設機械の稼動騒音により一時的に事業計画地を利用しなくなると考えられるが、現状においても重機は随時稼動しており、可能な限り低騒音型の工法を取り入れ、騒音に対して配慮することから、両種に与える影響は小さいと予測される。

表 7-9-24 予測結果（鳥類：ホトトギス）

生息分布 と事業計画 の重ね 合わせ	
生息状況 の推定	事業計画地及びその周辺を繁殖期における営巣地または狩場として利用していると推定される。
生息環境 の質的変化	ホトトギスは事業計画地及びその周辺を営巣地または狩場として利用しているため、事業計画の実施により、生息地の一部を消失又は改変することになる。また、建設機械の稼動に伴って発生する騒音によって事業計画地及びその周辺が一時的に利用されなくなる。
予測結果	・生息地の消失又は改変 ホトトギスは改変区域（計画）内の 2 箇所で確認されており、工事の実施により本種の生息地の一部を消失又は改変することになる。しかし、本種の主な托卵相手であるウグイスは調査地の広い範囲に比較的個体数も多く確認し、ウグイスの生息環境である林縁部の藪は森林を伐採した後には成立する二次的な環境であることから、事業計画地内には広く存在する。また、ホトトギス及びウグイスの主な餌である昆虫類は事業計画地及びその周辺において種数、個体数ともに多く確認されている。このことから、工事の実施が本種の個体数の減少、生息環境の悪化に直接繋がることは小さいと考えられるが、事業計画地内における植栽可能な場所には可能な限り木本類を含めた在来種による緑化を施し、本種の餌となる昆虫類の生息環境、托卵相手であるウグイスの生息環境を整備するため、本種の生息地に与える影響は小さいと予測される。 ・建設機械の稼動に伴って発生する騒音 改変区域の掘削は発破等を使用せず、重機による掘削で行われるため、突発的な音で鳥類を飛散させることはない。また、鳥類が掘削による建設機械の稼動騒音により一時的に事業計画地を利用しなくなると考えられるが、現状においても重機は随時稼動しており、可能な限り低騒音型の工法を取り入れ、騒音に対して配慮することから、本種に与える影響は小さいと予測される。

表 7-9-25 予測結果（鳥類：アカショウビン）

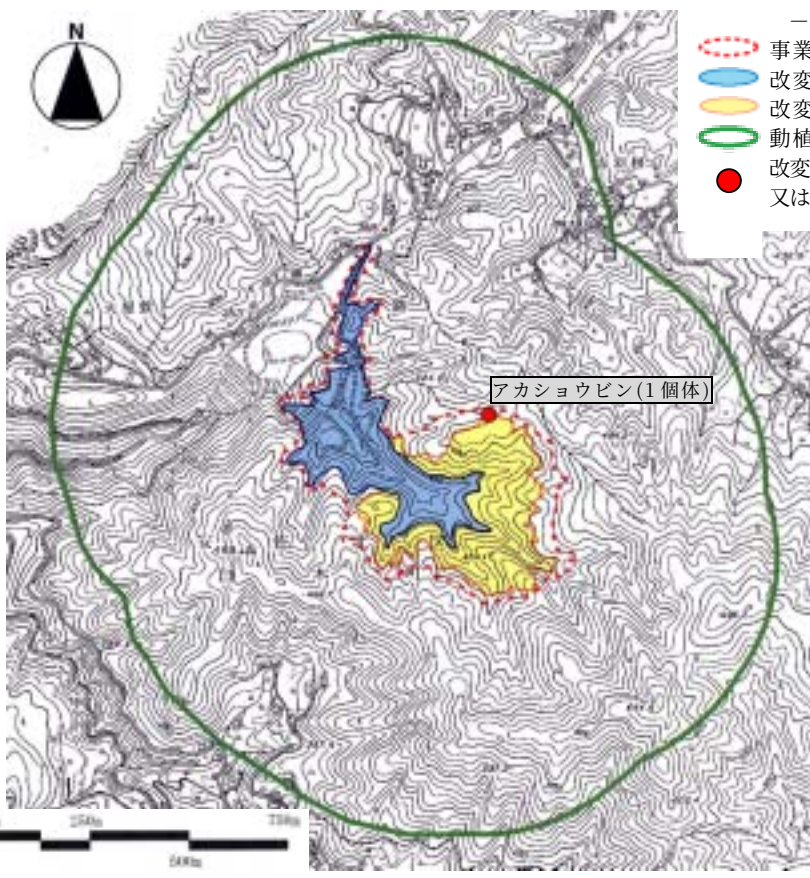
生息分布 と事業計画 の重ね 合わせ	
生息状況 の推定	事業計画地及びその周辺を繁殖期における狩場または移動経路として利用していると推定される。
生息環境 の質的変化	アカショウビンは事業計画地及びその周辺を狩場または移動経路として利用しているため、事業計画の実施により、生息地の一部を消失又は改変することになる。また、建設機械の稼動に伴って発生する騒音によって事業計画地及びその周辺が一時的に利用されなくなる。
予測結果	・生息地の消失又は改変 アカショウビンは事業計画地内の 1 箇所で確認され、工事の実施により本種の生息地の一部を消失又は改変することになる。本種は薄暗い谷沿いの林内に生息し、溪流等に生息するサワガニ、昆虫類等を食べる。そのため、渓流域における水質の変化は本種の生息環境に大きく影響するが、確認地点は改変区域（計画）より上流域に位置することから、水質の変化に伴う生息環境の悪化はないと考えられる。また、下流域は一部改変され生息環境が変化することになるが、植栽可能な法面等には可能な限り木本類を含めた在来種による緑化を施し、林内環境の維持に努めることから本種の生息地に与える影響は小さいと予測される。 ・建設機械の稼動に伴って発生する騒音 改変区域の掘削は発破等を使用せず、重機による掘削で行われるため、突発的な音で鳥類を飛散させることはない。また、鳥類が掘削による建設機械の稼動騒音により一時的に事業計画地を利用しなくなると考えられるが、現状においても重機は随時稼動しており、可能な限り低騒音型の工法を取り入れ、騒音に対して配慮することから、本種に与える影響は小さいと予測される。

表 7-9-26 予測結果（爬虫類：トカゲ）

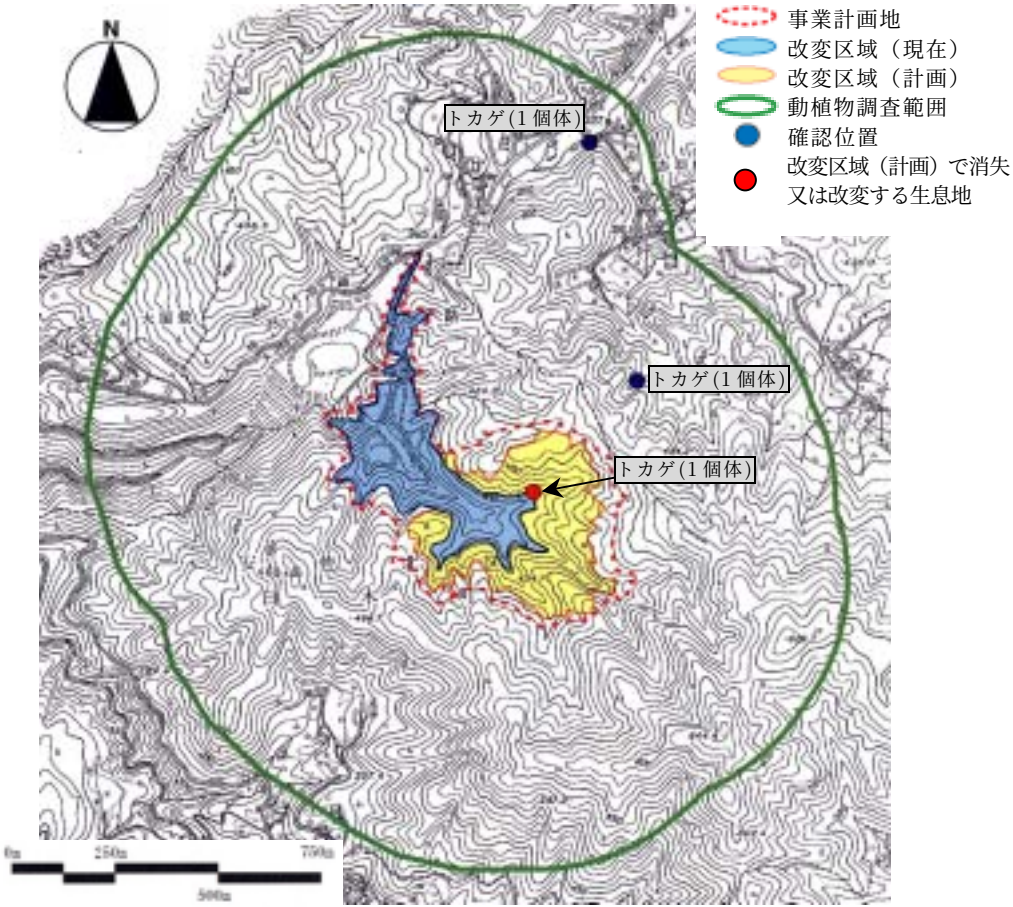
生息分布 と事業計画 の重ね 合わせ	
生息状況 の推定	事業計画地及びその周辺を生息地として利用していると推定される。
生息環境 の質的変化	トカゲは事業計画地及びその周辺の林縁部で生息しているため、事業計画の実施により、生息地の一部を消失又は改変することになる。
予測結果	・生息地の消失又は改変 トカゲは改変区域（計画）内の1箇所を確認され、工事の実施により本種の生息地の一部を消失又は改変することになる。工事の実施に対する一時的な忌避行動が考えられるが、事業計画地及びその周辺には明るい林縁等の本種の生息環境は広く存続し、また生息環境の整備という観点から事業計画地における植栽可能な法面等に可能な限り木本類を含めた在来種による緑化を施すため、本種の生息地に与える影響は小さいと予測される。

表 7-9-27 予測結果（両生類：イモリ）

生息分布 と事業計画の重ね 合わせ	— 凡例 — - 事業計画地 - 変更区域（現在） - 変更区域（計画） - 動植物調査範囲 - 確認位置 - 変更区域（計画）で消失 又は変更する生息地
生息状況 の推定	事業計画地及びその周辺で生息しているが、主要な生息地は事業計画地外の水田周辺であると推定される。
生息環境 の質的変化	イモリの生息地の一部は変更区域（計画）内にあり、事業計画の実施により、生息地の一部を消失又は変更することになる。
予測結果	・生息地の消失又は改変 イモリは変更区域（計画）内の1箇所を確認されており、工事の実施により本種の生息地の一部を消失又は改変することになる。しかし、本種は事業計画地及びその周辺の広い範囲で確認されており、主要な生息地は事業計画地周辺の水田周辺であると考えられることから、変更区域（現在）内及び事業計画地外の生息地の確認個体数を考慮に入れると、消失又は改変される生息地の個体数は少なく、変更区域（現在）内及び事業計画地外の生息地は存続されるため、本種の生息地に与える影響は小さいと予測される。

表 7-9-28 予測結果（両生類：シュレーゲルアオガエル）

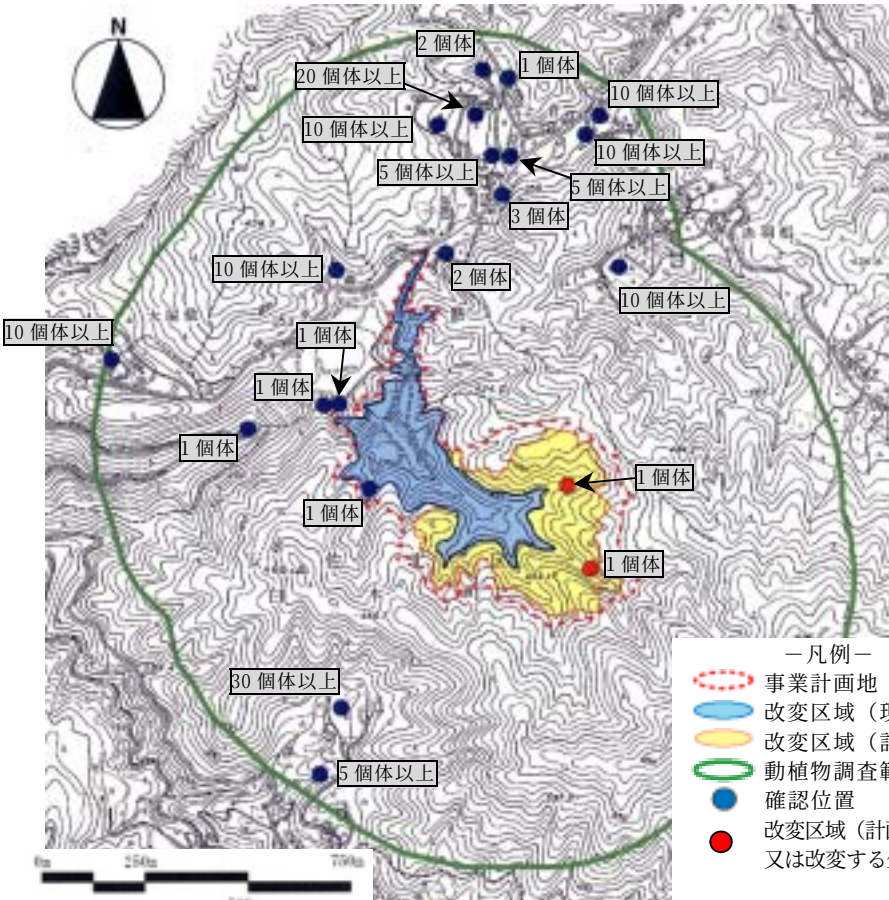
生息分布 と事業計画の重ね 合わせ	 — 凡例 — - 事業計画地 - 変更区域（現在） - 変更区域（計画） - 動植物調査範囲 - 確認位置 - 変更区域（計画）で消失又は変更する生息地
生息状況 の推定	事業計画地及びその周辺で生息しているが、主要な生息地は事業計画地外の水田及びその周辺であると推定される。
生息環境 の質的変化	シュレーゲルアオガエルの生息地の一部は変更区域（計画）内にあり、事業計画の実施により、生息地の一部を消失又は変更することになる。
予測結果	・生息地の消失又は改変 シュレーゲルアオガエルは変更区域（計画）内の2箇所を確認されており、工事の実施により本種の生息地の一部を消失又は改変することになる。しかし、本種は事業計画地及びその周辺の広い範囲で確認されており、主要な生息地は事業計画地周辺の水田及びその周辺であると考えられることから、変更区域（現在）内及び事業計画地外の生息地の確認個体数を考慮に入れると、消失又は改変される生息地の個体数は少なく、変更区域（現在）内及び事業計画地外の生息地は存続されるため、本種の生息地に与える影響は小さいと予測される。

表 7-9-29 予測結果（昆虫類：トノサマバッタ、ツマグロキチョウ）

生息分布 と事業計画 の重ね 合わせ	トノサマバッタ(2 個体) トノサマバッタ(1 個体) トノサマバッタ(1 個体) トノサマバッタ(1 個体) トノサマバッタ(3 個体) トノサマバッタ(1 個体) トノサマバッタ(2 個体) ツマグロキチョウ(1 個体) トノサマバッタ(1 個体) トノサマバッタ(2 個体) トノサマバッタ(10 個体以上) ツマグロキチョウ(1 個体) ツマグロキチョウ(1 個体) — 凡例 — 事業計画地 変更区域（現在） 変更区域（計画） 動植物調査範囲 確認位置
生息状況 の推定	・トノサマバッタ：事業計画地及びその周辺で生息しているが、主要な生息地は事業計画地外の草地であると推定される。 ・ツマグロキチョウ：事業計画地及びその周辺で生息していると推定される。
生息環境 の質的変化	・トノサマバッタ、ツマグロキチョウの生息地の一部は変更区域（現在）内にあるが、変更後に整備された人工草地内であるため、事業計画の実施による両種の生息環境の質的变化は小さいと考えられる。
予測結果	・生息地の消失又は変更 ◎トノサマバッタ：変更区域（計画）内には本種の生息地となるイネ科やカヤツリグサ科の草地等の場所はなく、変更区域（現在）内及び事業計画地外の生息地は存続されるため、本種の生息環境の質的变化はほとんどないものと考えられることから、本種の生息地に与える影響は小さいと予測される。 ◎ツマグロキチョウ：本種は事業計画地及びその周辺で秋季に成虫が確認されている。植物調査では調査範囲内に幼虫の食草であるカワラケツメイは確認されていないこと、本種の夏型個体を確認していないことから、確認個体は調査範囲外で発生した秋型の越冬前の移動分散途中の個体であると考えられる。また、確認地点付近はいずれも南向きの日当たりのよい斜面であるため越冬地として利用されていることも考えられるが、同様の環境は変更区域（現在）内及び事業計画地外に広く存在するため、本種の生息地の質的变化はほとんどないと考えられることから、本種の生息地に与える影響は小さいと予測される。

表 7-9-30 予測結果（昆虫類：ゲンジボタル）

生息分布 と事業計画 の重ね 合わせ	
生息状況 の推定	・ゲンジボタル：事業計画地及びその周辺で生息しているが、主要な生息地は事業計画地外の溪流付近の林縁、水田周辺であると推定される。
生息環境 の質的変化	・ゲンジボタルの生息地の一部は改変区域（計画）内にあり、事業計画の実施により、生息地の一部を消失又は改変することになる。
予測結果	・生息地の消失又は改変 ゲンジボタル：改変区域（計画）内の2箇所を確認されており、工事の実施により本種の生息地の一部を消失又は改変することになる。しかし、本種は事業計画地及びその周辺の広い範囲で確認されており、主要な生息地は事業計画地外の溪流付近の林縁又は水田周辺であると考えられることから、改変区域（現在）内及び事業計画地外の生息地の確認個体数を考慮に入れると、消失又は改変される生息地の個体数は少なく、改変区域（現在）内及び事業計画地外の生息地は存続されるため、本種の生息地に与える影響は小さいと予測される。

③存在・供用

各種動物の予測結果は表 7-9-31～表 7-9-41 に示すとおりである。

表 7-9-31 予測結果（哺乳類：イタチ属の一種）

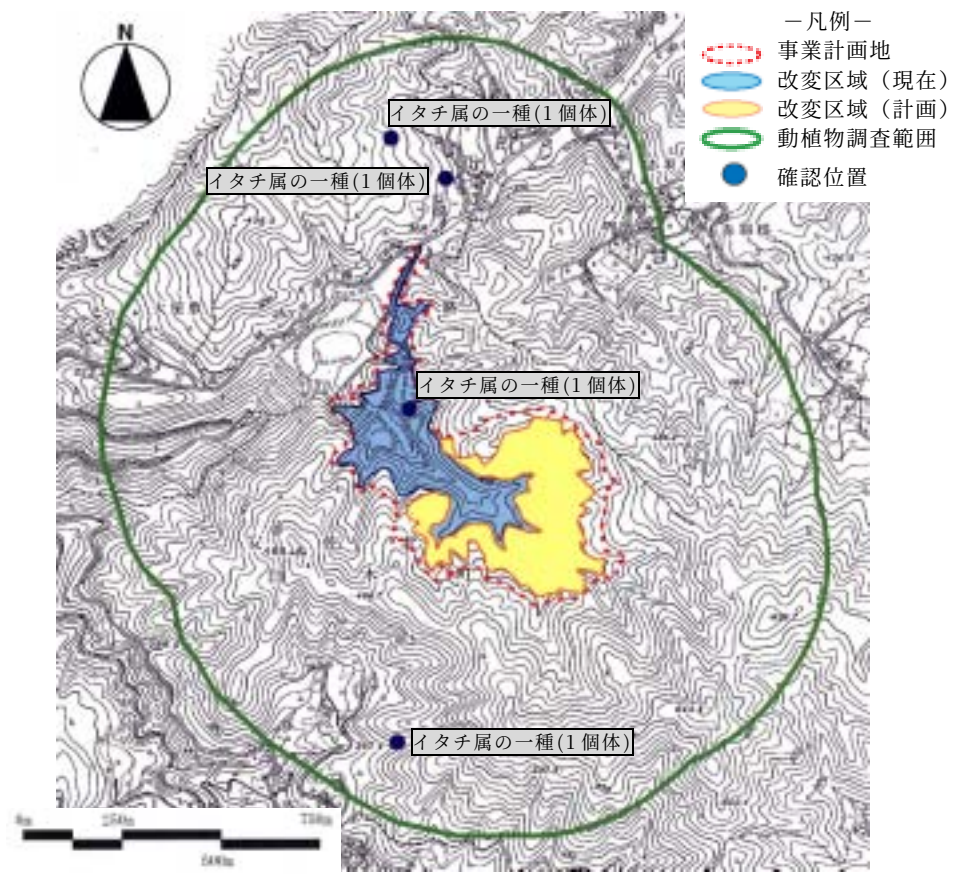
生息分布と事業計画の重ね合わせ	
生息状況の推定	事業計画地及びその周辺を生息地していると推定される。
生息環境の質的变化	イタチ属の一種は事業計画地及びその周辺を生息地として利用しているため、事業計画の実施により、生息地の一部を消失又は改変することになる。
予測結果	・生息地の消失又は改変 処分場の存在・供用によりイタチ属の一種の生息地の一部を消失又は改変することになるが、本種は事業計画地及びその周辺で確認されており、事業計画地外の生息地は存続される。現状においても改変区域（現在）周辺を利用していると考えられるが、生息環境の整備という観点から事業計画地内における植栽可能な場所には可能な限り木本類を含めた在来種による緑化を施すため、本種の生息地に与える影響は小さいと予測される。

表 7-9-32 予測結果（鳥類：ハイタカ、ノスリ）

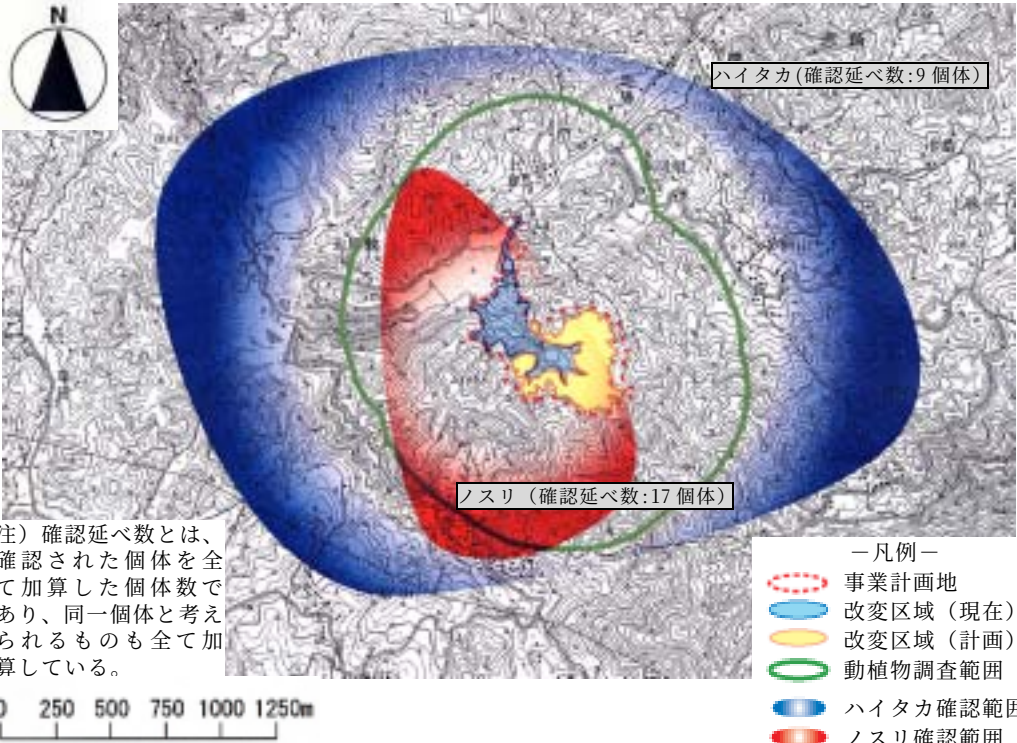
生息分布 と事業計画 の重ね 合わせ	 注）確認延べ数とは、確認された個体を全て加算した個体数であり、同一個体と考えられるものも全て加算している。 ハイタカ（確認延べ数：9 個体） ノスリ（確認延べ数：17 個体） —凡例— - 事業計画地 - 変更区域（現在） - 変更区域（計画） - 動植物調査範囲 - ハイタカ確認範囲 - ノスリ確認範囲
生息状況 の推定	・ハイタカ 越冬個体であると推定される。 ・ノスリ 越冬個体であると推定される。
生息環境 の質的変化	ハイタカ、ノスリは事業計画地及びその周辺を狩場として利用しているため、事業計画の実施により、生息地の一部を消失又は改変することになる。
予測結果	・生息地の消失又は改変 処分場の存在・供用によりハイタカ、ノスリの生息地の一部を消失又は改変することになるが、両種は事業計画地及びその周辺の広い範囲で確認され、確認範囲に対して消失する生息地、すなわち改変区域（計画）の面積は小さく、改変区域外には広く連続した生息地が残される。また、確認されたハイタカ及びノスリは越冬個体であり、事業計画地及びその周辺は繁殖期における主要な狩場としては利用されないが、生息環境の整備という観点から事業計画地内における植栽可能な場所には可能な限り木本類を含めた在来種による緑化を施すため、両種の生息地に与える影響は小さいと予測される。

表 7-9-33 予測結果（鳥類：サシバ、ハヤブサ）

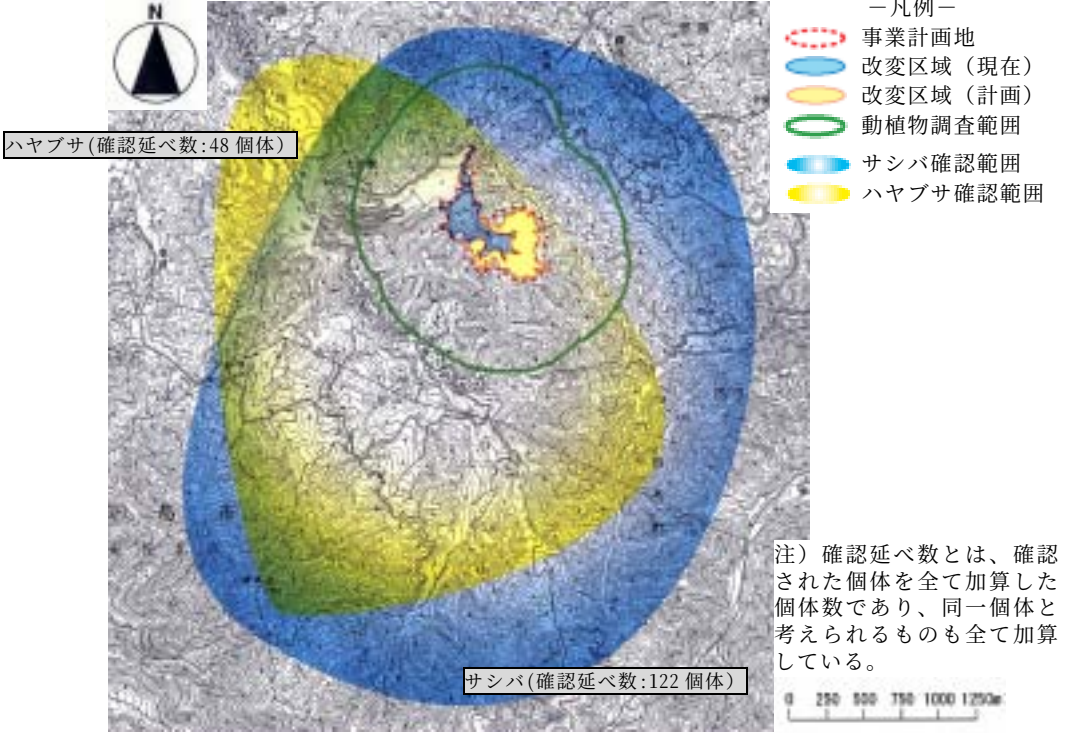
生息分布 と事業計画 の重ね 合わせ	 注）確認延べ数とは、確認された個体を全て加算した個体数であり、同一個体と考えられるものも全て加算している。
生息状況 の推定	・サシバ 事業計画地及びその周辺を繁殖期における狩場または移動経路として利用していると推定される。 ・ハヤブサ 事業計画地及びその周辺を繁殖期及び非繁殖期における狩場または移動経路として利用していると推定される。
生息環境 の質的変化	サシバ、ハヤブサは事業計画地及びその周辺を狩場として利用しているため、事業計画の実施により、生息地の一部を消失又は改変することになる。
予測結果	・生息地の消失又は改変 処分場の存在・供用によりサシバ、ハヤブサの生息地の一部を消失又は改変することになるが、両種は事業計画地及びその周辺の広い範囲で確認され、確認範囲に対して消失する生息地すなわち改変区域（計画）の面積は小さく、改変区域外には広く連続した生息地が残される。また、サシバ及びハヤブサについては営巣地を確認しているが、いずれも調査範囲外であり、交尾等の繁殖に関わる行動や巣立ち後間もない幼鳥等の行動も主に調査範囲外で確認された。改変区域内では上空を飛翔する個体を数回確認しているが、いずれも通過個体であり、事業計画地及びその周辺は主要な生息地ではないと考えられるが、生息環境の整備という観点から事業計画地内における植栽可能な場所には可能な限り木本類を含めた在来種による緑化を施すため、両種の生息地に与える影響は小さいと予測される。

表 7-9-34 予測結果（鳥類：ヤマドリ、フクロウ）

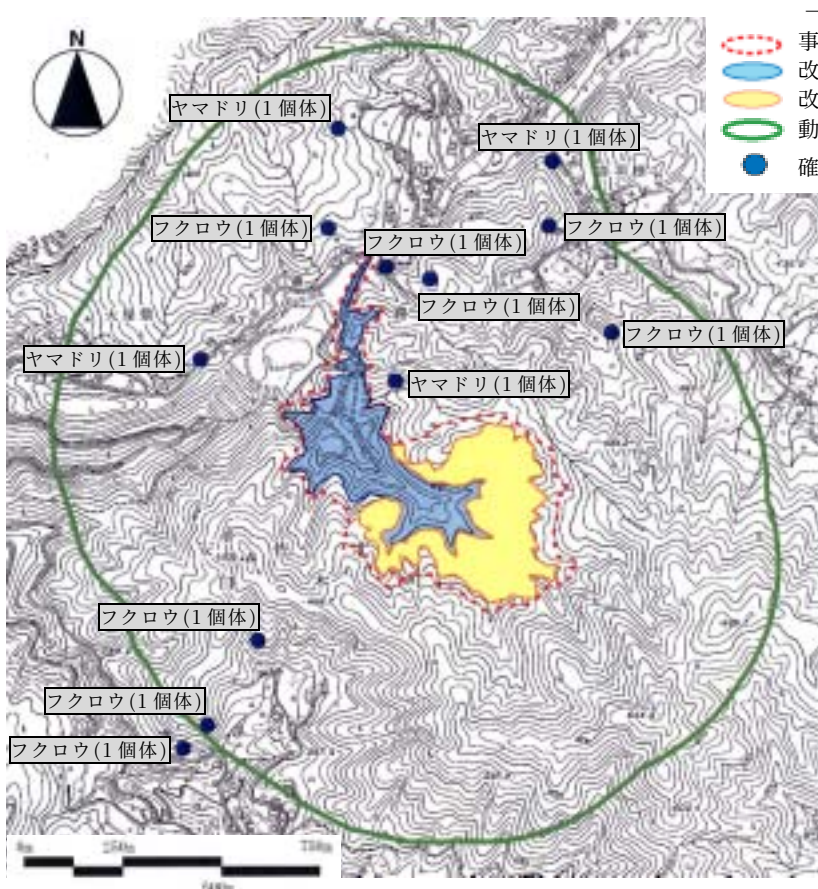
生息分布 と事業計画 の重ね 合わせ	
生息状況 の推定	・ヤマドリ 事業計画地及びその周辺を繁殖期における営巣地または狩場として利用していると推定される。 ・フクロウ 事業計画地及びその周辺を繁殖期における営巣地または狩場として利用していると推定される。
生息環境 の質的変化	ヤマドリ、フクロウは事業計画地及びその周辺を営巣地または狩場として利用しているため、事業計画の実施により、生息地の一部を消失又は改変することになる。
予測結果	・生息地の消失又は改変 処分場の存在・供用によりヤマドリ、フクロウの生息地の一部を消失又は改変することになるが、両種は改変区域（計画）内では確認されていない。また、改変区域（計画）からはヤマドリが約 150m以上、フクロウが約 350m以上離れているため、処分場の存在・供用により両種に与える直接的な影響はほとんどないと考えられるが、生息環境の整備という観点から事業計画地内における植栽可能な場所には可能な限り木本類を含めた在来種による緑化を施すため、両種の生息地に与える影響は小さいと予測される。

表 7-9-35 予測結果（鳥類：ホトトギス）

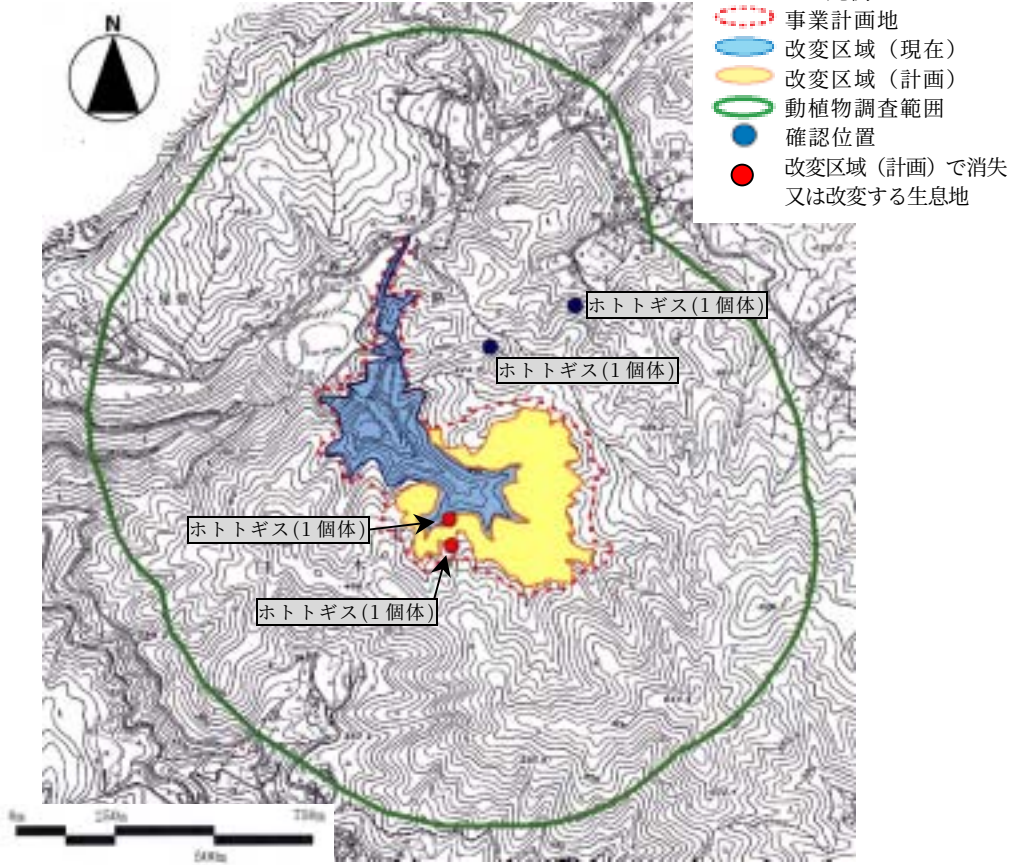
生息分布 と事業計画の 重ね合わせ	
生息状況 の推定	事業計画地及びその周辺を繁殖期における営巣地または狩場として利用していると推定される。
生息環境 の質的変化	ホトトギスは事業計画地及びその周辺を営巣地または狩場として利用しているため、事業計画の実施により、生息地の一部を消失又は改変することになる。
予測結果	・生息地の消失又は改変 処分場の存在・供用によりホトトギスの生息地の一部を消失又は改変することになるが、工事完了後は速やかに事業計画地内の植栽可能な場所に可能な限り緑化を施し、自然の遷移との相乗効果で本種の餌場環境及び托卵相手であるウグイスの営巣環境の整備が可能になるため、本種の生息地に与える影響は小さいと予測される。

表 7-9-36 予測結果（鳥類：アカショウビン）

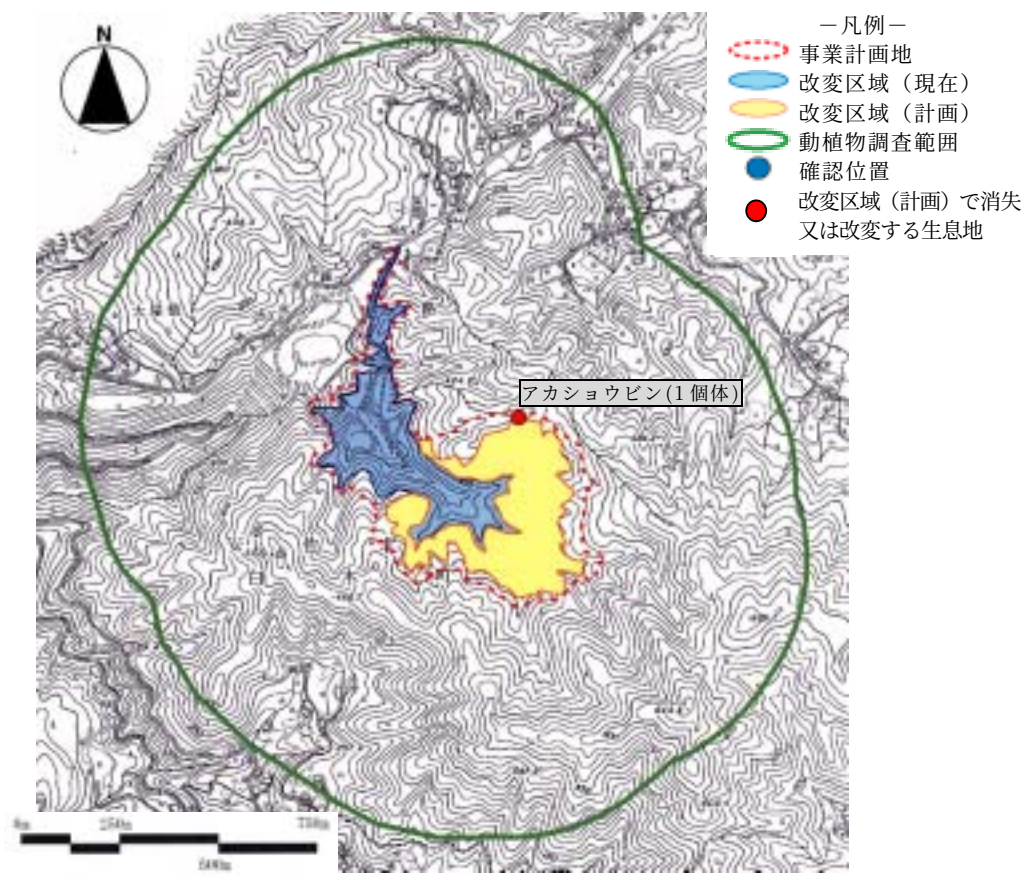
生息分布 と事業計画 の重ね 合わせ	
生息状況 の推定	事業計画地及びその周辺を繁殖期における狩場または移動経路として利用していると推定される。
生息環境 の質的変化	アカショウビンは事業計画地及びその周辺を狩場または移動経路として利用しているため、事業計画の実施により、生息地の一部を消失又は改変することになる。また、存在・供用後の污水、埋立土砂の流出は本種の生息環境を悪化させることになる。
予測結果	・生息地の消失又は改変 処分場の存在・供用によりアカショウビンの生息地の一部を消失又は改変することになるが、埋立完了後は速やかに事業計画地内の植栽可能な法面等に可能な限り緑化を施し、自然の遷移との相乗効果で林内環境の維持に努めることから本種の生息環境に与える影響は小さいと予測される。 ・污水・埋立土砂の流出 雨水等による処分場からの污水、埋立土砂流出は下流域における本種の生息環境を悪化させることになるが、確認地点は変更区域（計画）より上流であり、変更区域より下流に生息した場合でも污水が周辺の水質環境に与える影響は小さく（7.5.3 予測及び評価参照）、埋立土砂の流出は沈砂池を設けることにより、下流域への流出を防ぐことから、本種の生息地に与える影響は小さいと予測される。

表 7-9-37 予測結果（爬虫類：トカゲ）

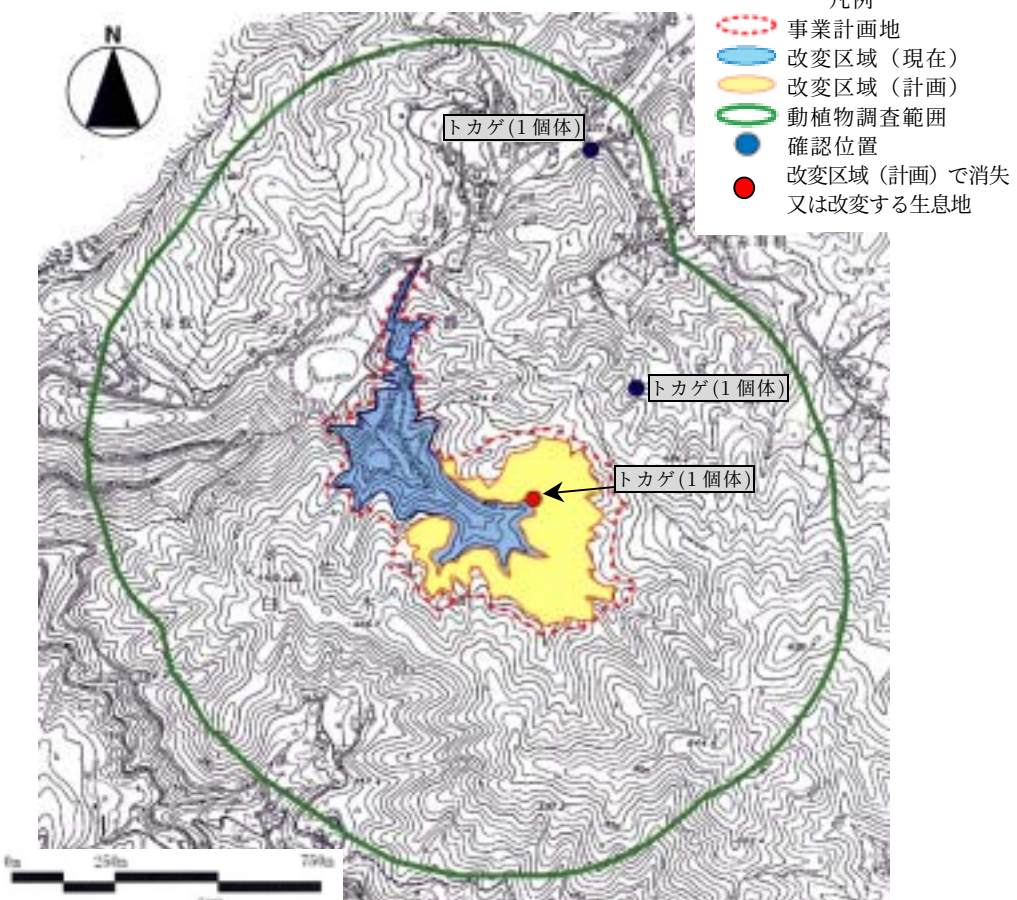
生息分布 と事業計画 の重ね 合わせ	
生息状況 の推定	事業計画地及びその周辺を生息地として利用していると推定される。
生息環境 の質的変化	トカゲは事業計画地及びその周辺の林縁部で生息しているため、事業計画の実施により、生息地の一部を消失又は改変することになる。
予測結果	・生息地の消失又は改変 処分場の存在・供用によりトカゲの生息地の一部を消失又は改変することになるが、埋立完了後は速やかに事業計画地内の植栽可能な法面等に可能な限り緑化を施すため、本種の生息地に与える影響は小さいと予測される。

表 7-9-38 予測結果（両生類：イモリ）

生息分布 と事業計画 の重ね 合わせ	—凡例— - 事業計画地 - 変更区域（現在） - 変更区域（計画） - 動植物調査範囲 - 確認位置 - 変更区域（計画）で消失又は変更する生息地
生息状況 の推定	事業計画地及びその周辺で生息しているが、主要な生息地は事業計画地外の水田周辺であると推定される。
生息環境 の質的変化	イモリの生息地の一部は変更区域（計画）内にあり、事業計画の実施により、生息地の一部を消失又は変更することになる。
予測結果	・生息地の消失又は改変 処分場の存在・供用によりイモリの生息地の一部を消失又は改変することになる。しかし、本種は事業計画地及びその周辺の広い範囲で確認されており、主要な生息地は事業計画地周辺の水田周辺であると考えられることから、変更区域（現在）内及び事業計画地外の生息地の確認個体数を考慮に入れると、消失又は改変される生息地の個体数は少なく、変更区域（現在）内及び事業計画地外の生息地は存続されるため、本種の生息地に与える影響は小さいと予測される。

表 7-9-39 予測結果（両生類：シュレーゲルアオガエル）

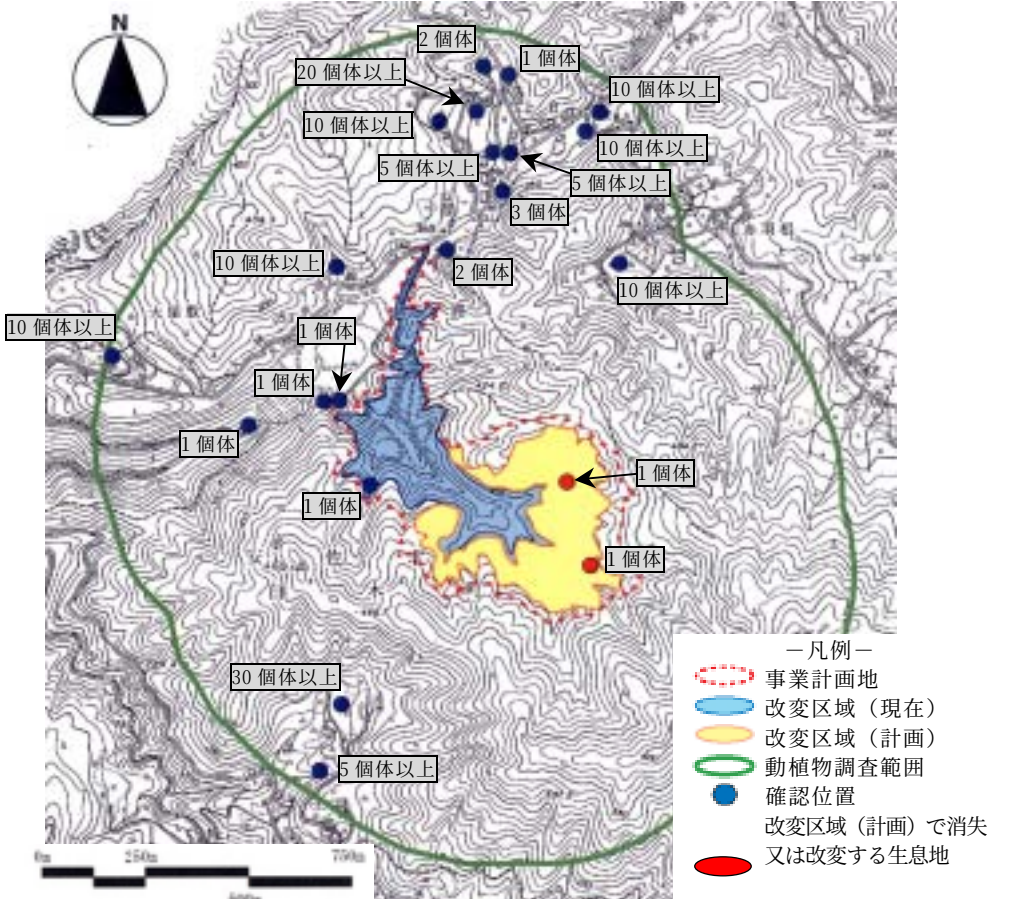
生息分布と事業計画の重ね合わせ	
生息状況の推定	事業計画地及びその周辺で生息しているが、主要な生息地は事業計画地外の水田及びその周辺であると推定される。
生息環境の質的变化	シュレーゲルアオガエルの生息地の一部は変更区域（計画）内にあり、事業計画の実施により、生息地の一部を消失又は改変することになる。
予測結果	・生息地の消失又は改変 処分場の存在・供用によりシュレーゲルアオガエルの生息地の一部を消失又は改変することになる。しかし、本種は事業計画地及びその周辺の広い範囲で確認されており、主要な生息地は事業計画地周辺の水田及びその周辺であると考えられることから、変更区域（現在）内及び事業計画地外の生息地の確認個体数を考慮に入れると、消失又は改変される生息地の個体数は少なく、変更区域（現在）内及び事業計画地外の生息地は存続されるため、本種の生息地に与える影響は小さいと予測される。

表 7-9-40 予測結果（昆虫類：トノサマバッタ、ツマグロキチョウ）

生息分布 と事業計画 の重ね 合わせ	トノサマバッタ(2 個体) トノサマバッタ(1 個体) トノサマバッタ(1 個体) トノサマバッタ(1 個体) トノサマバッタ(3 個体) トノサマバッタ(1 個体) トノサマバッタ(2 個体) トノサマバッタ(2 個体) トノサマバッタ(1 個体) トノサマバッタ(10 個体以上) ツマグロキチョウ(1 個体) ツマグロキチョウ(1 個体) — 凡例 — - 事業計画地 - 変更区域（現在） - 変更区域（計画） - 動植物調査範囲 - 確認位置
生息状況 の推定	・トノサマバッタ：事業計画地及びその周辺で生息しているが、主要な生息地は事業計画地外の草地であると推定される。 ・ツマグロキチョウ：事業計画地及びその周辺で生息していると推定される。
生息環境 の質的変化	・トノサマバッタ、ツマグロキチョウの生息地の一部は変更区域（現在）内にあるが、変更後に整備された人工草地内であるため、事業計画の実施による両種の生息環境の質的変化は小さいと考えられる。
予測結果	・生息地の消失又は改変 変更区域（現在）内及び事業計画地外のトノサマバッタ、ツマグロキチョウの生息地は存続されるため、両種の生息地の質的変化はほとんどないと考えられることから、両種の生息地に与える影響は小さいと予測される。

表 7-9-41 予測結果（昆虫類：ゲンジボタル）

生息分布 と事業計画 の重ね 合わせ	
生息状況 の推定	・ゲンジボタル：事業計画地及びその周辺で生息しているが、主要な生息地は事業計画地外の溪流付近の林縁、水田周辺であると推定される。
生息環境 の質的変化	・ゲンジボタルの生息地の一部は改変区域（計画）内にあり、事業計画の実施により、生息地の一部を消失又は改変することになる。
予測結果	・生息地の消失又は改変 処分場の存在・供用によりゲンジボタルの生息地の一部を消失又は改変することになる。しかし、本種は事業計画地及びその周辺の広い範囲で確認されており、主要な生息地は事業計画地外の溪流付近の林縁又は水田周辺であると考えられることから、改変区域（現在）内及び事業計画地外の生息地の確認個体数を考慮に入れると、消失又は改変される生息地の個体数は少なく、改変区域（現在）内及び事業計画地外の生息地は存続されるため、本種の生息地に与える影響は小さいと予測される。

(3) 環境保全措置の検討

予測の結果を踏まえ、工事の実施及び存在・供用に係る環境保全措置の検討を行った結果は表 7-9-42 に示すとおりである。

表 7-9-42 環境保全措置の検討結果

	影響内容	環境保全措置	効果	対象種
工事の実施	生息地の消失又は改変	事業者は、植栽可能な場所に可能な限り木本類を含めた在来種による緑化を施す。	整備した環境が本種の生息地として利用されることが期待できる。	イタチ属の一種（哺乳類） ハイタカ（鳥類） ノスリ（鳥類） サシバ（鳥類） ハヤブサ（鳥類） ヤマドリ（鳥類） ホトトギス（鳥類） フクロウ（鳥類） アカショウビン（鳥類） トカゲ（爬虫類）
	建設機械の稼動に伴って発生する騒音	事業者は、可能な限り低騒音型の工法を取り入れ、騒音に対して配慮する。	従来の生息地が忌避されず、継続して利用されることが期待できる。	イタチ属の一種（哺乳類） ハイタカ（鳥類） ノスリ（鳥類） サシバ（鳥類） ハヤブサ（鳥類） ヤマドリ（鳥類） ホトトギス（鳥類） フクロウ（鳥類） アカショウビン（鳥類）
存在・供用	生息地の消失又は改変	事業者は、植栽可能な場所に可能な限り木本類を含めた在来種による緑化を施す。	整備した環境が本種の生息地として利用されることが期待できる。	イタチ属の一種（哺乳類） ハイタカ（鳥類） ノスリ（鳥類） サシバ（鳥類） ハヤブサ（鳥類） ヤマドリ（鳥類） ホトトギス（鳥類） フクロウ（鳥類） アカショウビン（鳥類） トカゲ（爬虫類）
	汚水、埋立土砂の流出	事業者は、埋立土砂等の下流域への流出を防ぐため、沈砂池を設ける。	水域を主な生息地または利用する種が従来の生息地を忌避せず、継続して利用することが期待できる。	アカショウビン（鳥類）

注）環境保全措置の実施に伴い生じるおそれのある新たな環境影響はないと考えられる。

(4) 評価

環境保全措置を現在と同様に実施することにより本事業による影響が回避・低減されているかを評価した結果は表 7-9-43 に示すとおりである。

表 7-9-43 評価結果

哺乳類	本事業が影響を及ぼすことになる哺乳類（イタチ属の一種）は、事業者が環境保全措置を現在と同様に実施することから、影響が小さくなると予測され、本事業に伴う哺乳類への影響は低減されと考えられる。
鳥類	本事業が影響を及ぼすことになる鳥類（ハイタカ、ノスリ、サシバ、ハヤブサ、ヤマドリ、ホトトギス、フクロウ、アカショウビン）は、事業者が環境保全措置を現在と同様に実施することから、影響が小さくなると予測され、本事業に伴う鳥類への影響は低減されと考えられる。
爬虫類	本事業が影響を及ぼすことになる爬虫類（トカゲ）は、事業者が環境保全措置を現在と同様に実施することから、影響が小さくなると予測され、本事業に伴う爬虫類への影響は低減されと考えられる。
両生類	本事業が影響を及ぼすことになる両生類（イモリ、シュレーゲルアオガエル）の生息地の一部は改変区域（計画）内にあるが、改変区域（計画）外においても生息地は確認されていることから、両生類の生息は維持されるものと考えられる。
昆虫類	本事業が影響を及ぼすことになるゲンジボタルは、改変区域（現在）及び事業計画地外の生息地が存続することから、本種の生息は維持されるものと考えられる。 また、トノサマバッタ、ツマグロキチョウは改変区域（計画）内で確認されず、改変区域（現在）及び事業計画地外の生息地が存続することから、両種の生息は維持されるものと考えられる。